

北海道開発局の現場における電子納品
に関する事前協議ガイドライン(案)
[測量編]

平成 16 年 4 月

北 海 道 開 発 局

目次

1	適用	1
2	他の電子納品要領（案）との関係	2
3	事前協議項目	4
4	電子納品の対象とする測量成果等	6
4-1	共通事項	7
4-1-1	フォルダ構成	7
4-1-2	ファイル形式	13
4-1-3	ファイル命名規則	17
4-1-4	2段撮影、複数区域、複数等級等の場合のフォルダ構成	29
4-1-5	図面成果の個別格納	39
4-2	基準点測量	40
4-2-1	成果一覧（フォルダ構成、ファイル形式・命名則・格納場所）	40
4-2-2	成果ファイル解説・補足	43
4-2-3	事前協議事項	52
4-3	地形・数値地形測量	54
4-3-1	成果一覧（ファイル形式・命名則・格納場所）	54
4-3-2	成果ファイル解説・補足	59
4-3-3	事前協議事項	86
4-4	路線測量	87
4-4-1	成果一覧（フォルダ構成、ファイル形式・命名則・格納場所）	87
4-4-2	成果ファイル解説・補足	91
4-4-3	事前協議事項	103
4-5	河川測量	105
4-5-1	成果一覧（フォルダ構成、ファイル形式・命名規則・格納場所）	105
4-5-2	成果ファイル解説・補足	109
4-5-3	事前協議事項	123
4-6	用地測量	125
4-6-1	成果一覧（フォルダ構成、ファイル形式・命名則・格納場所）	125
4-6-2	成果ファイル解説・補足	128
4-6-3	事前協議事項	142
4-7	その他のドキュメント	144
4-8	成果品の管理項目	145

4-8-1	管理ファイルの種類	145
4-8-2	業務管理項目	146
4-8-3	測量情報管理項目	151
4-8-4	測量成果管理項目	157
4-8-5	事前協議事項	161
4-9	電子媒体	162
4-9-1	使用媒体	162
4-9-2	電子媒体に貼るラベルについて	163
4-9-3	成果品が複数枚に渡る場合の処置	165
5	業務実施中の打ち合わせ方法	169
6	検符および押印の取り扱い	170
7	第三者検定の実施方法	171
8	検査時の対応	173
9	その他留意事項	176
9-1	ウイルス対策	176
9-2	使用文字	177
9-3	電子化が困難な資料の取り扱い	178
9-4	測地系	179
10	資料	180
10-1	数値データ形式	180
10-1-1	数値データ基本構造	180
10-2	成果表出力フォーマット	181
10-2-1	成果表出力フォーマットレコードの記述方法	181
10-2-2	フォーマット	182

1 適用

本ガイドラインは、測量成果電子納品要領(案)(以下「要領(案)」)という)で定められた電子納品を円滑に行うために、業務着手時に受発注者間で協議すべき項目と、業務完了時まで受発注者間で取り扱われる電子データの扱いおよび電子データを用いた検査方法に関して、協議する事項および考え方を示すものである。

測量成果の電子納品は、測量成果電子納品要領(案)[国土交通省]に従い実施する。

ただし、農林水産省農業振興局測量作業規定及び測量作業規定運用基準に従って作成され成果物を電子的手段により引き渡す場合は、測量業務成果電子納品要領(案)[農林水産省農業振興局]に従い実施する。

電子納品は、従来の紙に代わって、成果品を電子的に納品することにより、保管、再利用など業務実施の効率化を目指すものである。実際の業務開始にあたっては、こうした電子納品の理念を十分に理解し、業務実施中、および、納品・検査時にはできる限り電子的な方法によることを心がける必要がある。

表 1-1 電子納品までの流れ

業務フェーズ	作業項目
着手時	事前協議
業務実施中	電子メールを利用した打合せ ほか
完了時	電子媒体による成果品納品と 完了検査の対応

なお、本ガイドライン中に示している [協議結果の参考例] は一例を示したものであり、適用にあたっては実際の状況に合わせて受発注者間で協議し、取り決めることが重要である。また、本ガイドラインによる打合せ結果は受注者が整理し、打合せ協議簿に記載して提出するものとする。

2 他の電子納品要領（案）との関係

要領(案)は、土木設計業務等の電子納品要領（案）と同一のフォルダ構造を使用することとしており、他の電子納品要領(案)との整合性を考慮しつつ策定されたものである。

具体的には図 2-1 に示した測量フォルダ「SURVEY」に格納される成果品について、「ファイルの格納場所」「ファイル形式」「ファイル命名規則」等について定められたものである。

国土交通省の CALS/EC アクションプランにより、2004 年までに全ての業務・工事において電子納品を実施することが予定されている。その実施のためのガイドラインが作成されている。

本ガイドラインは、下記に示す五つの要領（案）・基準（案）の一環として策定された『測量成果の電子納品要領（案）』についての解説を示したものである。

本ガイドラインの適用範囲は土木設計業務、測量、地質・土質調査である。工事(土木)は対象外とする。

- ・土木設計業務等の電子納品要領（案）
- ・工事完成図書の電子納品要領（案）
- ・CAD 製図基準（案）
- ・地質調査資料整理要領（案）
- ・デジタル写真管理情報基準（案）

表 2-1 電子納品の適用範囲と基準類（国土交通省）

	電子納品全体に関する事項	各々の成果品に関する事項				
		文書類	図面類	写真類	地質調査資料	測量類
土木設計業務 測量 地質・土質調査	土木設計業務等の電子納品要領(案)	土木設計業務等の電子納品要領(案)	CAD製図基準(案)	デジタル写真管理情報基準(案)	地質調査資料整理要領(案)	本ガイドラインの対象範囲
工事(土木)	工事完成図書の電子納品要領(案)	工事完成図書の電子納品要領(案)			-	

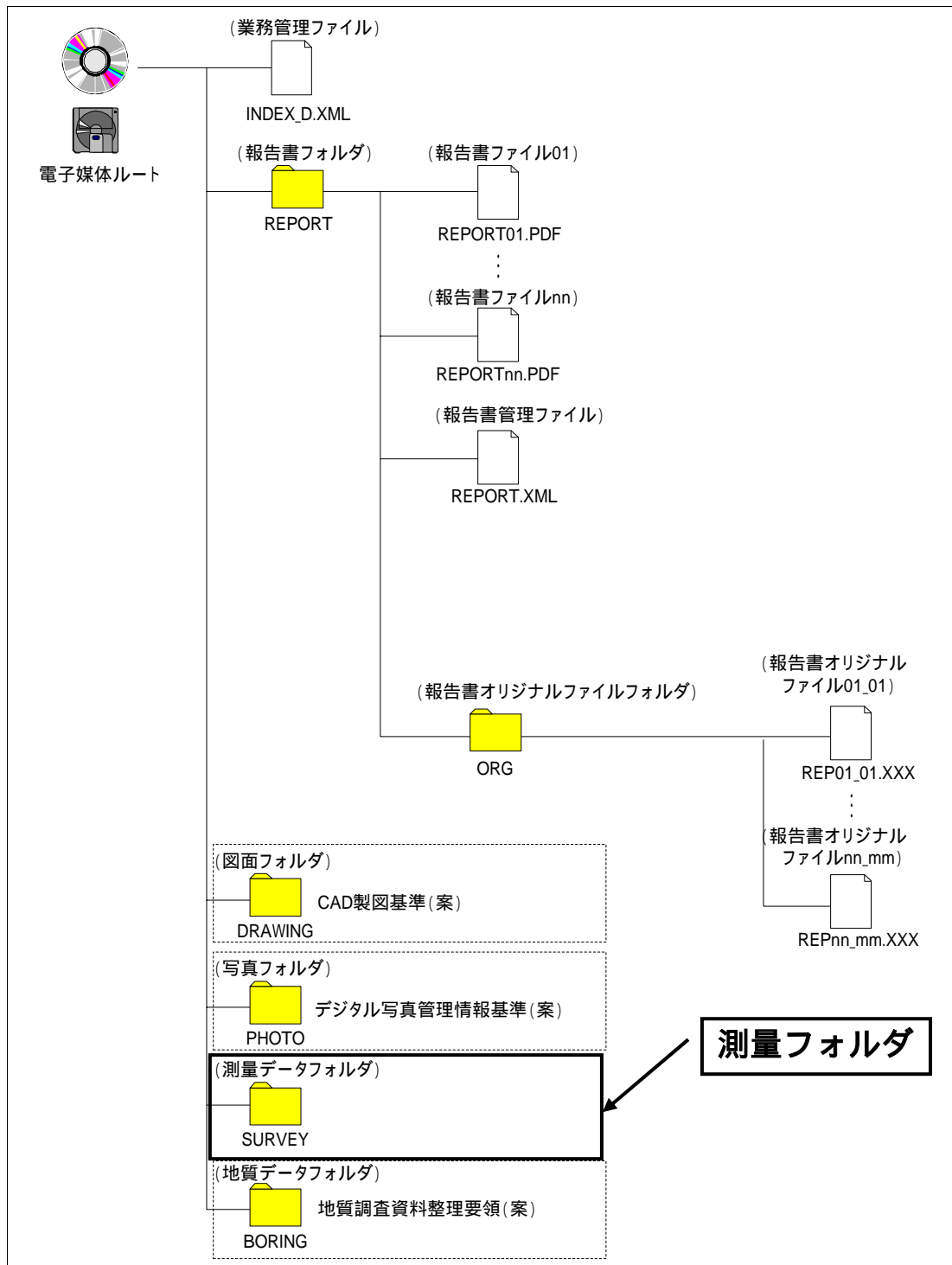


図 2-1 土木設計業務等の電子納品要領(案)におけるフォルダ構造

3 事前協議項目

業務着手時には、要領(案)の内容を熟知し、以下の項目について事前に受発注者間で協議し、業務実施中の混乱を防ぐ必要がある。

- (1) 電子納品の対象とする書類とファイル形式 (4 章)
- (2) 業務実施中の打ち合わせ方法(5 章)
- (3) 検符および押印の取り扱い(6 章)
- (4) 第三者検定の実施方法(7 章)
- (5) 検査時の対応 (8 章)

各項目の詳細についてはそれぞれ該当する章を参照すること。

【解説】

(1) 電子納品の対象とする書類とファイル形式

特記仕様書、測量成果電子納品要領(案)[国土交通省]、測量業務成果電子納品要領(案)[農林水産省農村振興局]、および国土交通省公共測量作業規程を参照のうえ、当該測量作業で作成する成果の電子納品の対象範囲と方法を受発注者間で協議する。

(協議事項)

- 1) 電子納品の対象とする成果項目
- 2) ファイル形式
- 3) 電子納品対象外の成果の取り扱い
- 4) 管理項目の記入方法
 - ・ 測量成果ファイル名副題
 - ・ 業務分野コード、業務キーワード

(2) 業務実施中の打ち合わせ方法

電子メール等を利用した業務実施中の打ち合わせを円滑に進めるため、電子メールアドレス、ファイルの添付方法、打ち合わせ協議簿の取り扱い、ウィルス対策等について実施方法を確認する。

(3) 検符および押印の取り扱い

電子納品する成果については当面は検符および押印を要さないものとするが、以下についてあらかじめ受発注者間で確認すること。

- 1) 成果品作成者による点検方法および点検紙の取り扱い(納品の要否、保管場所、保管期間)
- 2) 押印を要する書類の提出方法

(4) 第三者検定の実施方法

電子納品を行う測量成果等について第三者機関による検定を実施する場合は、原則として計画機関が検符を付した検定紙を保管するものであるが、その保管場所と保存期間については受発注者間協議により確認すること。

(5) 検査時の対応

成果品の検査を効率よく適切に実施するため、関係書類や担当について受発注者間で協議を行うこと。原則として検査の準備は発注者が行うこととするが、発注者が応分の費用を負担し、受注者に準備させることもできる。なお、検査は電子データで実施することが望ましいが、必要に応じて紙媒体による検査も可とする。

4 電子納品の対象とする測量成果等

要領(案)では、電子納品の対象を定めている。しかし、電子化が困難な資料や、基準にない測量成果の取扱いについては、事前に電子化の対象範囲を協議すること。

測量成果の電子納品対象書類は多岐にわたっており、実施する測量種別によってその成果の種類が異なる。

測量成果電子要領(案)[国土交通省] による各測量成果は、「4-2 基準点測量」「4-3 地形・数値地形測量」「4-4 路線測量」「4-5 河川測量」「4-6 用地測量」に示すファイル形式、ファイル名で、それぞれ所定のフォルダに納める。

農林水産省農業振興局測量作業規定に基づいた電子納品の対象とする各測量成果は、測量成果を格納する「SURVEY」フォルダの下に「KITEN」「SUJUN」「CHIKAI」「ROSEN」「KASEN」「YOUCHI」「KAKUTE」「DOC」のサブフォルダーを格納することになるので、測量業務成果電子納品要領(案)[農林水産省農業振興局]によること。

以降、国土交通省公共測量作業規定に基づいた電子納品の対象とする測量成果について説明する。

4 - 1 共通事項

4 - 1 - 1 フォルダ構成

(1) 全体構成

電子的手段により引き渡される成果品は、図 4 - 1 に示されるフォルダ構成とする。電子媒体のルート直下には、「土木設計業務等の電子納品要領(案)」に従ったフォルダおよび業務管理ファイルを置く。

測量成果を格納する「SURVEY」フォルダの下には、「KITEN」、「SUIJUN」、「CHIKAI」、「ROSEN」、「KASEN」、「YOUCHI」、「DOC」のサブフォルダと、測量情報管理ファイルを格納する。

また、「KITEN」、「SUIJUN」、「CHIKAI」、「ROSEN」、「KASEN」、「YOUCHI」の各フォルダの下には、それぞれ「測量記録」、「測量成果」、「その他」を格納するため「WORK」、「DATA」、「OTHR」のサブフォルダを置く。

各サブフォルダに格納するファイルは、以下のとおりとする。

- 「KITEN」サブフォルダには、基準点測量の成果および基準点測量成果管理ファイルを格納する。
- 「SUIJUN」サブフォルダには、水準測量の成果および水準測量成果管理ファイルを格納する。
- 「CHIKAI」サブフォルダには、地形測量の成果および地形測量成果管理ファイルを格納する。
- 「ROSEN」サブフォルダには、路線測量の成果および路線測量成果管理ファイルを格納する。
- 「KASEN」サブフォルダには、河川測量の成果および河川測量成果管理ファイルを格納する。
- 「YOUCHI」サブフォルダには、用地測量の成果および応用測量成果管理ファイルを格納する。
- 「DOC」サブフォルダには、当該測量業務に関するドキュメント類(協議書・特記仕様書等)ファイルを格納する。

(フォルダ作成上の留意事項)

1. フォルダ名称は、半角英数大文字とする。
2. 「KITEN」、「SUIJUN」、「CHIKAI」、「ROSEN」、「KASEN」、「YOUCHI」、「DOC」のサブフォルダは成果の有無にかかわらず作成する。

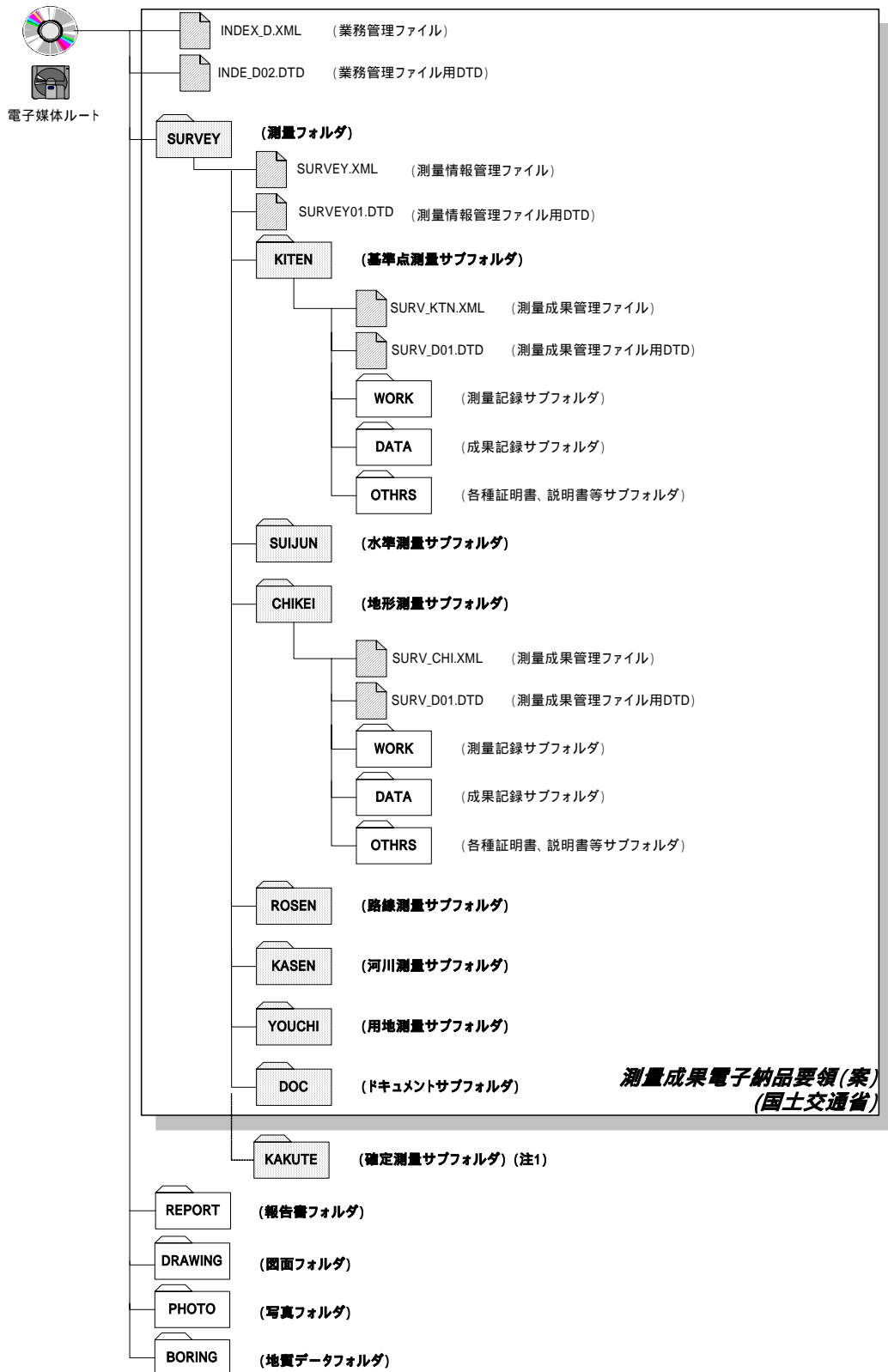


図 4-1 フォルダ構成

注 1) 測量業務成果電子納品要領(案)[農林水産省農業振興課]では、測量成果を格納する「SURVEY」フォルダの下に確定測量サブフォルダ「KAKUTE」がある。

(2) 測量サブフォルダ

測量成果を格納するフォルダは、以下の 7 つのサブフォルダ(「KITEN」「SUIJUN」「CHIKEI」「ROSEN」「KASEN」「YOUCHI」「DOC」)から構成される。「DOC」を除く各々のフォルダには、「WORK」「DATA」「OTHRs」のサブフォルダを置き、各々の成果を格納する。

さらに、「WORK」「DATA」サブフォルダは、その下に実施した測量作業に応じて、測量細区分を示すサブフォルダを設け、成果を格納する。

- 「WORK」サブフォルダには測量記録を格納する。
- 「DATA」サブフォルダには測量成果を格納する。
- 「OTHRs」サブフォルダには測量機器検定証明書、その他のファイル説明書等を格納する。

【解説】

各測量成果格納フォルダ(「KITEN」「SUIJUN」「CHIKEI」「ROSEN」「KASEN」「YOUCHI」)の下に、測量作業の途中段階である測量記録(精度管理表等)と、最終的な測量成果(成果表、DM データ等)とに分類して格納するためのサブフォルダを作成し、各々の下に当該する成果を格納する。

例)「KITEN」フォルダは以下のサブフォルダにより構成される。

「WORK」(測量記録を格納)

「DATA」(測量成果を格納)

「OTHRs」(各種証明書、説明書等)

さらに、「WORK」「DATA」については、各々、測量地域および測量の等級・地図情報レベルに応じて成果等を整理する必要がある場合については、それぞれの細区分サブフォルダを設け当該成果を格納するものとする。これらのサブフォルダは、それぞれ下記の名称とする。

表 4 - 1 測量区分とフォルダ構成

測量区分	成果区分	測量細区分	サブフォルダ名
基準点測量 <KITEN>	測量記録 <WORK>	基準点測量 <KTN_*>	/KITEN 注 1) /WORK/KTN_*
	測量成果 <DATA>	基準点測量 <KTN_*>	/KITEN /DATA/KTN_*
	その他データ <OTHR>		/KITEN /OTHR
水準測量 <SUIJUN>	測量記録 <WORK>	水準測量 <SJN_*>	/SUIJUN /WORK/SJN_*
	測量成果 <DATA>	水準測量 <SJN_*>	/SUIJUN /DATA/SJN_*
	その他データ <OTHR>		/SUIJUN /OTHR
地形測量 <CHIKI>	測量記録 <WORK>	平板測量 <HETS_*>	/CHIKI /WORK/HETS_*
		撮影 <SATU_*>	/CHIKI /WORK/SATU_*
		空中三角測量 <KUSAN_*>	/CHIKI /WORK/KUSAN_*
		図化 <ZUKA_*>	/CHIKI /WORK/ZUKA_*
		地図編集 <ZUHEN_*>	/CHIKI /WORK/ZUHEN_*
		既成図数値化 <MPDG_*>	/CHIKI /WORK/MPDG_*
		その他地形測量 <OCHK_*>	/CHIKI /WORK/OCHK_*
		測量成果 <DATA>	
	その他データ <OTHR>		/CHIKI /OTHR

注 1) 「*」は各細区分に該当する作業を複数地区や複数の精度で実施した場合の識別記号を表し、地区数等に応じて A~Z ならびに 1~9 を適用する。1 地区・1 精度で実施した場合は「A」を適用する。

表 4-2 測量区分とフォルダ構成（応用測量編）

測量区分	成果区分	測量細区分	サブフォルダ名	
路線測量 <ROSEN>	測量記録 <WORK>	中心線測量 <RCYUSN_*>	/ROSEN /WORK/RCYUSN_*	
		縦横断測量 <RZYUO_*>	/ROSEN /WORK/RZYUO_*	
		詳細測量 <RSYOS_*>	/ROSEN /WORK/RSYOS_*	
		幅杭測量 <RHABA_*>	/ROSEN /WORK/RHABA_*	
	測量成果 <DATA>	中心線測量 <RCYUSN_*>	/ROSEN /DATA/RCYUSN_*	
		縦横断測量 <RZYUO_*>	/ROSEN /DATA/RZYUO_*	
		詳細測量 <RSYOS_*>	/ROSEN /DATA/RSYOS_*	
		幅杭測量 <RHABA_*>	/ROSEN /DATA/RHABA_*	
	その他データ <OTHR>		/ROSEN /OTHR	
	河川測量 <KASEN>	測量記録 <WORK>	距離標設置測量 <WKYOR_*>	/KASEN /WORK/WKYOR_*
			定期縦横断測量 <WZYUO_*>	/KASEN /WORK/WZYUO_*
			深浅測量 <WSINS_*>	/KASEN /WORK/WSINS_*
法線測量 <WHOSE_*>			/KASEN /WORK/WHOSE_*	
海浜・汀線測量 <WKA INA_*>			/KASEN /WORK/WKA INA_*	
測量成果 <DATA>		距離標設置測量 <WKYOR_*>	/KASEN /DATA/WKYOR_*	
		定期縦横断測量 <WZYUO_*>	/KASEN /DATA/WZYUO_*	
		深浅測量 <WSINS_*>	/KASEN /DATA/WSINS_*	

測量区分	成果区分	測量細区分	サブフォルダ名
		法線測量 <WHOSE_*>	/KASEN /DATA/WHOSE_*
		海浜・汀線測量 <WKA INA_*>	/KASEN /DATA/WKA INA_*
		その他データ <OTHR>	/KASEN /OTHR
用地測量 <YOUCHI>	測量記録 <WORK>	資料調査 <YSIRYO_*>	/YOUCHI /WORK/YSIRYO_*
		境界確認 <YKYOK_*>	/YOUCHI /WORK/YKYOK_*
		境界測量 <YKYOS_*>	/YOUCHI /WORK/YKYOS_*
		境界点間測量 <YTENKN_*>	/YOUCHI /WORK/YTENKN_*
		面積計算 <YMENSK_*>	/YOUCHI /WORK/YMENSK_*
		用地実測図等の作成 <YZISKZ_*>	/YOUCHI /WORK/YZISKZ_*
		測量成果 <DATA>	資料調査 <YSIRYO_*>
		境界確認 <YKYOK_*>	/YOUCHI /DATA/YKYOK_*
		境界測量 <YKYOS_*>	/YOUCHI /DATA/YKYOS_*
		境界点間測量 <YTENKN_*>	/YOUCHI /DATA/YTENKN_*
		面積計算 <YMENSK_*>	/YOUCHI /DATA/YMENSK_*
		用地実測図等の作成 <YZISKZ_*>	/YOUCHI /DATA/YZISKZ_*
		その他データ <OTHR>	/YOUCHI /OTHR

4 - 1 - 2 ファイル形式

測量成果を電子納品する場合、以下のいずれかのファイル形式により電子媒体に格納する。

- PDF 形式
- 数値データ (TXT 形式)
- DM 形式
- CAD 形式
- オリジナルファイル形式

なお、個々の測量成果のファイル形式は 4 - 2 ~ 4 - 6 に示す。

【解説】

(1) PDF 形式

納品後の利用方法が閲覧中心となる成果は PDF 形式で納品する。

PDF (Portable Document Format) とは、米 Adobe Systems 社が開発したドキュメント・ビューア・ソフト Acrobat で、表示・印刷できるファイル形式である。Acrobat は、ドキュメントを作成した環境と別の環境(異なる機種、OS)との間におけるドキュメント交換を可能にするものである。

PDF 形式のファイルは主として以下のいずれかの方法で作成する。

1) アナログ資料のスキャンング

元成果が手書き資料等の紙媒体である場合は、スキャンングにより電子化し、PDF 形式で保存する。スキャンングの解像度は 200dpi 以上を原則とし、文字が識別できるものとする。色調については、元図が白黒の場合は、白黒 2 値を原則とし、色があるものは、フルカラーを原則とする。

縮尺が図中に表記されていない場合、または表記されている縮尺とスキャンングの縮尺が異なる場合は、図中にスキャンング時の縮尺を明記すること。

また、元資料の大きさがスキャナの走査範囲より大きい場合は、入力可能な大きさに分割してファイルを作成する。この場合は、図の縮尺に準じて電子化し、ファイル画面の上部にインデックス (位置関係説明図) を入れる。

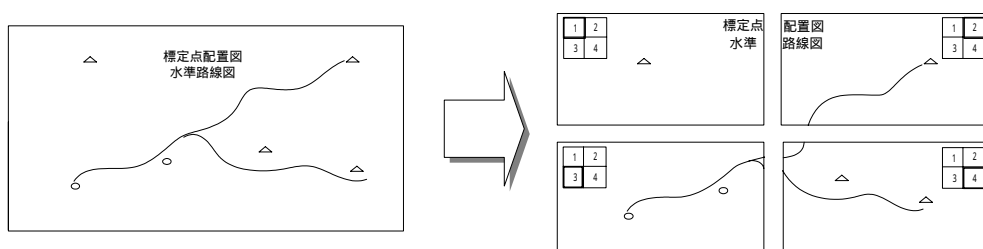


図 4 - 2 分割する場合

2) オリジナルソフトウェアで出力可能な成果品の場合

測量設計 CAD ソフトウェアやワープロ、表計算ソフトウェアで作成した成果品については、印刷機能などにより Acrobat 等を利用して PDF に変換することを原則とする。

(2) 数値データ (TXT 形式)

基準点測量の成果表、空中三角測量成果表、基準点残差表等、点の成果や他の測量作業への入力データとして利用される成果等は数値データ (TXT 形式) で納品する。数値データ (TXT 形式) には、フォーマットが要領(案)で規定されているもの(成果表等)と本ガイドラインなどで別途例示されているもの(基準点残差表等)とがある。なお、後者の場合は受発注者間の協議により納品形式を決定し、データの仕様等を説明したファイル説明書 (PDF 形式) を別途作成し、成果品データと併せて納品する。

また、フォーマットが規定されていないものについては、受発注者間で十分協議する。

数値データ (TXT 形式) とは、基本的にすべてがキャラクタコードからなる形式である。ただし、改行やファイルの終端などにはキャラクタ以外の制御コードが入っている形式のものである。

(3) DM 形式

デジタルマッピング、TS 地形測量、既成図数値化等の作業により作成される面的な成果 (地形図等) は、原則として国土交通省公共測量作業規程に定められている DM 形式で納品する。

(4) CAD 形式

基準点網図、水準路線図、空中三角測量実施一覧図等の図面類の成果は、受発注者間の協議により CAD 形式で納品することができる。納品する CAD 形式の仕様については受発注者間の協議により決定し、必要に応じてデータの仕様等を説明したファイル説明書 (PDF 形式) を作成の上、成果品データと併せて納品する。なお、CAD 形式で納品する測量成果等は原則として SURVEY フォルダ以下のサブフォルダに格納することとする。

CAD 形式については、CAD における標準フォーマットが規定されるまで、受発注者間で十分協議し、CAD のフォーマットを決めることとする。

SXF (P21) で納品する場合は、現状のバージョンでは属性や三次元を表現で

きないため、注意が必要である。

SXF：「CAD データ交換標準開発コンソーシアム」(平成 11 年 3 月～平成 12 年 8 月)、「建設情報標準化委員会 CAD データ交換標準小委員会」(平成 12 年 9 月～平成 15 年 3 月現在継続中)(いずれも JACIC(財団法人日本建設情報総合センター)事務局)にて策定された STEP AP202(製品モデルとの関連を持つ図面)規格を実装した CAD データ交換標準である。

ISO10303/TC184/SC4(STEP 規格を審議する国際会議)にて、STEP 規格を実装したものであることが認知されている。SXF の物理ファイルには、国際標準に則った p21(Part21)形式、国内 CAD データ交換のための sfc 形式 2 種類があるが、納品されたデータの永続性を確保すること、また、国外企業の参入を妨げないことが必須であるため、本案では、CAD データの納品フォーマットを国際標準に則った SXF (part21 形式:国際標準準拠)と定めた。

(5) オリジナル形式

ソフトウェアの固有性が高い測量機器等のデータや、ワープロ・表計算ソフト等を利用して作成されている成果については、受発注者間の協議によりデータ形式を特定の上、オリジナルのデータ形式で成果等を納品する。オリジナル形式で納品する場合は、必要に応じてファイル形式、レコードフォーマット等を説明したファイル説明書 (PDF 形式) を作成し、成果品データと併せて納品する。

(6) その他の形式

関係団体等が推奨しているファイル形式での納品も受発注者間の協議により納品が可能である。

例)

- ・ 観測手簿(多角、水準)における APA-SIMA(日本測量調査技術協会、日本測量機器工業会)
- ・ 測量成果(座標、路線、縦断、横断、画地)における SIMA(日本測量機器工業会)
- ・ TS 地形測量における JSP-SIMA・DM(全国測量設計協会連合会・日本測量機器工業会)
- ・ 地形・数値測量における精度管理表の TXT 形式(日本測量調査技術協会)

- ・ 観測手簿(GPS 方式)における RINEX(Receiver Independent Exchange format : 受信機に独立な交換フォーマット)。

(7) 既存地図利用時の注意事項

既存地図を測量成果に使用した場合は、ファイル説明書に出所を明記すること。

例)

「国土地理院発行の 1/25000 地形図を標定点配置図に一部使用した。」

4 - 1 - 3 ファイル命名規則

測量成果等のファイル名は、以下の各項目に従うものとする。

(1) 測量成果等

測量成果等のファイル名は、以下の規則を原則とし、図4-3に従うものとする。

半角英数字で記述することを原則とする。

図4-3の「 」部分には、測量細区分毎に設定した記号(表4-3参照)を入れる。

図4-3の「 」部分には、測量成果の種類を表す名称(表4-5、表4-6参照)を入れる。

図4-3の「nnn」部分には、同一成果のファイル内で割振った連番を入れる。

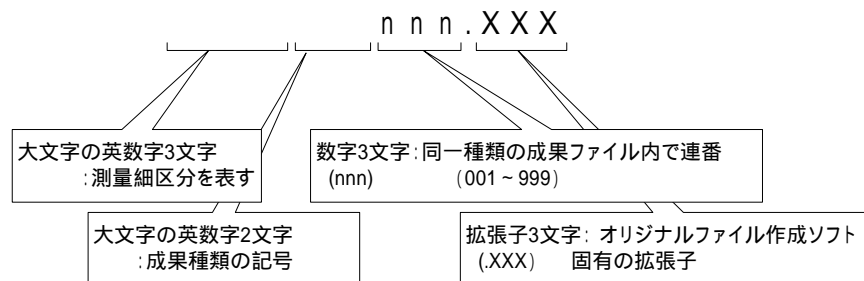


図4-3 測量成果ファイルの命名規則

【解説】

(1) 共通規則

ファイル名は、半角英数字で記述することを原則とする。

ファイル名に使用する文字は、半角(1バイト文字)で、大文字のアルファベット「A~Z」、数字「0~9」、アンダースコア「_」のみとすることを基本とする。

表 4 - 3 測量細区分記号一覧表

測量区分	測量細区分		設定記号
基準点測量			KJ*
	その他		KOT
水準測量			SJ*
	その他		SOT
地形測量	平板測量	平板測量	CH*
		TS 地形測量	CH*
	撮影	標定点設置	CS*
		対空標識設置	CS*
		撮影	CS*
		刺針	CS*
	空中三角測量	空中三角測量	CK*
	図化	現地調査	CZ*
		図化	CZ*
		地形補備測量	CZ*
		編集	CZ*
		現地補測	CZ*
		地形図原図作成	CZ*
		デジタルマッピング	CZ*
		写真図作成	CZ*
	修正測量 測量手法により CH*または CZ*等に格納		
	地図編集		CU*
	既成図数値化		CM*
	その他地形測量		CO*
	その他		ZOT
路線測量	中心線測量	線形決定	RC*
		条件点の観測	RC*
		IP 設置測量	RC*
		中心線測量	RC*
	縦横断測量	仮 BM 設置測量	RZ*
		縦断測量	RZ*
		横断測量	RZ*
	詳細測量		RS*
	幅杭測量	用地幅杭設置測量	RH*

測量区分	測量細区分		設定記号
河川測量	距離標設置測量	距離標設置測量	WK*
		水準基標測量	WK*
	定期縦横断測量	定期縦断測量	WZ*
		定期横断測量	WZ*
	深浅測量		WS*
	法線測量		WH*
	海浜・汀線測量	海浜測量	WT*
		汀線測量	WT*
用地測量	資料調査		YS*
	境界測量	復元測量	YK*
		境界確認	YK*
		境界測量	YK*
	用地境界杭設置	補助基準点の設置	YY*
		用地境界仮杭設置	YY*
		用地境界杭設置	YY*
		境界点間測量	YY*
	面積計算		YM*
用地実測図等の作成		YZ*	

注 1) 「*」は各細区分に該当する作業を複数地区や複数の精度で実施した場合の識別記号を表し、地区数等に応じて A~Z ならびに 1~9 を適用する。1 地区・1 精度で実施した場合は「A」を適用する。

図 4 - 3 のファイル命名規則のうち、「 」の部分に設定する記号については、表 4 - 3 を参照とする。3 文字目の「*」には通常「A」を記入する。複数地域や複数精度の場合 B、C・・・Z、1...9 を使う。なお、この記号は該当する測量細区分サブフォルダ名の末尾英数字と一致させること。

例: 撮影で 1/8,000 と 1/12,500 が同時発注になった場合は 2 つの測量細区分サブフォルダに格納し、ファイル名もそれぞれ「CSA nnn.XXX」、「CSB nnn.XXX」というファイル名とする。

また、図 4 - 3 のファイル命名規則のうち、「 」の部分には、表 4 - 5、表 4 - 6 を参照として、それぞれに該当する記号を選択して充てる。4 文字目のアルファベットには表 4 - 4 の設定記号を使い、5 文字目の数字はその測量細区分内での連番を割当てる。

同一成果の電子ファイルが複数ある場合は、「nnn」の部分に連番を割当てる。(001 ~ 999)

表 4 - 4 測量成果の種類名設定記号のカテゴリ区分

成果等のカテゴリ	成果等の名称	DATA, WORK 区分	設定記号
点の成果	成果表、観測成果表、平均成果表、 等	DATA	A
面の成果	DM データファイル、DM データインデ ックスファイル、DM データファイル 説明書、等	DATA	B
点の記	点の記、点の記(数値データ)、等	DATA	C
手簿・記簿	観測手簿、観測記簿、点検測量簿 埋標手簿、標定記録簿、等	WORK	D
計算簿類	計算簿、標定点成果表、標定点測量 簿、標定点明細簿等、対空標識点明 細票、空中三角測量成果表、基準点 残差表、座標測定簿、等	WORK	E
網図・一覧図類	基準点網図、平均図、観測図、水準 路線図、観測網図、標定点配置図、 対空標識点一覧図、標定図、刺針点 一覧図、空中三角測量実施一覧図、 等	WORK	F
精度管理表	精度管理表	WORK	G
説明書類	基準点現況調査報告書、撮影記録、 業務報告書、測量標の地上写真、等	WORK	H
その他	測量機器検定証明書、GPS 観測スケ ジュール表、ファイル説明書、衛星 配置図、等	OTHR	J
特記仕様書	特記仕様書	DOC	SPECS
協議書	協議書等	DOC	MEETS
実施報告書	実施報告書	DOC	SUVRP

表 4 - 5 測量成果種類の設定記号(基準点測量成果)

測量細区分	公共測量作業規程による分類		ファイル名	DATA, WORK区分
	測量細分類	成果等の名称		
基準点測量 <KJ*>	基準点測量	成果表	A1	DATA
		成果表(数値データ)	A2	DATA
		基準点網図	F1	WORK
		平均図	F2	WORK
		観測図	F3	WORK
		観測手簿	D1	WORK
		観測手簿(数値データ)	D2	WORK
		観測記簿	D3	WORK
		計算簿	E1	WORK
		点の記	C1	DATA
		点の記(数値データ)	C2	DATA
		建標承諾書	-	-
		精度管理表	G1	WORK
		点検測量簿	D4	WORK
		埋標手簿	D5	WORK
		測量標の地上写真	H2	WORK
		測量標設置位置通知書	-	-
基準点現況調査報告書	H1	WORK		
その他 <KOT>		測量機器検定証明書	J1	OTHR
		GPS 観測スケジュール表	J2	OTHR
		衛星配置図	J4	OTHR
		ファイル説明書	J3	OTHR
水準測量 <SJ*>	水準測量	観測成果表	A1	DATA
		観測成果表(数値データ)	A2	DATA
		平均成果表	A3	DATA
		平均成果表(数値データ)	A4	DATA
		水準路線図	F1	WORK
		平均図	F2	WORK
		観測手簿	D1	WORK
		観測手簿(数値データ)	D2	WORK
		計算簿	E1	WORK
		点の記	C1	DATA
		点の記(数値データ)	C2	DATA
		建標承諾書	-	-
		精度管理表	G1	WORK
		点検測量簿	D3	WORK

測量細区分	公共測量作業規程による分類		ファイル名	DATA, WORK 区分
	測量細分類	成果等の名称		
		測量標の地上写真	H2	WORK
		測量標設置位置通知書	-	-
		基準点現況調査報告書	H1	WORK
その他 <SOT>		測量機器検定証明書	J1	OTHR
		ファイル説明書	J2	OTHR

命名例 1 基準点測量の成果表を PDF 形式で 3 枚電子化した場合のファイル名

KJAA1001.PDF、KJAA1002.PDF、KJAA1003.PDF

命名例 2 基準点測量の精度管理表を枚数が多い場合には、1 ファイルにまとめて

KJAG1001.PDF とする。

その他打合せ協議等で決定した電子化ファイルの命名規則、格納フォルダは上記表 4-4 の「成果のカテゴリ」に則り作成する。

表 4-6 測量成果種類の設定記号(地形測量成果)

測量細区分	公共測量作業規程による分類		ファイル名	DATA, WORK 区分
	測量細分類	成果等の名称		
平板測量 <CH*>	平板測量	精度管理表	G1	WORK
	TS 地形測量	DM データファイル	B1	DATA
		DM データインデックスファイル	B2	DATA
		DM データファイル説明書	B3	DATA
		精度管理表	G2	WORK
撮影 <CS*>	標定点設置	標定点成果表	E1	WORK
		標定点配置図	F1	WORK
		水準路線図	F2	WORK
		標定点測量簿	E2	WORK
		標定点測量明細簿	E3	WORK
		精度管理表	G1	WORK
	対空標識設置	対空標識点明細票	E4	WORK
		対空標識点一覧図	F3	WORK
		精度管理表	G2	WORK
	撮影	標定図	F4	WORK
		撮影記録	H1	WORK
		精度管理表(撮影コース別)	G3	WORK
		精度管理表(撮影ロール別)	G4	WORK
	刺針	刺針点一覧図	F5	WORK
		精度管理表	G5	WORK

測量細区分	公共測量作業規程による分類		ファイル名	DATA, WORK 区分
	測量細分類	成果等の名称		
空中三角 測量 <CK*>	空中三角測量	空中三角測量成果表	E1	WORK
		空中三角測量実施一覧図	F1	WORK
		基準点残差表	E2	WORK
		座標測定簿	E3	WORK
		計算簿	E4	WORK
		精度管理表	G1	WORK
図化 <CZ*>	現地調査	精度管理表	G1	WORK
	図化	標定記録簿	D1	WORK
		精度管理表	G2	WORK
	地形補備測量	精度管理表	G3	WORK
	編集	精度管理表	G4	WORK
	現地補測	精度管理表	G5	WORK
	補測編集	精度管理表	G6	WORK
	地形図原図作成	精度管理表	G7	WORK
	デジタル マッピング	DM データファイル	B1	DATA
		DM データインデックスファイル	B2	DATA
		DM データファイル説明書	B3	DATA
		精度管理表	G8	WORK
写真図作成	精度管理表	G9	WORK	
修正測量	精度管理表	G*	注 1)	
地図編集<CU*>	精度管理表	G1	WORK	
既成図数値化 <CM*>	DM データファイル	B1	DATA	
	DM データインデックスファイル	B2	DATA	
	DM データファイル説明書	B3	DATA	
	精度管理表	G1	WORK	
その他地形測量<CO*> 注 2)	測量成果類(項目未定)		DATA	
	測量記録類(項目未定)		WORK	
その他 <ZOT>	測量機器検定証明書	J1	OTHR	
	ファイル説明書	J2	OTHR	

その他打合せ協議等で決定した電子化ファイルの命名規則、格納フォルダは前記表 4 - 4の「測量成果の種類設定記号のカテゴリ区分」に則り作成する。

命名例: 空中写真測量(標定点設置)の精度管理表を枚数が多い場合には、1 ファイルにまとめて、CSAG1001.PDF とする。

注 1): 修正測量は測量手法により「平板測量(CH*)」または「図化(CZ*)」等に格納する。連番は最終番号の次の番号を使う。(1~9、A~Z)
例) 平板測量 CH*G3001.PDF

図 化 CZ*GA001.PDF

注 2) : その他地形測量サブフォルダには、いずれの測量にも属さない地形測量および今後の新技術による測量の成果を格納する。

表 4-7 測量成果種類の設定記号(路線測量成果)

測量細区分	公共測量作業規程による分類		ファイル名	DATA, WORK 区分	
	測量細分類	成果等の名称			
中心線測量 <RC*>	線形決定	線形図	B1	DATA	
		計算簿	E1	WORK	
	条件点の観測	成果表	A1	DATA	
		成果表(数値データ)	A2	DATA	
		観測手簿	D1	WORK	
		計算簿	E2	WORK	
		精度管理表	G1	WORK	
	IP 設置測量	計算簿	E3	WORK	
		点の記	C1	DATA	
		精度管理表	G2	WORK	
	中心線測量	線形地形図	B2	DATA	
		引照点図	B3	DATA	
		計算簿	E4	WORK	
		計算簿(数値データ)	E5	WORK	
		点の記	C2	DATA	
		精度管理表	G3	WORK	
	縦横断測量 <RZ*>	仮 BM 設置測量	成果表	A1	DATA
			成果表(数値データ)	A2	DATA
水準路線図			F1	WORK	
平均図			F2	WORK	
観測手簿			D1	WORK	
点の記			C1	DATA	
精度管理表			G1	WORK	
縦断測量		成果表	A3	DATA	
		成果表(数値データ)	A4	DATA	
		縦断面図	B1	DATA	
		観測手簿	D2	WORK	
		精度管理表	G2	WORK	
横断測量		横断面図	B2	DATA	
		観測手簿	D3	WORK	
		精度管理表	G3	WORK	

測量細区分	公共測量作業規程による分類		ファイル名	DATA, WORK 区分
	測量細分類	成果等の名称		
詳細測量 <RS*>	詳細測量	成果表	A1	DATA
		成果表(数値データ)	A2	DATA
		詳細平面図	B1	DATA
		縦横断面図	B2	DATA
		観測手簿	D1	WORK
		精度管理表	G1	WORK
幅杭測量 <RH*>	用地幅杭設置 測量	杭打図	B1	DATA
		計算簿	E1	WORK
		計算簿(数値データ)	E2	WORK
		精度管理表	G1	WORK
その他 <ROT>		測量機械検定証明書	J1	OTHR
		点検測量簿	J2	OTHR
		ファイル説明書	J3	OTHR

表 4 - 8 測量成果種類の設定記号(河川測量成果)

測量細区分	公共測量作業規程による分類		ファイル名	DATA, WORK 区分
	測量細分類	成果等の名称		
距離標設置 測量 <WK*>	距離標設置測 量	成果表	A1	DATA
		成果表(数値データ)	A2	DATA
		点の記	C1	DATA
		距離標位置情報整理表	A3	DATA
		観測手簿	D1	WORK
		観測手簿(数値データ)	D2	WORK
		計算簿	E1	WORK
		精度管理表	G1	WORK
	水準基標測量	成果表	A4	DATA
		成果表(数値データ)	A5	DATA
		水準路線図	F1	WORK
		平均図	F2	WORK
		点の記	C2	DATA
		観測手簿	D3	WORK
		観測手簿(数値データ)	D4	WORK
		計算簿	E2	WORK
		精度管理表	G2	WORK

測量細区分	公共測量作業規程による分類		ファイル名	DATA, WORK 区分
	測量細分類	成果等の名称		
定期縦横断 測量 <WZ*>	定期縦断測量	測量成果整理表	A1	DATA
		測量成果(数値データ)	A2	DATA
		水準路線図	F1	WORK
		平均図	F2	WORK
		縦断図	B1	DATA
		観測手簿	D1	WORK
		計算簿	E1	WORK
		精度管理表	G1	WORK
		業務報告書	H1	WORK
	定期横断測量	測量成果整理表	A3	DATA
		測量成果(数値データ)	A4	DATA
		横断図	B2	DATA
		観測手簿	D2	WORK
		業務報告書	H2	WORK
深浅測量 <WS*>	深浅測量	横断面図	B1	DATA
		記録紙	-	-
		観測手簿	D1	WORK
法線測量 <WH*>	法線測量	線形図	B1	DATA
		観測手簿	D1	WORK
		計算簿	E1	WORK
		精度管理表	G1	WORK
海浜・汀線測 量 <WT*>	海浜測量	等高・等深線図	B1	DATA
		観測手簿	D1	WORK
		観測手簿(数値データ)	D2	WORK
		計算簿	E1	WORK
		精度管理表	G1	WORK
	汀線測量	汀線図	B2	DATA
		観測手簿	D3	WORK
		観測手簿(数値データ)	D4	WORK
その他 <WOT>		測量機械検定証明書	J1	OTHR
		点検測量簿	J2	OTHR
		ファイル説明書	J3	OTHR

表 4 - 9 測量成果種類の設定記号(用地測量成果)

測量細区分	公共測量作業規程による分類		ファイル名	DATA, WORK 区分
	測量細分類	成果等の名称		
資料調査 <YS*>	資料調査	公図等転写図	-	-
		公図等転写連続図	F1	WORK
		土地調査表	H1	WORK
		建物登記簿等調査表	G1	WORK
		地積測量図転写図	F2	WORK
		権利者調査表	H2	WORK
境界確認 <YK*>	復元測量	復元箇所位置図	B1	DATA
		観測手簿	D1	WORK
	境界確認	土地境界立会確認書	H1	WORK
境界測量 <YY*>	境界測量	成果表	A1	DATA
		成果表(数値データ)	A2	DATA
		観測手簿	D1	WORK
		観測手簿(数値データ)	D2	WORK
		測量計算簿等	E1	WORK
	補助基準点の設置	成果表	A3	DATA
		成果表(数値データ)	A4	DATA
		基準点網図	F1	WORK
		観測手簿	D3	WORK
		観測手簿(数値データ)	D4	WORK
		計算簿	E2	WORK
		精度管理表	G1	WORK
	用地境界仮杭設置	設置箇所位置図	B1	DATA
		成果表	A5	DATA
		成果表(数値データ)	A6	DATA
		計算簿	E3	WORK
		精度管理表	G2	WORK
	用地境界杭設置	設置箇所位置図	B2	DATA
		成果表	A7	DATA
		成果表(数値データ)	A8	DATA
		計算簿	E4	WORK
境界点間測量 <YT*>	境界点間測量	精度管理表	G1	WORK
		精度管理図	G2	WORK
面積計算 <YM*>	面積計算	面積計算書	A1	DATA
		面積計算書(数値データ)	A2	DATA

測量細区分	公共測量作業規程による分類		ファイル名	DATA, WORK 区分
	測量細分類	成果等の名称		
用地実測図 等の作成 <YZ*>	用地実測図等の 作成	用地実測データ	B1	DATA
		用地平面データ	B2	DATA
		精度管理表	G1	WORK
その他 <YOT>		測量機械検定証明書	J1	OTHR
		点検測量簿	J2	OTHR
		ファイル説明書	J3	OTHR

4 - 1 - 4 2 段撮影、複数区域、複数等級等の場合のフォルダ構成

一件の業務において、同一の測量作業（測量細区分）を複数の異なる仕様で実施した場合は、測量細区分を示すサブフォルダおよびファイル命名則の設定記号により区別して成果データを電子納品する。測量細区分を区別する事例を以下に示す。

- 2 段撮影業務（空中写真測量）
- 複数地区の測量作業の合併業務
- 複数の異なる精度の図化作業
- 複数の異なる等級の基準点測量、水準測量 等

【解説】

(1) 測量細区分フォルダによる区分

表 4 - 10 に示す各サブフォルダ名の最後の 2 文字「_*」に、「_A」～「_Z」および「_1」～「_9」を適用して測量細区分を補助的に区別する。

表 4 - 10 測量細区分とサブフォルダ名

測量区分 <フォルダ名>	成果区分 <フォルダ名>	測量細区分 <フォルダ名>	サブフォルダ名
基準点測量 <KITEN>	測量記録 <WORK>	基準点測量 <KTN_*>	/KITEN/WORK/KTN_*
	測量成果 <DATA>	基準点測量 <KTN_*>	/KITEN/DATA/KTN_*
	その他データ <OTHR>		/KITEN/OTHR
水準測量 <SUIJUN>	測量記録 <WORK>	水準測量 <SJV_*>	/SUIJUN/WORK/SJV_*
	測量成果 <DATA>	水準測量 <SJV_*>	/SUIJUN/DATA/SJV_*
	その他データ <OTHR>		/SUIJUN/OTHR
地形測量 <CHIKAI>	測量記録 <WORK>	平板測量 <HETS_*>	/CHIKAI/WORK/HETS_*
		撮影 <SATU_*>	/CHIKAI/WORK/SATU_*
		空中三角測量 <KUSAN_*>	/CHIKAI/WORK/KUSAN_*
		図化 <ZUKA_*>	/CHIKAI/WORK/ZUKA_*
		地図編集 <ZUHEN_*>	/CHIKAI/WORK/ZUHEN_*

測量区分 <フォルダ名>	成果区分 <フォルダ名>	測量細区分 <フォルダ名>	サブフォルダ名
		既成函数値化 <MPDG_*>	/CHIKEI/WORK/MPDG_*
		その他地形測量 <OCHK_*>	/CHIKEI/WORK/OCHK_*
	測量成果 <DATA>		/CHIKEI/DATA
	その他データ <OTHR>		/CHIKEI/OTHR
路線測量 <ROSEN>	測量記録 <WORK>	中心線測量 <RCYUSN_*>	/ROSEN/WORK/RCYUSN_*
		縦横断測量 <RZYUO_*>	/ROSEN/WORK/RZYUO_*
		詳細測量 <RSYOS_*>	/ROSEN/WORK/RSYOS_*
		幅杭測量 <RHABA_*>	/ROSEN/WORK/RHABA_*
	測量成果 <DATA>	中心線測量 <RCYUSN_*>	/ROSEN/DATA/RCYUSN_*
		縦横断測量 <RZYUO_*>	/ROSEN/DATA/RZYUO_*
		詳細測量 <RSYOS_*>	/ROSEN/DATA/RSYOS_*
		幅杭測量 <RHABA_*>	/ROSEN/DATA/RHABA_*
その他データ <OTHR>		/ROSEN/OTHR	
河川測量 <KASEN>	測量記録 <WORK>	距離標設置測量 <WKYOR_*>	/KASEN/WORK/WKYOR_*
		定期縦横断測量 <WZYUO_*>	/KASEN/WORK/WZYUO_*
		深浅測量 <WSINS_*>	/KASEN/WORK/WSINS_*
		法線測量 <WBOSE_*>	/KASEN/WORK/WBOSE_*
		海浜・汀線測量 <WKAINA_*>	/KASEN/WORK/WKAINA_*
	測量成果 <DATA>	距離標設置測量 <WKYOR_*>	/KASEN/DATA/WKYOR_*
		定期縦横断測量 <WZYUO_*>	/KASEN/DATA/WZYUO_*
		深浅測量 <WSINS_*>	/KASEN/DATA/WSINS_*
		法線測量 <WBOSE_*>	/KASEN/DATA/WBOSE_*
		海浜・汀線測量 <WKAINA_*>	/KASEN/DATA/WKAINA_*
	その他データ <OTHR>		/KASEN/OTHR

測量区分 <フォルダ名>	成果区分 <フォルダ名>	測量細区分 <フォルダ名>	サブフォルダ名
用地測量 <YOUCHI>	測量記録 <WORK>	資料調査 <YSIRYO_*>	/YOUCHI/WORK/YSIRYO_*
		境界確認 <YKYOK_*>	/YOUCHI/WORK/YKYOK_*
		境界測量 <YKYOS_*>	/YOUCHI/WORK/YKYOS_*
		境界点間測量 <YTENKN_*>	/YOUCHI/WORK/YTENKN_*
		面積計算 <YMENSK_*>	/YOUCHI/WORK/YMENSK_*
		用地実測図等の作成 <YZISKZ_*>	/YOUCHI/WORK/YZISKZ_*
		測量成果 <DATA>	資料調査 <YSIRYO_*>
		境界確認 <YKYOK_*>	/YOUCHI/DATA/YKYOK_*
		境界測量 <YKYOS_*>	/YOUCHI/DATA/YKYOS_*
		境界点間測量 <YTENKN_*>	/YOUCHI/DATA/YTENKN_*
		面積計算 <YMENSK_*>	/YOUCHI/DATA/YMENSK_*
		用地実測図等の作成 <YZISKZ_*>	/YOUCHI/DATA/YZISKZ_*
		その他データ <OTHR>	/YOUCHI/OTHR

(2) ファイル命名規則による区分

図4-4に示すファイル命名規則において、「 」の部分に設定する記号については、設定記号(表4-11)を参照とする。また、表4-11内に記された「*」には、「A」～「Z」および「1」～「9」を適用し、測量細区分を補助的に区別する。なお、この記号は該当する測量細区分サブフォルダ名の末尾英数字と一致させること。

(複数地域や複数精度の場合等を区別する際に適用する。)

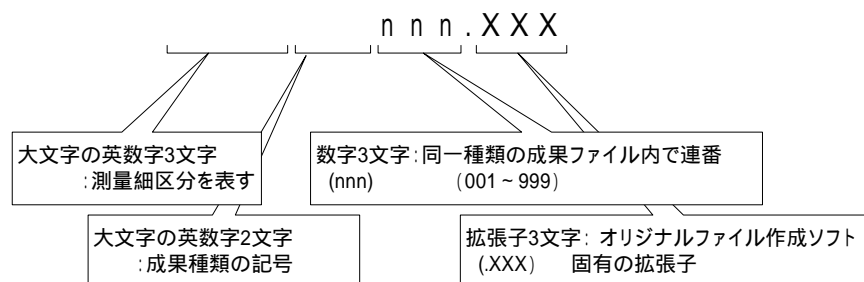


図4-4 成果ファイルの命名規則

表 4 - 11 測量細区分記号一覧表

測量区分	測量細区分		設定記号
基準点測量			KJ*
	その他		KOT
水準測量			SJ*
	その他		SOT
地形測量	平板測量	平板測量	CH*
		TS 地形測量	CH*
	撮影	標定点設置	CS*
		対空標識設置	CS*
		撮影	CS*
		刺針	CS*
	空中三角測量	空中三角測量	CK*
	図化	現地調査	CZ*
		図化	CZ*
		地形補備測量	CZ*
		編集	CZ*
		現地補測	CZ*
		地形図原図作成	CZ*
		デジタルマッピング	CZ*
		写真図作成	CZ*
	修正測量 測量手法により CH*または CZ*等に格納		
	地図編集		CU*
	既成図数値化		CM*
	その他地形測量		CO*
	その他		ZOT
路線測量	中心線測量	線形決定	RC*
		条件点の観測	RC*
		IP 設置測量	RC*
		中心線測量	RC*
	縦横断測量	仮 BM 設置測量	RZ*
		縦断測量	RZ*
		横断測量	RZ*
	詳細測量		RS*

測量区分	測量細区分		設定記号
	幅杭測量	用地幅杭設置測量	RH*
	その他		ROT
河川測量	距離標設置測量	距離標設置測量	WK*
		水準基標測量	WK*
	定期縦横断測量	定期縦断測量	WZ*
		定期横断測量	WZ*
	深浅測量		WS*
	法線測量		WH*
	海浜・汀線測量	海浜測量	WT*
		汀線測量	WT*
その他		WOT	
用地測量	資料調査		YS*
	境界確認	復元測量	YK*
		境界確認	YK*
	境界測量	境界測量	YY*
		補助基準点の設置	YY*
		用地境界仮杭設置	YY*
		用地境界杭設置	YY*
	境界点間測量		YT*
	面積計算		YM*
	用地実測図等の作成		YZ*
その他		YOT	

*には通常「A」を記入する。

複数地域や複数精度で測量を区分する場合 B、C・・・Z、1・・・9 を使う。

例：撮影で 1/8,000 と 1/12,500 が同時発注になった場合は 2 つの測量細区分サブフォルダに格納し、ファイル名もそれぞれ「.../SATJ-A/CSA nnn.XXX」、
「.../SATJ-B/CSB nnn.XXX」というファイル名とする。

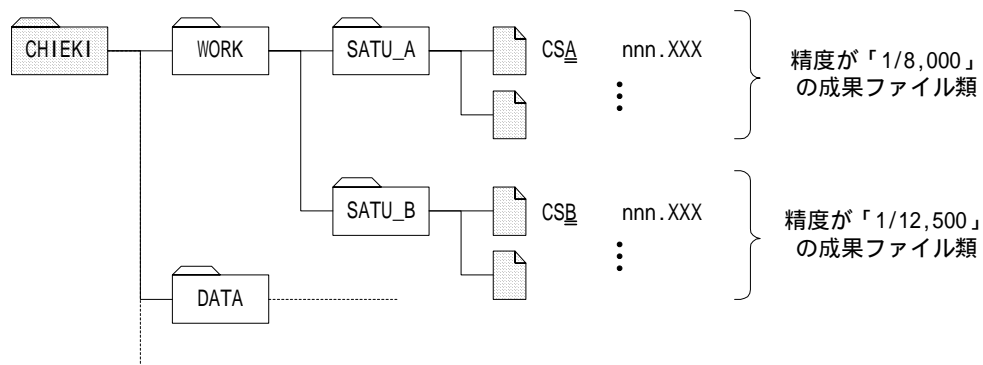


図 4-5 ファイル名の付け方と格納フォルダの例

(3) フォルダ構成の具体例

下記の場合におけるフォルダ構成の事例を以下に示す。

- 1) 2 段撮影業務（空中写真測量）
- 2) 複数地区の測量作業の合併業務
- 3) 複数の異なる精度の図化作業
- 4) 複数の異なる等級の基準点測量、水準測量

1) 2段撮影業務(空中写真測量)

空中写真測量において、2段撮影(例:撮影縮尺1/10,000と1/25,000)を行った場合、下図に示されるようなフォルダ構成となる。

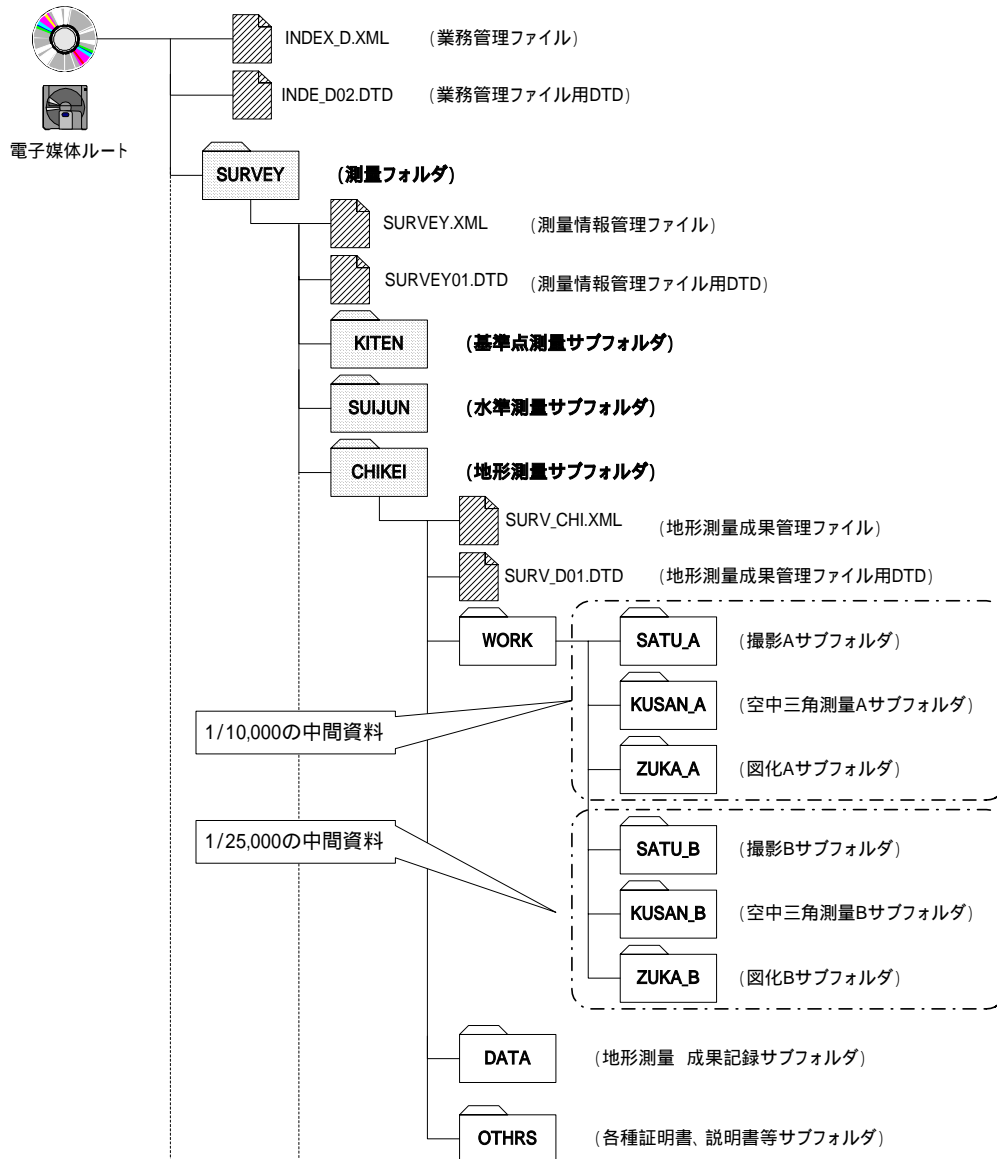


図 4-6 フォルダ構成の例(1)

2) 複数地区の測量作業の合併業務

複数地区（例： 地区と 地区）で測量作業（例：3 級基準点測量）を行なった場合、下図に示されるようなフォルダ構成となる。

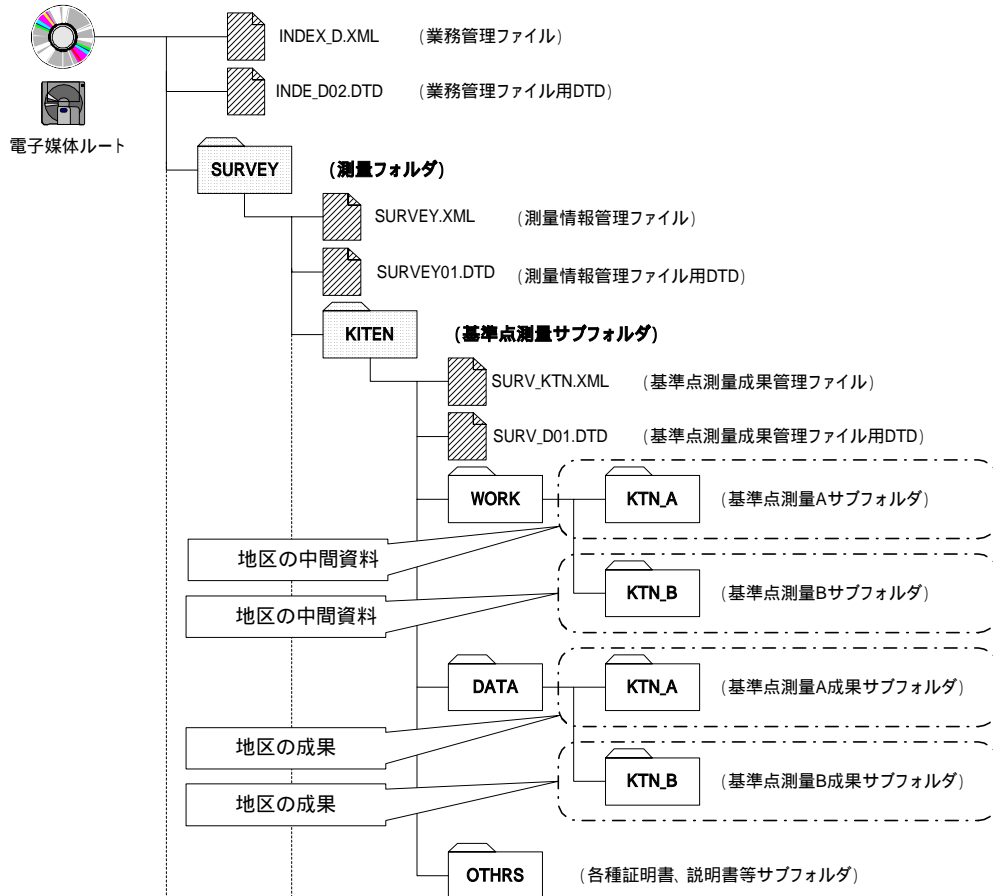


図 4-7 フォルダ構成の例(2)

3) 複数の異なる精度の図化作業

複数の異なる精度（例：1/5,000と1/10,000）で図化作業を行なった場合、
下図に示されるようなフォルダ構成となる。

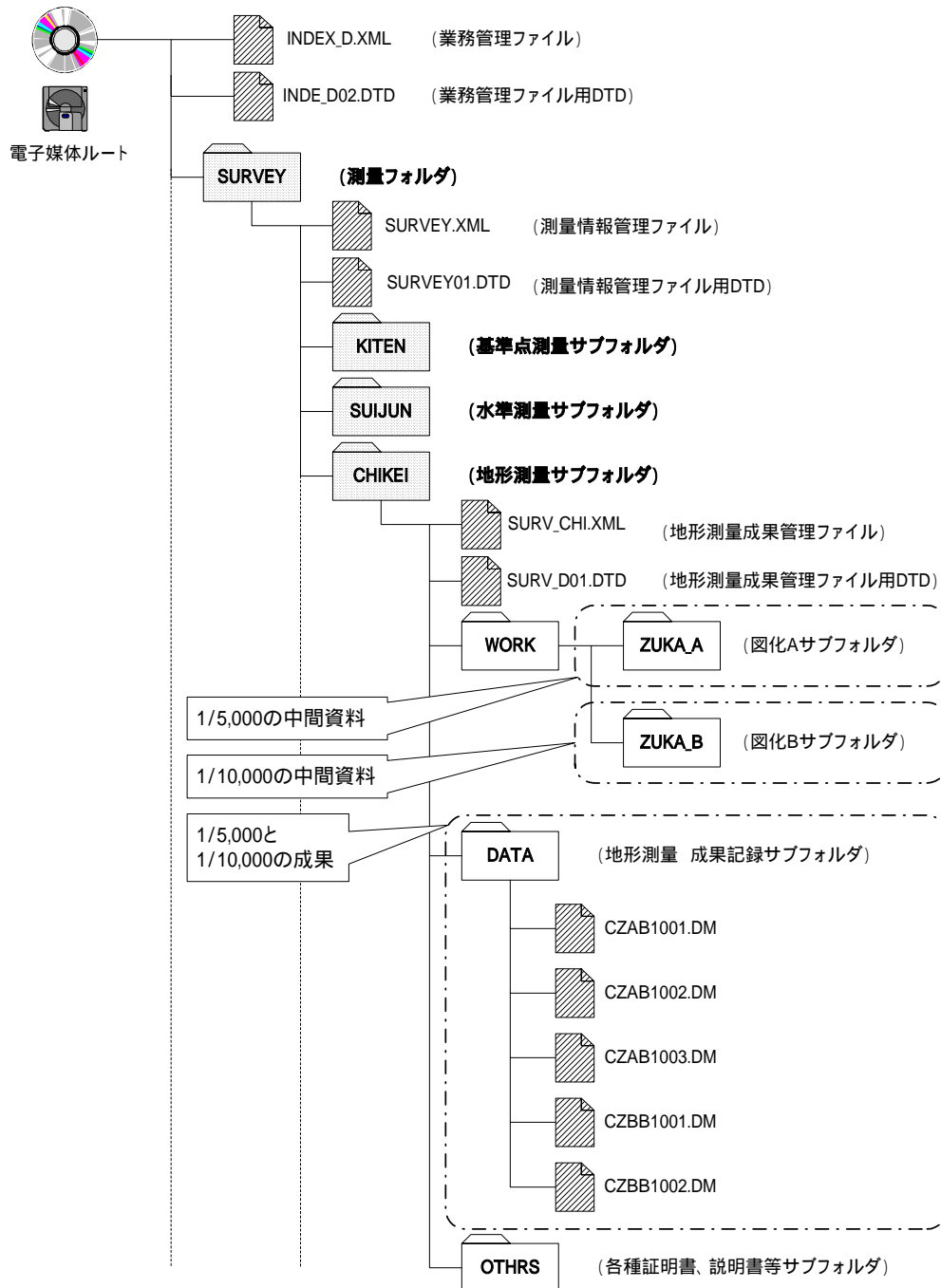


図 4 - 8 フォルダ構成の例(3)

4) 複数の異なる等級の基準点測量、水準測量

複数の異なる等級の基準点測量、水準測量（例：2級基準点、3級基準点と3級水準）を行なった場合、下図に示されるようなフォルダ構成となる。

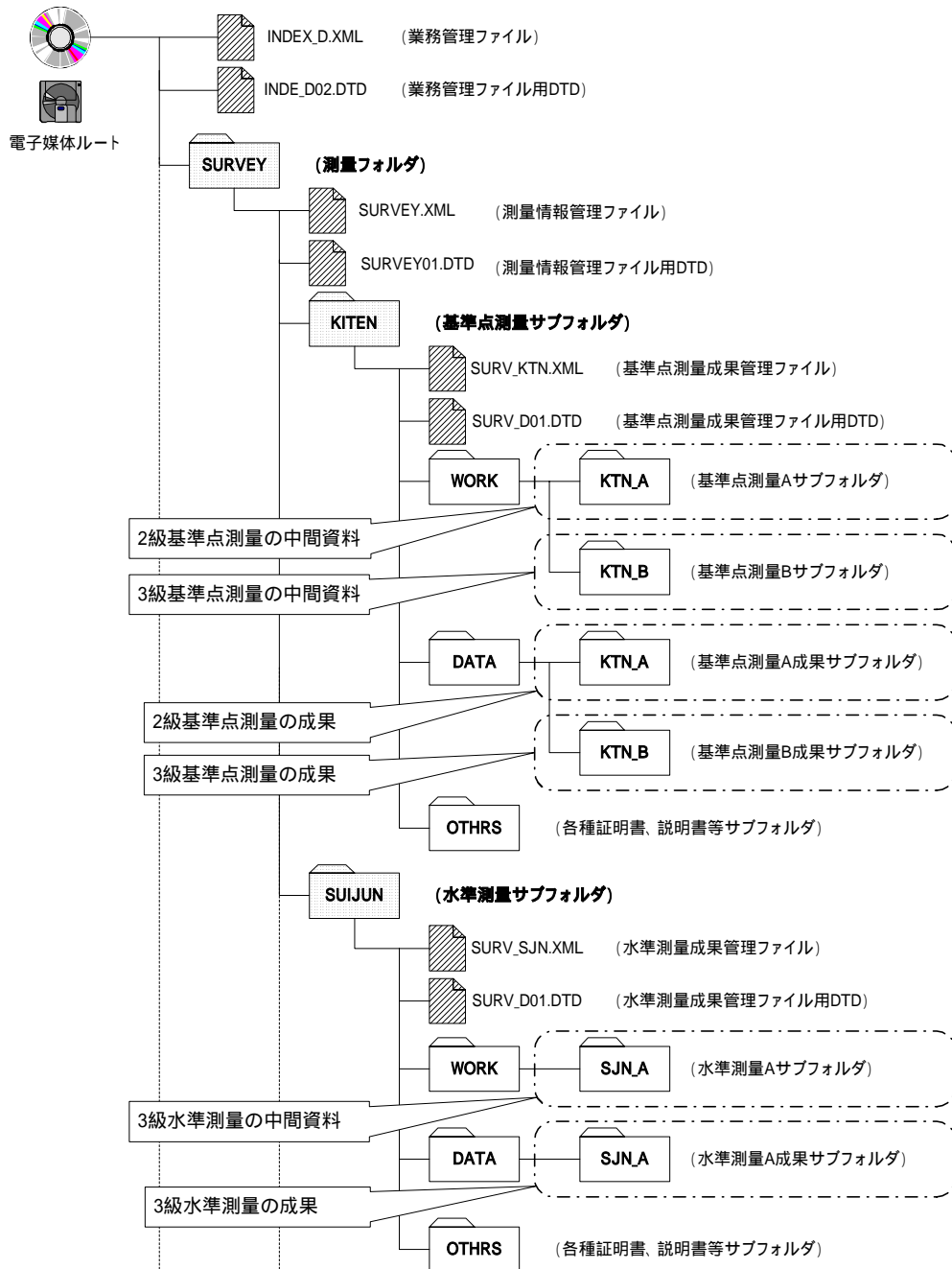


図 4 - 9 フォルダ構成の例(4)

4 - 1 - 5 図面成果の個別格納

図面に関する成果のうち、複数の図面成果を一つの図面成果にまとめて作成した場合、当該図面成果ファイルを必要数分複写して成果ごとに電子ファイルを作成しても良いものとする。

【解説】

従来の紙の成果では1面にまとめていた図面成果も、電子納品では図面成果毎に電子ファイルを作成し、ファイル命名規則に従って各フォルダ内に格納するものとする。

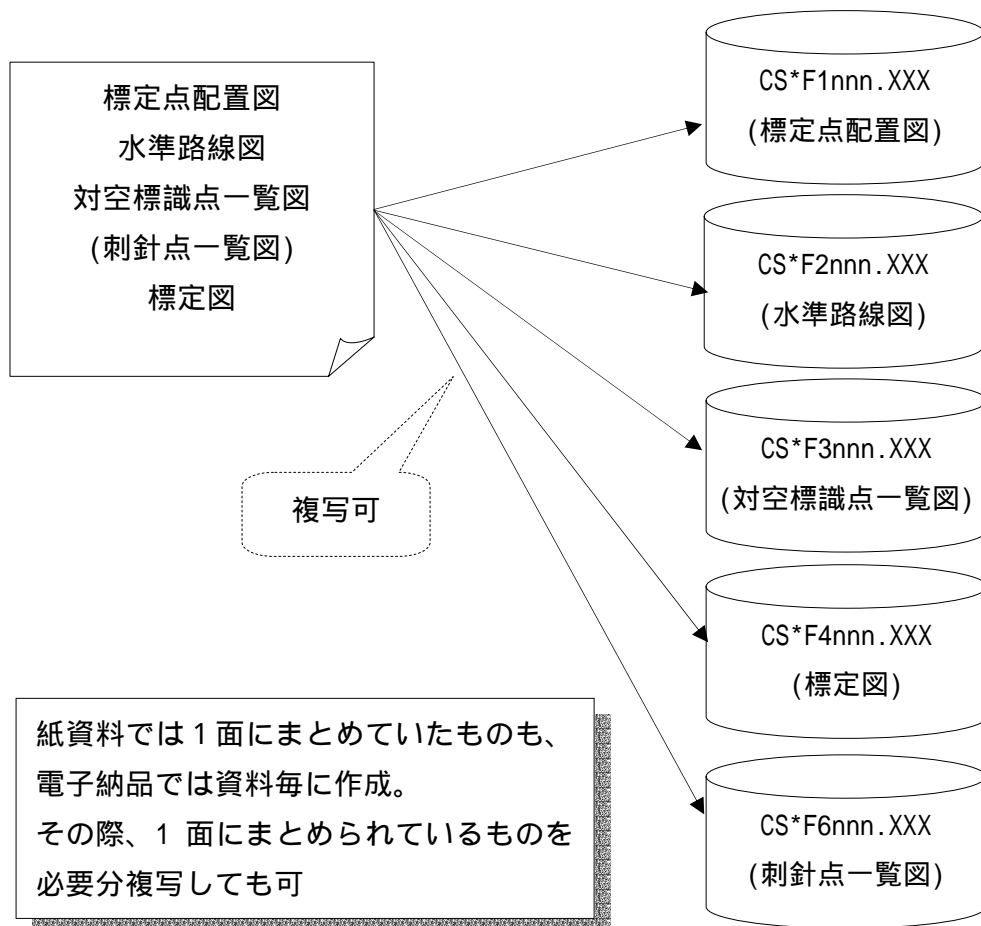


図 4-10 図面成果の個別格納説明図

4 - 2 基準点測量

4 - 2 - 1 成果一覧 (フォルダ構成、ファイル形式・命名則・格納場所)

基準点測量の電子納品対象書類は、表 4 - 12 に示されるように、多岐に分かれている。電子納品の対象となる各成果は、各々表に示されているファイル形式で作成し、同様に示されている格納フォルダ (図 4 - 11 参照) 内に、所定のファイル名称を付けて納めることになっている。

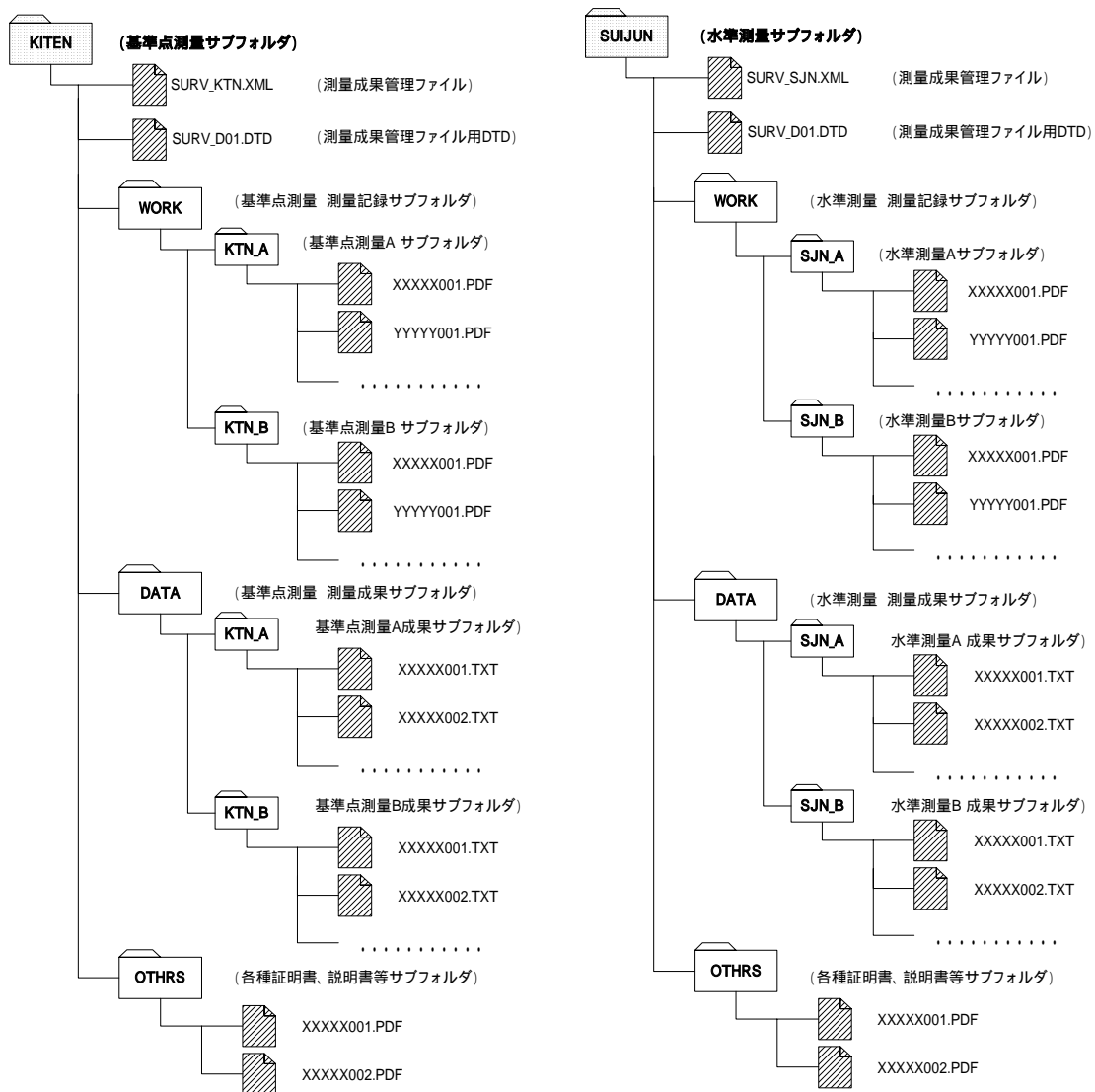


図 4 - 11 基準点測量、水準測量サブフォルダ構成

表 4 -12 基準点測量の成果種類

公共測量作業規程による分類		ファイル形式	ファイル命名規則	格納フォルダ名	備考
測量細分類	成果等の名称				
基準点測量	成果表	PDF	KJ*A1nnn.PDF	/KITEN/DATA/KTN_*	
	成果表(数値データ)	TXT	KJ*A2nnn.TXT	/KITEN/DATA/KTN_*	
	基準点網図	PDF	KJ*F1nnn.PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	協議により CAD 形式も可
	平均図	PDF	KJ*F2nnn.PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	
	観測図	PDF	KJ*F3nnn.PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	
	観測手簿	PDF	KJ*D1nnn.PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	
	観測手簿(数値データ)	オリジナル	KJ*D2nnn.XXX	/KITEN/WORK/KTN_*	
	観測記簿	PDF	KJ*D3nnn.PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	協議により TXT 形式も可
	計算簿	PDF	KJ*E1nnn.PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	
	点の記	PDF	KJ*C1nnn.PDF	/KITEN/DATA/KTN_*	
	点の記(数値データ)	オリジナル	KJ*C2nnn.XXX	/KITEN/DATA/KTN_*	
	建標承諾書	(対象外)	-	-	
	精度管理表	PDF	KJ*G1nnn.PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	
	点検測量簿	PDF	KJ*D4nnn.PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	
	埋標手簿	PDF	KJ*D5nnn.PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	
	測量標の地上写真	PDF	KJ*H2nnn.PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	
	測量標設置位置通知書	(対象外)	-	-	
基準点現況調査報告書	PDF	KJ*H1nnn.PDF	/KITEN/WORK/KTN_*		
その他	測量機器検定証明書	PDF	K0TJ1nnn.PDF	/KITEN/OTHR	
	GPS 観測スケジュール表	PDF	K0TJ2nnn.PDF	/KITEN/OTHR	
	衛星配置図	PDF	K0TJ4nnn.PDF	/KITEN/OTHR	
	ファイル説明書	PDF	K0TJ3nnn.PDF	/KITEN/OTHR	
水準測量	観測成果表	PDF	SJ*A1nnn.PDF	/SUIJUN/DATA/SJN_*	
	観測成果表(数値データ)	TXT	SJ*A2nnn.TXT	/SUIJUN/DATA/SJN_*	
	平均成果表	PDF	SJ*A3nnn.PDF	/SUIJUN/DATA/SJN_*	
	平均成果表(数値データ)	TXT	SJ*A4nnn.TXT	/SUIJUN/DATA/SJN_*	

4 - 2 基準点測量

公共測量作業規程による分類		ファイル形式	ファイル命名規則	格納フォルダ名	備考
測量細分類	成果等の名称				
	水準路線図	PDF	SJ*F1nnn.PDF	/SUIJUN/WORK/SJN_*	協議により CAD 形式も可
	平均図	PDF	SJ*F2nnn.PDF	/SUIJUN/WORK/SJN_*	
	観測手簿	PDF	SJ*D1nnn.PDF	/SUIJUN/WORK/SJN_*	
	観測手簿(数値データ)	オリジナル	SJ*D2nnn.XXX	/SUIJUN/WORK/SJN_*	
	計算簿	PDF	SJ*E1nnn.PDF	/SUIJUN/WORK/SJN_*	
	点の記	PDF	SJ*C1nnn.PDF	/SUIJUN/DATA/SJN_*	
	点の記(数値データ)	オリジナル	SJ*C2nnn.XXX	/SUIJUN/DATA/SJN_*	
	建標承諾書	(対象外)	-	-	
	精度管理表	PDF	SJ*G1nnn.PDF	/SUIJUN/WORK/SJN_*	
	点検測量簿	PDF	SJ*D3nnn.PDF	/SUIJUN/WORK/SJN_*	
	測量標の地上写真	PDF	SJ*H2nnn.PDF	/SUIJUN/WORK/SJN_*	
	測量標設置位置通知書	(対象外)	-	-	
	基準点現況調査報告書	PDF	SJ*H1nnn.PDF	/SUIJUN/WORK/SJN_*	
その他	測量機器検定証明書	PDF	SOTJ1nnn.PDF	/SUIJUN/OTHR	
	ファイル説明書	PDF	SOTJ2nnn.PDF	/SUIJUN/OTHR	

4-2-2 成果ファイル解説・補足

基準点測量の成果は表 4-13に示されるファイル形式によって成果ファイルを作成するものとする。具体的な方法は運用基準によるものとする。

(1) 基準点測量

表 4-13 基準点測量成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
成果表		PDF	/KITEN/DATA/KTN_*	KJ*A1nnn.PDF
成果表(数値データ)		TXT	/KITEN/DATA/KTN_*	KJ*A2nnn.TXT
基準点網図		PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	KJ*F1nnn.PDF
平均図		PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	KJ*F2nnn.PDF
観測図		PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	KJ*F3nnn.PDF
観測手簿		PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	KJ*D1nnn.PDF
観測手簿(数値データ)		オリジナル	/KITEN/WORK/KTN_*	KJ*D2nnn.XXX
観測記簿		PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	KJ*D3nnn.PDF
計算簿		PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	KJ*E1nnn.PDF
点の記		PDF	/KITEN/DATA/KTN_*	KJ*C1nnn.PDF
点の記(数値データ)		オリジナル	/KITEN/DATA/KTN_*	KJ*C2nnn.XXX
建標承諾書		(対象外)	-	-
精度管理表		PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	KJ*G1nnn.PDF
点検測量簿		PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	KJ*D4nnn.PDF
埋標手簿		PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	KJ*D5nnn.PDF
測量標の地上写真		PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	KJ*H2nnn.PDF
測量標設置位置通知書		(対象外)	-	-
基準点現況調査報告書		PDF	/KITEN/WORK/KTN_*	KJ*H1nnn.PDF
観測機器検定証明書		PDF	/KITEN/OTHR	KOTJ1nnn.PDF
GPS 観測スケジュール表		PDF	/KITEN/OTHR	KOTJ2nnn.PDF
衛星配置図		PDF	/KITEN/OTHR	KOTJ4nnn.PDF
ファイル説明書		PDF	/KITEN/OTHR	KOTJ3nnn.PDF

【運用基準】

- 1) 成果表については、PDF 形式で納品するほか、数値データを TXT 形式で納品する。TXT 形式は 10 章資料を参照とする。
PDF 形式の成果表は、1 成果 1 ファイルの成果単位で作成する。
成果表数値データは、等級種別等適当な単位にまとめてファイルを作成する。
- 2) 基準点網図・平均図・観測図は、PDF 形式で納品する。また、受発注者間の協

議により数値データ、又はCADデータで納品することができる。その場合、PDF形式の成果については、受発注者間の協議により、納品の有無を決めることができる。なおファイルは、図単位または図の種別単位で作成する。

- 3) 観測手簿は、PDF形式で納品する。また、受発注者間の協議によりPDF形式に加えてオリジナル数値データを納品することができる。ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。枚数の多いPDFファイルについては利用の便を考え100枚程度に分割してファイルを作成する。
- 4) 観測記簿は、PDF形式で納品する。また、受発注者間の協議によりPDF形式に加えてオリジナル数値データを納品することができる。なお、ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 5) 計算簿は、PDF形式で納品する。
ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 6) 点の記は、PDF形式で納品する。また、受発注者間の協議によりPDF形式に加えてオリジナル数値データを納品することができる。PDF形式の点の記は、1成果1ファイルの成果単位で作成する。数値データについては受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 7) 精度管理表は、PDF形式で納品する。
ファイルは、種別単位に作成する。
- 8) 点検測量簿、埋標手簿および基準点現況調査報告書は、PDF形式で納品する。
ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 9) 測量標の地上写真は、受発注者間の協議によりPDF形式またはオリジナル数値データ形式で納品する。
- 10) 表4-13に記載されていない「衛星配置図」等の測量記録、資料について電子納品は、「その他」サブフォルダに格納する。

【解説・補足】

- 1) 成果表（数値データ）のフォーマット仕様は、要領（案）にある仕様に従うこと。なお、数値データは後続作業の利用を考慮して等級種別等適当な単位にまとめてファイルを作成すること。
- 2) 基準点網図、平均図、観測図は、以下の点に留意すること。
 - ・ スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1)アナログ資料のスキヤニング」に留意すること。
 - ・ 各々図の大きさがスキャナの走査範囲より大きい場合は適宜分割して

作成する。この場合は、図の縮尺に準じて電子化すること。

- ・ ファイルは図単位又は図の種別単位で作成するものとする。
- ・ 複数にまたがる場合には、ファイル画面の上部にインデックス（位置関係説明図）を入れることとする。

更に、受発注者間の協議から数値データ、又はCADデータで納品する場合には、以下の点に留意すること。

- ・ データを表示、印刷および後続作業の利用を考慮して、データ形式を受発注者間の協議とする。
- ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ（/OTHERS）にTXT形式、PDF形式にて保管すること。
- ・ 平均図は計画機関監督職員が「承認する」の記入および押印等を要することから従来通り紙による納品を加えることが望ましい。このことについては受発注者間の協議とする。

3) 観測手簿は、以下の点に留意すること。

- ・ スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1)アナログ資料のスキヤニング」に留意すること。

受発注者間の協議によりオリジナル数値データを納品する場合には、以下の点に留意すること。

- ・ 数値データの互換性を考慮して、TXT形式で納品する。
- ・ 数値データのTXT形式のレコードフォーマットおよびファイル単位について受発注者間の協議とする。
- ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ（/OTHERS）にTXT形式、PDF形式にて保管すること。

4) 観測記簿をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1)アナログ資料のスキヤニング」に留意すること。

5) 点の記は、以下の点に留意すること。

- ・ スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1)アナログ資料のスキヤニング」に留意すること。

受発注者間の協議によりオリジナル数値データを納品する場合には、以下の点に留意する。

- ・ 数値データの互換性を考慮して、TXT形式で納品する。また、ワープロ又は表計算ソフトからファイルすることも可能である。
- ・ 数値データのレコードフォーマットおよびファイル単位について受発

注者間の協議とする。

- ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ（/OTHERS）にTXT形式、PDF形式にて保管すること。
- 6) 精度管理表をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1)アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 7) 点検測量簿、埋標手簿および基準点現況調査報告書は、以下の点に留意すること。
- ・ スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1)アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
 - ・ ファイル単位は種別毎を標準とするが、受発注者間の協議から決定すること。
- 8) 測量標の地上写真は、以下の点に留意すること。
- ・ デジタルカメラで撮影する場合の有効画素数は100万ピクセル程度とする。
 - ・ 35mmカメラで撮影した場合には、写真をスキャナでイメージ化する場合にも同基準を参考にして、100万ピクセル程度の解像度でファイル作成を行うこと。（フィルムスキャナも同基準の解像度とする）
 - ・ 撮影対象物が容易に判別できない場合や黒板の文字が識別できない場合には、スキャナの解像度を適宜調整すること。
 - ・ ファイル形式は、受発注者間の協議の上、測量標の地上写真のファイル形式を適切なフォーマットとすること。
 - ・ オリジナル数値データを納品する場合には、ワープロ又は表計算ソフトからファイルを作成することを標準とするが、受発注者間の協議から決定すること。
- 9) 要領（案）表4-1に示される成果のうち、「対象外」とされているものについては、原則として従来通り紙による納品を行う。ただし、受発注者間の協議からこれら成果を電子納品する場合には、以下の点に留意すること。
- ・ 受発注者間の協議によりファイル形式、ファイル命名規則を取り決めるものとする。
 - ・ ファイル名は、4-1-3ファイル命名規則に従い命名すること。
- 10) その他は、(3)その他を参照のこと。

(2) 水準測量

表 4-14 水準測量成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
観測成果表		PDF	/SUIJUN/DATA/SJN_*	SJ*A1nnn.PDF
観測成果表(数値データ)		TXT	/SUIJUN/DATA/SJN_*	SJ*A2nnn.TXT
平均成果表		PDF	/SUIJUN/DATA/SJN_*	SJ*A3nnn.PDF
平均成果表(数値データ)		TXT	/SUIJUN/DATA/SJN_*	SJ*A4nnn.TXT
水準路線図		PDF	/SUIJUN/WORK/SJN_*	SJ*F1nnn.PDF
平均図		PDF	/SUIJUN/WORK/SJN_*	SJ*F2nnn.PDF
観測手簿		PDF	/SUIJUN/WORK/SJN_*	SJ*D1nnn.PDF
観測手簿(数値データ)		オリジナル	/SUIJUN/WORK/SJN_*	SJ*D2nnn.XXX
計算簿		PDF	/SUIJUN/WORK/SJN_*	SJ*E1nnn.PDF
点の記		PDF	/SUIJUN/DATA/SJN_*	SJ*C1nnn.PDF
点の記(数値データ)		オリジナル	/SUIJUN/DATA/SJN_*	SJ*C2nnn.XXX
建標承諾書		(対象外)	-	-
精度管理表		PDF	/SUIJUN/WORK/SJN_*	SJ*G1nnn.PDF
点検測量簿		PDF	/SUIJUN/WORK/SJN_*	SJ*D3nnn.PDF
測量標の地上写真		PDF	/SUIJUN/OTHR	SJ*H2nnn.PDF
測量標設置位置通知書		(対象外)	-	-
基準点現況調査報告書		PDF	/SUIJUN/WORK/SJN_*	SJ*H1nnn.PDF
測量機器検定証明書		PDF	/SUIJUN/OTHR	S0TJ1nnn.PDF
ファイル説明書		PDF	/SUIJUN/OTHR	S0TJ2nnn.PDF

【運用基準】

- 1) 成果表については、PDF 形式で納品するほか、数値データを TXT 形式で納品する。TXT 形式は 10 章資料を参照とする。成果表および成果表数値データについては、適当な単位でまとめてファイルを作成する。
- 2) 水準路線図、平均図は、PDF 形式で納品する。また、受発注者間の協議により数値データ、又は CAD データで納品することができる。その場合、PDF 形式の成果については、受発注者間の協議により、納品の有無を決めることが出来る。なお、ファイルは、図単位で作成する。
- 3) 観測手簿は、PDF 形式で納品する。また、受発注者間の協議により PDF 形式に加えてオリジナル数値データを納品することができる。ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 4) 計算簿は PDF 形式とする。ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。

- 5) 点の記は、PDF 形式で納品する。また、受発注者間の協議によりオリジナル数値データを納品することができる。PDF 形式の点の記は、1 成果 1 ファイルの成果単位で作成する。数値データについては発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 6) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。
ファイルは、種別単位に作成する。
- 7) 点検測量簿および基準点現況調査報告書は、PDF 形式で納品する。
ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 8) 測量標の地上写真は、受発注者間の協議により PDF 形式またはオリジナル数値データ形式で納品する。

【解説・補足】

- 1) 成果表（数値データ）のフォーマット仕様は、要領（案）にある仕様に従うこと。なお、数値データは後続作業の利用を考慮して等級種別等適当な単位にまとめてファイルを作成すること。
- 2) 水準路線図、観測図は、以下の点に留意すること。
 - ・ スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキヤニング」に留意すること。
 - ・ 各々図の大きさがスキャナの走査範囲より大きい場合は適宜分割して作成する。この場合は、図の縮尺に準じて電子化すること。
 - ・ ファイルは図単位又は図の種別単位で作成するものとする。
 - ・ 複数にまたがる場合には、ファイル画面の上部にインデックス（位置関係説明図）を入れることとする。

更に、受発注者間の協議から数値データ、又は CAD データで納品する場合には、以下の点に留意すること。

- ・ データを表示、印刷および後続作業の利用を考慮して、データ形式を受発注者間の協議とする。
- ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ（/OTHERS）に TXT 形式、PDF 形式にて保管すること。

- 3) 観測手簿は、以下の点に留意すること。
 - ・ スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキヤニング」に留意すること。

受発注者間の協議によりオリジナル数値データを納品する場合には、以下の

点に留意すること。

- ・ 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品する。また、ワープロ又は表計算ソフトからファイルすることも可能である。
 - ・ 数値データの TXT 形式のレコードフォーマットおよびファイル単位について受発注者間の協議とする。
 - ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ（/OTHERS）に TXT 形式、PDF 形式にて保管すること。
- 4) 観測記簿をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 5) 点の記は、以下の点に留意すること。
- ・ スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。

受発注者間の協議によりオリジナル数値データを納品する場合には、以下の点に留意すること。

- ・ 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品する。
 - ・ 数値データの TXT 形式のレコードフォーマットおよびファイル単位について受発注者間の協議とする。
 - ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ（/OTHERS）に TXT 形式、PDF 形式にて保管すること。
- 6) 精度管理表をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 7) 点検測量簿および基準点現況調査報告書は、以下の点に留意すること。
- ・ スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
 - ・ ファイル単位は種別毎を標準とするが、受発注者間の協議から決定すること。
- 8) 測量標の地上写真は、以下の点に留意すること。
- ・ デジタルカメラで撮影する場合の有効画素数は 100 万ピクセル程度とする。
 - ・ 35 mmカメラで撮影した場合には、写真をスキャナでイメージ化する場合にも同基準を参考にして、100 万ピクセル程度の解像度でファイル作成を行うこと。（フィルムスキャナも同基準の解像度とする）
 - ・ 撮影対象物が容易に判別できない場合や黒板の文字が識別できない場

合には、スキャナの解像度を適宜調整すること。

- ・ ファイル形式は、受発注者間の協議の上、測量標の地上写真のファイル形式を適切なフォーマットとすること。
- ・ オリジナル数値データを納品する場合には、ワープロ又は表計算ソフトからファイルを作成することを標準とするが、受発注者間の協議から決定すること。

9) 要領(案)表4-1に示される成果のうち、「対象外」とされているものについては、原則として従来通り紙による納品を行う。ただし、受発注者間の協議からこれら成果を電子納品する場合には、以下の点に留意すること。

- ・ 受発注者間の協議によりファイル形式、ファイル命名規則を取り決めるものとする。
- ・ ファイル名は、4-1-3ファイル命名に従い命名すること。

(3) その他

表4-15 その他成果一覧

測量細分類	対象書類	書類作成者	ファイル形式	格納フォルダ名	ファイル名
その他 基準点測量	観測機器検定証明書		PDF	/KITEN/OTHR	K0TJ1nnn.PDF
	GPS 観測スケジュール表		PDF	/KITEN/OTHR	K0TJ2nnn.PDF
	衛星配置図		PDF	/KITEN/OTHR	K0TF4nnn.PDF
	ファイル説明書		PDF	/KITEN/OTHR	K0TJ3nnn.PDF
その他 水準測量	測量機器検定証明書		PDF	/SUIJUN/OTHR	S0TJ1nnn.PDF
	ファイル説明書		PDF	/SUIJUN/OTHR	S0TJ2nnn.PDF

【運用基準】

- 1) 機器検定証明書、ファイル説明書は、PDF形式で納品する。
- 2) オリジナルファイル、拡張したファイル等では、必要に応じてファイル形式、レコードフォーマット等について説明したファイル説明文書の電子ファイルを作成し、OTHRフォルダに格納して納品する。
- 3) 表4-12に記載されていない測量記録、資料については、「その他」サブフォルダに格納することとして、そのファイル形式等は受発注者間の協議により

定める。

【解説・補足】

- 1) 機器検定証明書、ファイル説明書をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 2) 受発注者間の協議からオリジナル数値データファイル等を納品する場合には、レコードフォーマット、ファイル単位および利用方法等の説明文書を電子化したファイルを作成し、「その他」フォルダに格納して納品すること。
- 3) 表4-12に記載されていない「衛星配置図」等の測量記録および資料等をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。以下の点に留意すること。
 - ・ ファイル単位は受発注者間の協議とする。
 - ・ 受発注者間の協議から電子化しないものは紙のまま納品する。

4-2-3 事前協議事項

(1) CAD 等による納品方法

基準点測量または水準測量により作成される成果のうち、以下の図面類は受発注者間の協議により CAD データ形式等の図面データファイルにより納品することができる。

- ・ 基準点網図
- ・ 平均図
- ・ 観測図
- ・ 水準路線図

これらを電子納品する際のデータ形式は PDF を原則とするが、必要に応じて国土交通省公共測量作業規程に規定された DM データファイルや CAD データファイル等により納品することができる。なお、CAD データファイルにより納品する場合、作成ソフトにより情報の再現性が必ずしも担保されないため、PDF 形式のデータファイルも併せて納品することとする。

(2) オリジナルファイル形式での納品方法

基準点測量または水準測量により作成される下記の成果は、受発注者間協議によりオリジナル形式のデータファイルを納品することができる。その場合、次に示す事項をあらかじめ受発注者間で確認しておくこと。

- ・ オリジナルファイルの納品の可否
- ・ オリジナルファイルの形式
- ・ ファイル説明書の有無
- ・ デジタル写真管理情報基準（案）の適用の要否（点の記および測量標の地上写真の場合）

1) 観測手簿、観測記簿

観測手簿および観測記簿は、PDF 形式に加えて測量に用いた機器固有のオリジナル数値データを納品することができる。その場合、データファイルの内容、データ形式等を説明したファイル説明書（PDF 形式）を「その他データ（OTHERS）」フォルダに格納する。

2) 点の記

点の記はワープロソフトや表計算ソフト等を用いて作成される場合が多い。従って、PDF 形式に加えて点の記を作成する際に用いたソフトのオリジナル形式で納品することができる。

3) 測量標の地上写真

測量標の地上写真は、受発注者間の協議により PDF 形式または写真帳を作成する際に用いたワープロソフト等のファイル形式で納品することができる。ただし、ワープロソフトの形式は情報の再現性が必ずしも担保されないことから、PDF 形式を併せて納品することが望ましい。

なお、受発注者間協議により測量標の地上写真の納品に「デジタル写真管理情報基準（案）」を適用する場合はこの限りではない。

(3) PDF のファイルとりまとめの単位

観測手簿、観測記簿および計算簿の PDF ファイル作成にあたっては、ファイルのとりまとめ単位を受発注者間の協議により確認する。なお、観測手簿等、枚数の多い成果については利用の便を考慮して 100 枚程度に分割してファイルを作成する。

(4) 電子納品対象外の成果の扱い

「建標承諾書」および「測量標設置位置通知書」は原則として電子納品の対象外とする。ただし、受発注者間の協議により電子納品する場合はファイル形式およびファイル名を協議により決定する。

4 - 3 地形・数値地形測量

4 - 3 - 1 成果一覧（ファイル形式・命名則・格納場所）

地形・数値地形測量の電子納品対象書類は、
 表 4 - 16に示されるように、多岐に分かれている。電子納品の対象となる各成果は、各々表に示されているファイル形式で作成し、同様に示されている格納フォルダ（図 4 - 12参照）内に、所定のファイル名称を付けて納めることになっている。

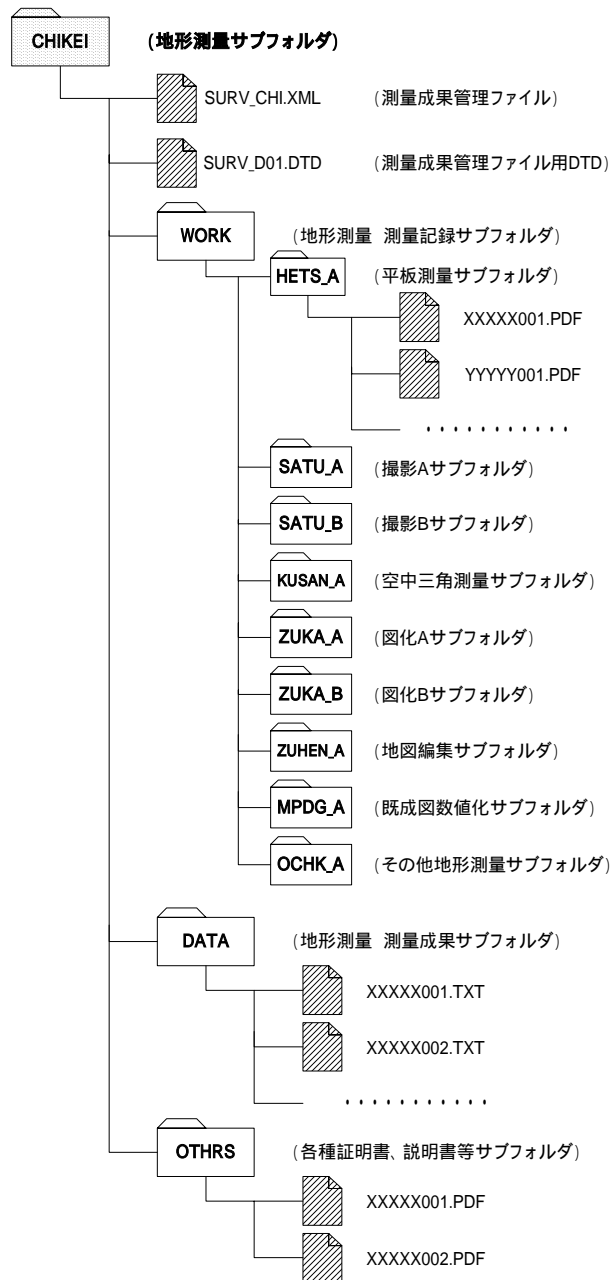


図 4 - 12 地形測量サブフォルダ構成

表 4 - 16 地形・数値地形測量の成果種類

公共測量作業規程による分類		ファイル形式	ファイル命名規則	格納フォルダ名	備考
測量細分類	成果等の名称				
平板測量	地形図原図	(対象外)	-	-	
	複製用ポジ原図(第二原図)	(対象外)	-	-	
	精度管理表	PDF	CH*G1nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/HETS_*	
TS 地形測量	DM データファイル	DM	CH*B1nnn.DM	/CHIKEI/DATA	協議により CAD も可能
	DM データインデックスファイル	DMI	CH*B2nnn.DMI	/CHIKEI/DATA	
	DM データファイル説明書	PDF	CH*B3nnn.PDF	/CHIKEI/DATA	
	地形図原図	(対象外)	-	-	
	複製用ポジ原図(第二原図)	(対象外)	-	-	
	精度管理表	PDF	CH*G2nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/ZUKA_*	
	空中写真測量(標定点設置)	標定点成果表	TXT	CS*E1nnn.TXT	/CHIKEI/WORK/SATU_*
	標定点配置図	PDF	CS*F1nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/SATU_*	
	水準路線図	PDF	CS*F2nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/SATU_*	
	標定点測量簿	PDF	CS*E2nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/SATU_*	基準点測量の形式を適用
	同明細簿等	PDF	CS*E3nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/SATU_*	
	標定点表示空中写真	(対象外)	-	-	
	精度管理表	PDF	CS*G1nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/SATU_*	
空中写真測量(対空標識設置)	対空標識点明細票	PDF	CS*E4nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/SATU_*	
	偏心要素測定簿	(対象外)	-	-	
	偏心計算簿	(対象外)	-	-	
	対空標識点表示密着空中写真	(対象外)	-	-	
	対空標識点一覧図	PDF	CS*F3nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/SATU_*	
	精度管理表	PDF	CS*G2nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/SATU_*	
空中写真測量(撮影)	ネガフィルム	(対象外)	-	-	
	密着印画	(対象外)	-	-	
	標定図	DMまたはPDF	CS*F4nnn.XXX	/CHIKEI/WORK/SATU_*	

公共測量作業規程による分類		ファイル形式	ファイル命名規則	格納フォルダ名	備考
測量細分類	成果等の名称				
	縮小標定図ポジフィルム	(対象外)	-	-	
	撮影記録	PDF	CS*H1nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/SATU_*	
	精度管理表(撮影コース別)	PDF	CS*G3nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/SATU_*	
	精度管理表(撮影ロール別)	PDF	CS*G4nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/SATU_*	
空中写真測量 (刺針)	刺針点明細表	(対象外)	-	-	
	偏心要素測定簿	(対象外)	-	-	
	偏心計算簿	(対象外)	-	-	
	刺針点表示密着空中写真	(対象外)	-	-	
	刺針点一覧図	PDF	CS*F5nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/SATU_*	
	精度管理表	PDF	CS*G4nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/SATU_*	
空中写真測量 (現地調査)	現地調査空中写真	(対象外)	CZ*J1nnn.XXX	/CHIKEI/OTHR	
	精度管理表	PDF	CZ*G1nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/SATU_*	
空中写真測量 (空中三角測量)	空中三角測量成果表	TXT	CK*E1nnn.TXT	/CHIKEI/WORK/KUSAN_*	
	空中三角測量実施一覧図	PDF	CK*F1nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/KUSAN_*	協議により CAD も可能
	パスポイント・タイポイント表示密着ポジフィルム	(対象外)	-	-	
	パスポイント・タイポイント表示密着空中写真	(対象外)	-	-	
	基準点残差表	TXT	CK*E2nnn.TXT	/CHIKEI/WORK/KUSAN_*	
	座標測定簿	TXT	CK*E3nnn.TXT	/CHIKEI/WORK/KUSAN_*	
	計算簿	TXT	CK*E4nnn.TXT	/CHIKEI/WORK/KUSAN_*	
	精度管理表	PDF	CK*G1nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/KUSAN_*	
空中写真測量 (図化)	図化素図	(対象外)	-	-	
	基準点資料図	(対象外)	-	-	
	標定記録簿	PDF	CZ*D1nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/ZUKA_*	
	精度管理表	PDF	CZ*G2nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/ZUKA_*	
空中写真測量 (地形補備測量)	地形補備測量図	(対象外)	CZ*J2nnn.XXX	/CHIKEI/OTHR	
	精度管理表	PDF	CZ*G3nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/ZUKA_*	

公共測量作業規程による分類		ファイル形式	ファイル命名規則	格納フォルダ名	備考
測量細分類	成果等の名称				
空中写真測量 (編集)	編集素図	(対象外)	-	-	
	注記資料図	(対象外)	-	-	
	精度管理表	PDF	CZ*G4nnn.PDF	/CHIKAI/WORK/ZUKA_*	
空中写真測量 (現地補測)	現地補測の結果を整理した藍焼図および編集素図	(対象外)	-	-	
	精度管理表	PDF	CZ*G5nnn.PDF	/CHIKAI/WORK/ZUKA_*	
空中写真測量 (地形図原図作成)	地形図原図	(対象外)	-	-	
	複製用ポジ原図(第二原図)	(対象外)	-	-	
	地形図原図の藍焼図	(対象外)	-	-	
	精度管理表	PDF	CZ*G7nnn.PDF	/CHIKAI/WORK/ZUKA_*	
修正測量	地形図修正原図	(対象外)	-	-	
	複製用ポジ原図(第二原図)	(対象外)	-	-	
	地形図修正原図の藍焼図等	(対象外)	-	-	
	精度管理表	PDF	CH*G3nnn.PDF CZ*GAnnn.PDF	/CHIKAI/WORK/HETS_* /CHIKAI/WORK/ZUKA_*	
写真図作成	複写ネガフィルム	(対象外)	-	-	
	複写網ポジフィルム	(対象外)	-	-	
	精度管理表	PDF	CZ*G9nnn.PDF	/CHIKAI/WORK/ZUKA_*	
デジタル正射写真図	デジタル写真画像	-	-	-	(未検討)
	数値地形モデル	-	-	-	(未検討)
	デジタル正射写真図データ	-	-	-	(未検討)
	デジタル正射写真図	-	-	-	(未検討)
地図編集	編集原図	(対象外)	-	-	
	注記資料図	(対象外)	-	-	
	精度管理表	PDF	CU*G1nnn.PDF	/CHIKAI/WORK/ZUHEN_*	

4 - 3 地形・数値地形測量

公共測量作業規程による分類		ファイル形式	ファイル命名規則	格納フォルダ名	備考
測量細分類	成果等の名称				
デジタルマッピング	DM データファイル	DM	CZ*B1nnn.DM	/CHIKEI/DATA/	協議により CAD も可能 拡張子は「運用基準」参照のこと
	DM データインデックスファイル	DMI	CZ*B2nnn.DMI	/CHIKEI/DATA/	拡張子は「運用基準」参照のこと
	DM データファイル説明書	PDF	CZ*B3nnn.PDF	/CHIKEI/DATA/	
	地形図原図	(対象外)	-	-	
	複製用ポジ原図(第二原図)	(対象外)	-	-	
	精度管理表	PDF	CZ*G8nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/ZUKA_*	
その他地形測量		-	-	-	(未検討)
その他	測量機器検定証明書	PDF	Z0TJ1nnn.PDF	/CHIKEI/OTHR	
	ファイル説明書	PDF	Z0TJ2nnn.PDF	/CHIKEI/OTHR	

4 - 3 - 2 成果ファイル解説・補足

地形測量の成果は、

表 4 - 16 に示されるファイルの形式によって成果ファイルを作成するものとする。具体的方法は運用基準によるものとする。

(1) 平板測量

表 4 - 17 平板測量成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
地形図原図		(対象外)	-	-
複製用ポジ原図(第二原図)		(対象外)	-	-
精度管理表		PDF	/CHIKEI/WORK/HETS_*	CH*G1nnn.PDF

【運用基準】

- 1) 精度管理表については、PDF 形式で納品する。

【解説・補足】

- 1) 平板測量は、アナログ手法により地形図原図を作成する測量手法である。地形図原図および複製用ポジ原図(第二原図)は電子納品の対象外となっている。
- 2) 精度管理表をスキャナでイメージ化する場合には、「4 - 1 - 2 (1) 1) アナログ資料のスキャニング」に留意する。

(2) TS 地形測量

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
DM データファイル		DM	/CHIKEI/DATA/	CH*B1nnn.DM
DM データインデックスファイル		DMI	/CHIKEI/DATA/	CH*B2nnn.DMI
DM データファイル説明書		PDF	/CHIKEI/DATA/	CH*B3nnn.PDF
地形図原図		(対象外)	-	-
複製用ポジ原図(第二原図)		(対象外)	-	-
精度管理表		PDF	/CHIKEI/WORK	CH*G2nnn.PDF

【運用基準】

- 1) データファイルは、DM 形式で納品する。また、受発注者間の協議により DM 形式に加えて、CAD 形式でも納品することができる。
- 2) DM データファイル説明書および精度管理表については、PDF 形式で納品する。
- 3) DM データファイルおよびインデックスファイルの拡張子は受発注者間の協議により定める。特に定めがない場合 DM データファイルは「DM」、インデックスファイルは「DMI」とする。

【解説・補足】

- 1) DM データファイルおよび DM データインデックスファイルの納品は必須であり、CAD データはそれらを補足するものである
- 2) 受発注者間の協議から数値データ、又は CAD データで納品する場合には、以下の点に留意する。
 - ・ CAD データ形式についてはデータの表示、印刷あるいは後続作業での利用等を考慮しながら受発注者で協議する。
 - ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書をその他サブフォルダ（/OTHR）に PDF 形式にて保管する。
 - ・ CAD 形式では幾何構造の変換は可能であっても情報の伝達までは不可能であるため、CAD ファイル内でどのように地図データが分類されているか、注記や記号がどのような形式で記録されているか、説明書に明記する。
- 3) DM データファイルおよび DM データインデックスファイルは、どちらも公共測量作業規程においてデジタルマッピングデータファイル仕様として定義されているため、どちらも DM 形式として捉えられている。但し、物理的なファイルの単位は異なるため、拡張子は「DM」と「DMI」として区別してある。

(3) 空中写真測量

(標定点設置)

対象書類	書類作成者	ファイル形式	格納フォルダ名	ファイル名
標定点成果表		TXT	/CHIKAI/WORK/SATU_*	CS*E1nnn.TXT
標定点配置図		PDF	/CHIKAI/WORK/SATU_*	CS*F1nnn.PDF
水準路線図		PDF	/CHIKAI/WORK/SATU_*	CS*F2nnn.PDF
標定点測量簿		PDF	/CHIKAI/WORK/SATU_*	CS*E2nnn.PDF
同明細簿等		PDF	/CHIKAI/WORK/SATU_*	CS*E3nnn.PDF
標定点表示空中写真		(対象外)	-	-
精度管理表		PDF	/CHIKAI/WORK/SATU_*	CS*G1nnn.PDF

【運用基準】

- 1) 標定点成果表については、TXT 形式で納品する。標定点成果表は、基準点測量、水準測量等の測量種別単位に 1 ファイルにまとめて作成する。
- 2) 標定点配置図、水準路線図、標定点測量簿、同明細簿および精度管理表については、PDF 形式で納品する。
- 3) 標定点配置図および水準路線図については、図の縮尺に準じて電子化する。
- 4) 標定点配置図、水準路線図および標定点測量明細簿成果の解像度は、必要な地図、記載事項等が明瞭によくわかるように 200 dpi 以上とする。なお、受発注者間の協議によりその他の解像度を用いることもできる。標定点配置図および水準路線図については、それぞれ図単位で 1 ファイルに作成する。
- 5) 標定点配置図、水準路線図および対空標識点一覧図等を一図葉に併記した場合は、それぞれのファイルに格納する。
- 6) 標定点配置図、水準路線図等のファイルは、測量区域単位で作成するが、当図の大きさがスキャナーの走査範囲より大きい場合は適宜分割して作成する。その場合も図の縮尺に準じて電子化することとする。
ファイルは、図単位で作成するものとするが、複数にまたがる場合は、ファイル画面の上部にインデックス(位置関係説明図)を入れることとする。
- 7) 標定点測量簿および同明細簿については、それぞれ当該簿の一式を 1 ファイルとする。

【解説・補足】

- 1) 標定点成果表は、簡易水準成果を含めて 1 ファイルにまとめて作成するが、ファイル内の整理は基準点測量、水準測量等の測量種別単位で行う。出力する座標系は数学座標系を標準とする。
- 2) TXT 形式の標定点成果表ファイル仕様は、次の通りである。出力する座標系は数学座標系を標準とする。
 - ・ 標定点成果表 / 簡易水準成果のファイル仕様は、1 行 1 レコードのテキストファイルとする。
 - ・ 文字コードは ASCII コード、漢字コードはシフト JIS コードとする。
 - ・ 各データの項目はスペースもしくはタブによって区切るものとする。
 - ・ レコード記述方法は、「10-1」参照。

3) 標定点配置図、水準路線図を PDF で作成するとデータ量が膨大になったり、一度には数値化できない場合があったり、データの有効利用を妨げたりする可能性があるため、DM 形式でも可である。その場合、次の制約を与える。出力する座標系は数学座標系を標準とする。

- ・ 図郭座標には [0 , 0] を記述する。
- ・ 座標は平面直角座標系とする（通常は左下を原点とする相対座標）。
- ・ 座標の単位は、m とする。
- ・ 図郭レコード(a)の「図郭識別番号」「図郭名称」「タイトル」で、地図データとの区別を行う。
 - 図郭識別番号は空白とする。
 - 図郭名称は該当する成果品名を入力する。例：標定点配置図
 - タイトルは「測量成果電子納品」と入力する。
- ・ 標定図などの表現に必要な表現分類コードは、別途定義する。
- ・ 背景には作成された DM データファイルを用いるものとする。

標定点配置図、水準路線図を DM 形式で作成する場合に、それぞれの表現に必要な表現分類コードは次の通りとする。

分類	表現分類コード	項目	データタイプ	備考
標定点配置図	8181	基準点(既知点)名称	注記	説明注記
	7411	標定点	点	
	8181	標定点名称	注記	説明注記

分類	表現分類 コード	項目	データ タイプ	備考
水準路線図	8181	水準点(既知点) 名称	注記	説明注記
	7415	水準路線	線	
	8181	路線番号	注記	説明注記
	8181	交点名	注記	説明注記

注：三角点、水準点等の既知基準点は、公共測量作業規程の大縮尺図式を用いる。

- 4) 精度管理表をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意する。出力する座標系は数学座標系を標準とする。
- 5) 標定点配置図、水準路線図をスキャナでイメージ化する場合には、以下の点に留意する。
 - ・ スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意する。
 - ・ 各々図の大きさがスキャナの走査範囲より大きい場合は適宜分割して作成する。この場合は、図の縮尺に準じて電子化する。
 - ・ 標定点配置図、水準路線図等を一図葉に併記し、ひとつのファイルとして作成した場合は、該当するフォルダ(/CHIKAI/WORK/SATU_*)に複製を作成して指定された命名規則で格納する。
 - ・ 複数のファイルに分割した場合には、ファイル画面の上部にインデックス(位置関係説明図)を入れる。
- 6) 標定点配置図、水準路線図ファイルを PDF 形式で作成する場合で、ファイルサイズが 10Mbyte を越えるような場合、あるいは A3 形式を超えるような場合は、それぞれ 10Mbyte を越えないようなファイルサイズ、A3 形式を超えないような大きさに分割する。標定点配置図、水準路線図を PDF 形式で作成する場合の背景となる地形図には、国土地理院発行の地図画像を用いても良い。

(対空標識設置)

表 4-18 対空標識設置成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
対空標識点明細票		PDF	/CHIKAI/WORK/SATU_*	CS*E4nnn.PDF
偏心要素測定簿		(対象外)	-	-

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
偏心計算簿		(対象外)	-	-
対空標識点表示密着空中写真		(対象外)	-	-
対空標識点一覧図		PDF	/CHIKAI/WORK/SATU_*	CS*F3nnn.PDF
精度管理表		PDF	/CHIKAI/WORK/SATU_*	CS*G2nnn.PDF

【運用基準】

- 1) 対空標識点明細票、対空標識点一覧図および精度管理表については、PDF形式で納品する。
- 2) 対空標識点明細票および対空標識点一覧図の解像度は、地図、空中写真および記載事項等が明瞭によくわかる 200 dpi 以上とする。対空標識点一覧図については、図の縮尺に準じて電子化する。
- 3) 対空標識点一覧図のファイルは、測量区域単位で作成するが、当図の大きさがスキャナの走査範囲より大きい場合は適宜分割して作成する。その場合も図の縮尺に準じて電子化することとする。
ファイルは、図単位で作成するものとするが、複数にまたがる場合は、ファイル画面の上部にインデックス(位置関係説明図)を入れることとする。

【解説・補足】

- 1) 対空標識点一覧図を PDF で作成するとデータ量が膨大になったり、一度には数値化できない場合があったり、データの有効利用を妨げたりする可能性があるため、DM 形式でも可である。その場合、次の制約を与える。
 - 図郭座標には [0 , 0] を記述する。
 - 座標は平面直角座標系とする（通常は左下を原点とする相対座標）。
 - 座標の単位は、m とする。
 - 図郭レコード(a)の「図郭識別番号」「図郭名称」「タイトル」で、地図データとの区別を行う。
 - 図郭識別番号は空白とする。
 - 図郭名称は該当する成果品名を入力する。例：標定点配置図
 - タイトルは「測量成果電子納品」と入力する。
 - 対空標識点一覧図の表現に必要な表現分類コードは、別途定義する。
 - 背景には作成された DM データファイルを用いるものとする。

対空標識点一覧図を DM 形式で作成する場合に、それぞれの表現に必要な表現分類コードは次の通りとする。

分類	表現分類 コード	項目	データ タイプ	備考
対空標識点一 覧図	7412	対空標識	点	

注：三角点、水準点等の既知基準点は、公共測量作業規程の大縮尺図式を用いる。

- 2) 対空標識点一覧図をスキャナでイメージ化する場合には、以下の点に留意する。
 - ・ スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキヤニング」に留意する。
 - ・ 各々図の大きさがスキャナの走査範囲より大きい場合は適宜分割して作成する。この場合は、図の縮尺に準じて電子化する。
 - ・ 複数のファイルに分割した場合には、ファイル画面の上部にインデックス(位置関係説明図)を入れることとする。
 - ・ 対空標識点一覧図は、標定点配置図や水準路線図等と同一の図葉に併記することが可能であるが、その場合でも対空標識点一覧図として該当するフォルダ(/CHIKEI/WORK/SATU_*)に複製を作成して指定された命名規則で格納する。
 - ・ 対空標識点一覧図ファイルをPDF形式で作成する場合で、ファイルサイズが10Mbyteを越えるような場合、あるいはA3形式を超えるような場合は、それぞれ10Mbyteを越えないようなファイルサイズ、A3形式を越えないような大きさに分割する。
- 3) 対空標識点一覧図をPDF形式で作成する場合の背景となる地形図には、国土地理院発行の地図画像を用いても良い。

(撮影)

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
ネガフィルム		(対象外)	-	-
密着印画		(対象外)	-	-
標定図		DM または PDF	/CHIKAI/WORK/SATU_*	CS*F4nnn.XXX
縮小標定図ポジフィルム		(対象外)	-	-
撮影記録		PDF	/CHIKAI/WORK/SATU_*	CS*H1nnn.PDF
精度管理表(撮影コース別)		PDF	/CHIKAI/WORK/SATU_*	CS*G3nnn.PDF
精度管理表(撮影ロール別)		PDF	/CHIKAI/WORK/SATU_*	CS*G4nnn.PDF

【運用基準】

- 1) 標定図については、DM 又は PDF 形式で納品する。
- 2) PDF 形式での標定図については、図の縮尺に準じて電子化することとし、解像度は 200dpi 以上とする。
- 3) 標定図のファイルは、測量区域単位で作成するが、当図の大きさがスキャナの走査範囲より大きい場合は適宜分割して作成する。その場合も図の縮尺に準じて電子化することとする。
ファイルは、図単位で作成するものとするが、複数にまたがる場合は、ファイル画面の上部にインデックス(位置関係説明図)を入れることとする。
- 4) 撮影記録については、PDF 形式で納品する。ファイルは、撮影地区単位で 1 ファイルとする。
- 5) 精度管理表については、PDF 形式で納品する。

【解説・補足】

- 1) ネガフィルム、密着印画については、劣化なしでの数値化は困難で原本性が確保できないばかりか、データ量が膨大になり発注者の管理も不可能と思われるため、対象外となっている。
- 2) 標定図を PDF で作成するとデータ量が膨大になったり、一度には数値化できない場合があったり、データの有効利用を妨げたりする可能性があるため、DM 形式でも可である。その場合、次の制約を与える。
 - 図郭座標には [0 , 0] を記述する。
 - 座標は平面直角座標系とする（通常は左下を原点とする相対座標）。
 - 座標の単位は、m とする。
 - 図郭レコード(a)の「図郭識別番号」「図郭名称」「タイトル」で、地図

データとの区別を行う。

- 図郭識別番号は空白とする。
- 図郭名称は該当する成果品名を入力する。例：標定点配置図
- タイトルは「測量成果電子納品」と入力する。
- 標定図の表現に必要な表現分類コードは、別途定義する。
- 背景には作成された DM データファイルを用いるものとする。

標定図を DM 形式で作成する場合に、それぞれの表現に必要な表現分類コードは次の通りとする。

分類	表現分類コード	項目	データタイプ	備考
標定図	9111	撮影コース	線	
	9112	撮影主点	点	
	9113	写真枠	面	
	8181	コース番号	注記	説明注記
	8181	写真番号	注記	説明注記
	1120	撮影区域	線	
	8181	使用カメラ	注記	説明注記
	8181	画面距離	注記	説明注記
	8181	撮影高度	注記	説明注記

注：三角点、水準点等の既知基準点は、公共測量作業規則の大縮尺図式を用いる。

- 3) 標定図をスキャナでイメージ化する場合には、以下の点に留意する
- スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意する。
 - 各々図の大きさがスキャナの走査範囲より大きい場合は適宜分割して作成する。この場合は、図の縮尺に準じて電子化する。
 - 複数のファイルに分割した場合には、ファイル画面の上部にインデックス(位置関係説明図)を入れることとする。
 - 標定図は、標定点配置図や水準路線図等と同一の図葉に併記することが可能であるが、その場合でも標定図として該当するフォルダ(/CHIKEI/WORK/SATU_*)に複製を作成して指定された命名規則で格納する。
 - 標定図ファイルを PDF 形式で作成する場合で、ファイルサイズが 10Mbyte を越えるような場合、あるいは A3 形式を超えるような場合は、それぞれ 10Mbyte を越えないようなファイルサイズ、A3 形式を超えないような大きさに分割する。

- 4) 標定図を PDF 形式で作成する場合の背景となる地形図には、国土地理院発行の地図画像を用いても良い。
- 5) 縮小標定図ポジフィルムについては標定図の複製品であり、標定図が電子納品されるため対象外となっている。
- 6) カメラキャリブレーションデータは、PDF 形式で必ずその他のフォルダへ格納しなければならない。

(刺針)

表 4 -19 刺針成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
刺針点明細表		(対象外)	-	-
偏心要素測定簿		(対象外)	-	-
偏心計算簿		(対象外)	-	-
刺針点表示密着空中写真		(対象外)	-	-
刺針点一覧図		PDF	/CHIKEI/WORK/SATU_*	CS*F5nnn.PDF
精度管理表		PDF	/CHIKEI/WORK/SATU_*	CS*G4nnn.PDF

【運用基準】

- 1) 刺針点一覧図および精度管理表については、PDF 形式で納品する。
- 2) 刺針点一覧図については、図の縮尺に準じて電子化する。刺針点一覧図の解像度は、必要な地図、記載事項等が明瞭によくわかる 200 dpi 以上とする。
- 3) 刺針点一覧図のファイルは、測量区域単位で作成するが、当図の大きさがスキャナの走査範囲より大きい場合は適宜分割して作成する。その場合も図の縮尺に準じて電子化することとする。

ファイルは、図単位で作成するものとするが、複数にまたがる場合は、ファイル画面の上部にインデックス(位置関係説明図)を入れることとする。

【解説・補足】

- 1) 刺針点明細表、刺針点表示密着空中写真等については、引き伸ばし写真に刺針する作業の成果であるため、電子化によりその刺針の形跡が欠落されてしまう可能性がある。したがって、電子納品の対象とはしていない。
- 2) 刺針点一覧図を PDF で作成するとデータ量が膨大になったり、一度には数値化できない場合があったり、データの有効利用を妨げたりする可能性があるため、DM 形式でも可である。その場合、次の制約を与える。

- 図郭座標には [0 , 0] を記述する。
- 座標は平面直角座標系とする（通常は左下を原点とする相対座標）。
- 座標の単位は、m とする。
- 図郭レコード(a)の「図郭識別番号」「図郭名称」「タイトル」で、地図データとの区別を行う。
 - 図郭識別番号は空白とする。
 - 図郭名称は該当する成果品名を入力する。例：標定点配置図
 - タイトルは「測量成果電子納品」と入力する。
- 刺針点一覧図の表現に必要な表現分類コードは、別途定義する。
- 背景には作成された DM データファイルを用いるものとする。

刺針点一覧図を DM 形式で作成する場合に、それぞれの表現に必要な表現分類コードは次の通りとする。

分類	表現分類 コード	項目	データ タイプ	備考
刺針点一覧図	7413	刺針点	点	

注：三角点、水準点等の既知基準点は、公共測量作業規則の大縮尺図式を用いる。

- 3) 刺針点一覧図をスキャナでイメージ化する場合には、以下の点に留意する
 - スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキヤニング」に留意する。
 - 各々図の大きさがスキャナの走査範囲より大きい場合は適宜分割して作成する。この場合は、図の縮尺に準じて電子化する。
 - 複数のファイルに分割した場合には、ファイル画面の上部にインデックス（位置関係説明図）を入れることとする。
 - 刺針点一覧図は、標定点配置図や水準路線図等と同一の図葉に併記することが可能であるが、その場合でも刺針点一覧図として該当するフォルダ（/CHIKEI/WORK/SATU_*）に複製を作成して指定された命名規則で格納する。
 - 刺針点一覧図ファイルを PDF 形式で作成する場合で、ファイルサイズが 10Mbyte を越えるような場合、あるいは A3 形式を超えるような場合は、それぞれ 10Mbyte を越えないようなファイルサイズ、A3 形式を超えないような大きさに分割する。
- 4) 刺針点一覧図を PDF 形式で作成する場合の背景となる地形図には、国土地理院発行の地図画像を用いても良い。

(現地調査)

表 4 -20 現地調査成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
現地調査空中写真		(対象外)	/CHIKEI/OTHR	CZ*J1nnn.XXX
精度管理表		PDF	/CHIKEI/WORK/SATU_*	CZ*G1nnn.PDF

【運用基準】

- 1) 現地調査空中写真の納品方法については、受発注者間の協議により決めることとする。
- 2) 精度管理表については、PDF 形式で納品する。

【解説・補足】

- 1) 現地調査は、現状では電子処理での生産は当面見込めないため、現地調査空中写真は電子納品の対象外となっている。
- 2) 現地調査空中写真の納品方法については、従来通りの納品が相応しい。
- 3) 精度管理表をスキャナでイメージ化する場合には、「4 - 1 - 2 (1) 1) アナログ資料のスキャニング」に留意する。

(空中三角測量)

表 4 -21 空中三角測量成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
空中三角測量成果表		TXT	/CHIKEI/WORK/KUSAN_*	CK*E1nnn.TXT
空中三角測量実施一覧図		PDF	/CHIKEI/WORK/KUSAN_*	CK*F1nnn.PDF
パスポイント・タイポイント表示密着ポジフィルム		(対象外)	-	-
パスポイント・タイポイント表示密着空中写真		(対象外)	-	-
基準点残差表		TXT	/CHIKEI/WORK/KUSAN_*	CK*E2nnn.TXT
座標測定簿		TXT	/CHIKEI/WORK/KUSAN_*	CK*E3nnn.TXT
計算簿		TXT	/CHIKEI/WORK/KUSAN_*	CK*E4nnn.TXT
精度管理表		PDF	/CHIKEI/WORK/KUSAN_*	CK*G1nnn.PDF

【運用基準】

- 1) 空中三角測量成果表、基準点残差表、座標測定簿および計算簿については、TXT 形式で納品する。TXT 形式は別途定める。ファイルは、それぞれ 1 ファイルとする。
- 2) 空中三角測量実施一覧図については、PDF 形式で納品する。また、受発注者間の協議により PDF 形式に加え CAD 形式でも納品することができる。
- 3) PDF 形式での空中三角測量実施一覧図は図の縮尺に準じて電子化を行うこととし、解像度は、必要な地図、記載事項等が明瞭によくわかる 200 dpi 以上とする。
- 4) 空中三角測量実施一覧図のファイルは、測量区域単位で作成するが、当図の大きさがスキャナの走査範囲より大きい場合は適宜分割して作成する。その場合も図の縮尺に準じて電子化することとする。
ファイルは、図単位で作成するものとするが、複数にまたがる場合は、ファイル画面の上部にインデックス(位置関係説明図)を入れることとする。
- 5) 精度管理表については PDF 形式で納品する。

【解説・補足】

- 1) 空中三角測量成果表のファイル仕様は、次の通りとする。
 - 空中三角測量成果表フォーマットは 1 行 1 レコードのテキストファイルとする。
 - 文字コードは、ASCII コードとする。
 - データの項目はスペースもしくはタブによって区切るものとする。
 - レコード記述方法は、データ区分を用いて地上座標(POINT)と外部標定要素(PHOTO)をひとつのファイルに記述する。データの範囲は、別のデータ区分が出現するか、ファイルが終了するまでとする。なお、外部標定要素はオプションとする。
 - 空中三角測量成果表は必須項目を含む関連データをフリーフォーマットで記述する。必須項目は、次の通りである。
 - POINT : 点番号、調整後の座標 X,Y,Z
 - PHOTO : 写真番号、主点位置 X_0 、 Y_0 、 Z_0 、 α 、 β 、 γ
 - 位置の単位はmとし、角度の単位は度を標準とする。
 - 出力する座標系は数学座標系を標準とする。
 - 座標軸の回転の順番は、 X 、 Y 、 Z の順とする。

POINT 必須項目

POINT 必須項目										
1010002	-27007.019384	-34875.233929	60.249231	4	0.041	0.039	0.087			
1020002	-26693.034367	-34971.726194	71.246014	4	0.032	0.032	0.075			
1030002	-26272.076209	-34910.886772	59.246450	4	0.028	0.029	0.070			
1040002	-25946.004007	-34964.596802	72.965954	4	0.027	0.027	0.071			
1050002	-25591.083929	-34834.961127	57.457268	4	0.027	0.028	0.074			
1060002	-25209.342442	-34935.753746	56.829396	4	0.026	0.027	0.076			
1070002	-24844.112941	-34824.348848	57.149940	4	0.028	0.029	0.079			
1080002	-24464.688994	-34963.299961	73.484600	4	0.028	0.029	0.080			
1090002	-24101.873302	-34890.768352	72.223067	4	0.032	0.033	0.079			
1100002	-23701.996522	-34952.156919	67.199039	4	0.039	0.041	0.087			
2010002	-26999.662881	-35404.938950	58.823724	4	0.031	0.033	0.048			
2020002	-26702.817197	-35579.208389	67.228761	4	0.026	0.027	0.041			
PHOTO 必須項目										
6904	-24594.372	-34605.243	671.840	-0.56218	1.29678	-0.39364				
6905	-24948.299	-34604.920	673.563	0.53172	-0.77237	0.06961				
6906	-25329.754	-34604.930	673.461	0.80307	0.19091	0.98822				
6907	-25686.039	-34605.940	674.329	-0.26950	0.49304	-0.65503				
6908	-26066.903	-34601.930	675.135	-1.08080	0.04133	-0.59004				
6909	-26423.336	-34595.484	673.008	-0.42375	-1.02954	-0.04323				
6910	-26809.171	-34592.378	670.698	-0.77434	-0.12508	0.82504				
6911	-27142.508	-34591.676	669.239	-0.36658	-0.08455	-0.15523				
6912	-27144.814	-35217.886	668.524	0.42876	0.80215	176.96938				
6913	-26774.825	-35218.461	670.978	0.71388	-0.44402	176.37331				
6914	-26407.240	-35226.317	675.232	0.38332	0.43221	177.34896				

2) 基準点残差表のファイル仕様は、次の通りとする。

- 基準点残差表フォーマットは1行1レコードのテキストファイルとする。
- 文字コードは、ASCIIコードとする。
- レコード記述方法は、データ区分を用いて基準点残差表（GCPRES）、空中三角測量タイポイント較差表（TIERES1）、パスポイントおよびタイポイント残差一覧表（独立モデル法）（TIERES2）、交会残差一覧表（バンドル法、セルフキャリブレーション付きバンドル法）（TIERES3）をひとつのファイルに記述する。データの範囲は、別のデータ区分が出現するか、ファイルが終了するまでとする。なお、空中三角測量タイポイント較差表（TIERES1）、パスポイントおよびタイポイント残差一覧表（独立モデル法）（TIERES2）、交会残差一覧表（バンドル法、セルフキャリブレーション付きバンドル法）（TIERES3）は、採用した調整法によって選択する。
- 基準点残差実データは、必須項目を含む関連データをフリーフォーマットで記述する。必須項目は、次の通りとする。
 - 点番号、基準点残差 dx、基準点残差 dy
- タイポイント較差実データ（多項式法）は、必須項目を含む関連データをフリーフォーマットで記述する。必須項目は、次の通りとする。
 - 点番号 タイポイント較差 dx,dy,dh

- パスポイントおよびタイポイント残差実データ(独立モデル法)は、必須項目を含む関連データをフリーフォーマットで記述する。必須項目は、次の通りとする。
 - 点番号 パスポイント・タイポイント残差 dx,dy,dh
- 交会残差一覧表(バンドル法、セルフキャリブレーション付きバンドル法)のタイポイント残差実データは、必須項目を含む関連データをフリーフォーマットで記述する。必須項目は、次の通りとする。
 - 点番号 パスポイント・タイポイント交会残差 dx,dy
- 単位は地上座標系の値を表す場合はm、写真上の値を表す場合は mm もしくは μm を標準とする。
- 出力する座標系は数学座標系を標準とする。

The screenshot shows a text editor window with the following data:

Section	Point No.	dx	dy	dh	Other
TIERES3	2786	153450.000000	0		
	3100002	-4.147372	-2.423001		
	27860101	0.001771	-0.149946		
	27860201	-0.032680	2.252400		
	.	.	.		
	40050003	0.634667	-0.878015		
	40060003	0.312878	2.245577		
	-99	0.000000	0.000000		
	0	0.000000	0		
	GCPRES	40010003	0.014255	0.116423	
40020003		0.032089	0.097449		
40030003		-0.017443	0.030565		
.		.	.		
47040003		-0.034699	0.035655		
47060003		-0.002426	0.055195		
-99		0.000000	0.000000		
0		0.000000	0		
40010003			-0.022336		
40020003			-0.045819		
40030003		-0.069528			
.	.	.			
47040003		-0.013236		1 502	
47060003		0.008413		1 502	
-99		0.000000		0 0	

Callout boxes in the image provide the following information:

- TIERES3 必須項目**: この例では写真毎に表
- GCPRES 必須項目**: この例では平面の残差を表示。
- GCPRES 必須項目**: この例では標高の残差を表示。

TIERES3

COORDINATES OF IMAGE POINTS AND RESIDUALS
in units of image system

point-no.	x	y	code of point input → used	rx	ry	sds	check
photo-no. 2753 fl.= 153450.000							
1010002	-30577.3	78990.5	TP 4	-4.8	-3.0	0	. . .
27530101	-3010.7	-93489.4	TP 2	0.0	-0.4	0	. . .
27530201	1350.0	6396.1	TP 2	0.0	-0.3	0	. . .
27530301	4105.4	85601.7	TP 2	0.0	0.1	0	. . .
27530501	4334.8	-53345.5	TP 2	0.1	1.2	0	. . .
27530601	6231.5	38196.7	TP 2	0.1	1.2	0	. . .
27540101	-99642.0	-87148.7	TP 3	-2.5	-1.8	0	. . .
27540201	-107523.9	9175.6	TP 3	0.8	-2.7	0	. . .
27540301	-99414.0	101308.6	TP 3	1.9	6.1	0	. . .
27540501	-103150.2	-37459.1	TP 3	1.9	5.4	0	. . .
27540601	-84602.5	50321.9	TP 3	0.6	-5.1	0	. . .
40190003	-6504.8	-46055.5	HV 2	2.1	-0.7	0	. . .
photo-no. 2774 fl.= 153450.000							
1010002	32277.5	91817.6	TP 4	-2.5	1.9	0	. . .

TIERES3 の異なった書式例。写真毎に交会残差を表示。

- 3) 座標測定簿のファイル仕様は、次の通りとする。
- 座標測定簿フォーマットは1行1レコードのテキストファイルとする。
 - 文字コードは、ASCII コードとする。
 - データの項目はスペースもしくはタブによって区切るものとする。
 - レコード記述方法は、基本情報、指標観測座標、観測座標、終了番号を写真枚数分、繰り返し記載する。
 - 焦点距離および座標の単位は、mmもしくは μm とし、同一とする。
 - 出力する座標系は数学座標系を標準とする。

写真番号と焦点距離

1行	1桁	1列	20H	1/47	テキスト	フリ/ホスト/プロセッサなし
2753153450.000 0						
1		-111811.0		97470.0		
2		100206.0		96608.0		
3		99344.0		-115400.0		
4		-112660.0		-114566.0		
27530101 -2846.0 84510.0						
27530501 -10354.0 44392.0						
27530201 -7610.0 -15368.0						
27530601 -12620.0 -47152.0						
27530301 -10685.0 -94570.0						
27540101 93763.0 77777.0						
27540501 97073.0 28073.0						
27540201 101259.0 -18583.0						
27540601 88171.0 -59681.0						
27540301 92775.0 -110689.0						
1010002 24027.0 -88097.0						
40190003 457.0 37058.0						
-99						
2754153450.000 0						
1		-113676.0		97308.0		
2		98331.0		97065.0		
3		98119.0		-114940.0		
4		-113888.0		-114729.0		
27530101 -98775.0 96965.0						
27530501 -108103.0 56506.0						
27530201 -107626.0 -4703.0						
27530601 -114209.0 -37338.0						
27530301 -115534.0 -86320.0						

指標座標

各点の座標

写真のデリミッタ

- 4) 計算簿のファイル仕様は、次の通りとする。
- 計算簿フォーマットは1行1レコードのテキストファイルとする。
 - 文字コードは、ASCIIコードとする。
 - レコード記述方法：テキストファイルの形式については特に定めず（フリーフォーマット）使用した空中三角測量プログラムの出力形式で可である。
 - 計算後の内容は採用した調整法、空中三角測量タイポイント較差表、パスポイントおよびタイポイント残差一覧表（独立モデル法）、交会残差一覧表（バンドル法、セルフキャリブレーション付きバンドル法）によって異なる。
 - 座標の単位は、使用したソフトウェアの仕様に準じる。
 - 出力する座標系は数学座標系を標準とする。

```

D:\My Documents\測技協&地理院\電子納品\空三\納品物サンプル\CKAE4001.txt
1行 1桁 1ライン 31H 1/266,098バイト テキスト フリ/ホスト/プロセッサなし
PATB-NT : COPYRIGHT : H.KLEIN/F.ACKERMANN 1988-1999#
BLOCK ADJUSTMENT WITH BUNDLES REVISION Jan-99#
PROJECT : SAMPLE #
USER-ID. : PASCO CORP. #
START OF EXECUTION : 26-01-2001 17:44:44#
*****#
*****#
** **#
** PROGRAM VERSION PATB-NT **#
** **#
** INPUT FILES: **#
** PROJECT PARAMETERS: D:\PATDATA\YPOS\YPOS.PRO **#
** PHOTOGRAPHS: d:\patdata\YSAMPLE\YSAMPLE.ptb **#
** CONTROL POINTS: d:\patdata\YSAMPLE\YSAMPLE.gnd **#
** **#
** INITIAL VALUES FOR EXTERIOR ORIENTATION PARAMETERS ARE CALCULATED **#
** **#
** OPTIONAL FEATURES: **#
** WITHOUT AUTOMATIC GROSS ERROR DETECTION **#
** WITH CORRECTION OF EARTH CURVATURE AND REFRACTION **#
** NO CORRECTION OF SYSTEMATIC ERRORS **#
** ADJUSTMENT WITHOUT GPS-OBSERVATIONS **#
** WITH INVERSION OF NORMAL EQUATIONS **#
** **#
** REGISTRATION UNITS: **#
** **#

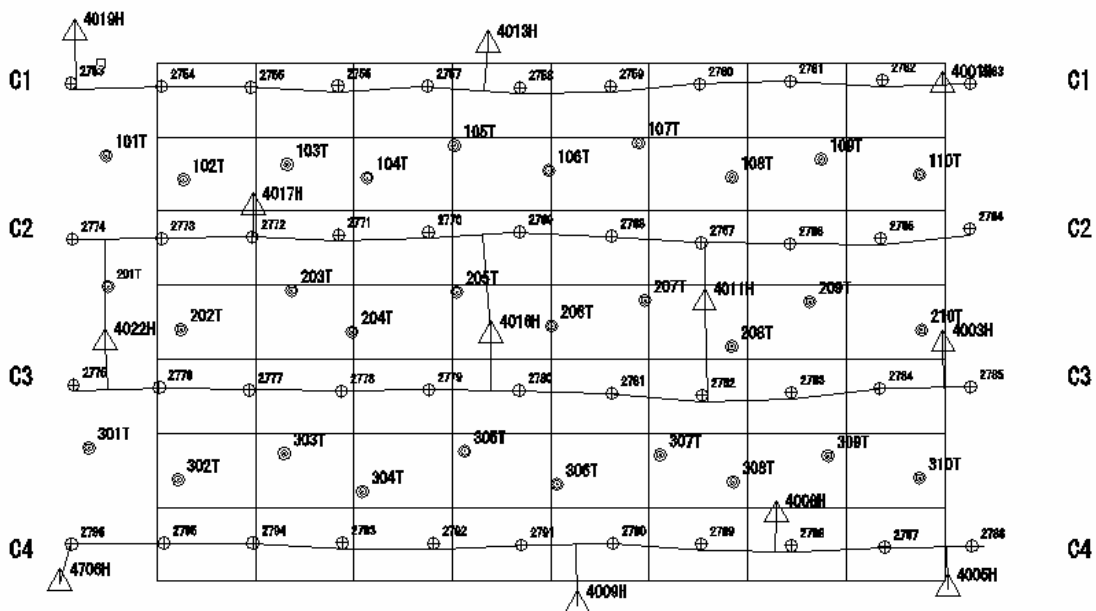
```

```

D:\My Documents\測技協&地理院\電子納品\空三\納品物サンプル\CKAE4001.txt
1行 3桁 1ライン 0DH,0AH 2/135,787バイト テキスト フリ/ホスト/プロセッサなし
BINGO-F - VERS. 4.0 Mar2001#
FREE NETWORK BUNDLE ADJUSTMENT FOR ENGINEERING APPLICATIONS#
-----#
10:15:17 Friday, 8 February 2002#
-----#
SAMPLE PRINT OUT#
-----#
Names of connected files :#
-----#
Image coordinates : image.dat#
Geo input file : geoin.dat#
Itera file : itera.dat#
Bingo list file : bingo.lis#
Bingo save file : bsave.tmp#
A matrix file : bsamat.tmp#
N matrix file : bsnmat.tmp#
C matrix file : bscmat.tmp#
I matrix file : bsimat.tmp#
-----#
DATA FROM IMAGE COORDINATE FILE#
-----#

```

- 5) 空中三角測量実施一覧図を PDF で作成するとデータ量が膨大になったり、一度には数値化できない場合があったり、データの有効利用を妨げたりする可能性があるため、DM 形式でも可である。その場合、次の制約を与える。
- 図郭座標には [0 , 0] を記述する。
 - 座標は平面直角座標系とする（通常は左下を原点とする相対座標）。
 - 座標の単位は、m とする。
 - 図郭レコード(a)の「図郭識別番号」「図郭名称」「タイトル」で、地図データとの区別を行う。
 - 図郭識別番号は空白とする。
 - 図郭名称は該当する成果品名を入力する。例：標定点配置図
 - タイトルは「測量成果電子納品」と入力する。
 - 空中三角測量実施一覧図の表現に必要な表現分類コードは、別途定義する。
 - 背景には作成された DM データファイルを用いるものとする。



空中三角測量実施一覧図を DM 形式で作成する場合に、それぞれの表現に必要な表現分類コードは次の通りとする。

分類	表現分類コード	項目	データタイプ	備考
空中三角測量 実施一覧図	9115	連結	線	
	7413	主点	点	
	8181	主点名称	注記	
	7414	タイポイント	点	
	8181	タイポイント名称	注記	説明注記

注：三角点、水準点等の既知基準点は、公共測量作業規則の大縮尺図式を用いる。

注：標定点配置図、水準路線図、対空標識点一覧図、標定図、刺針点一覧図のうち、空中三角測量実施一覧図に必要なもので、それらが別途存在しない場合には、それらのガイドラインにしたがって空中測量実施一覧図に作成する。

- 6) 空中三角測量実施一覧図をスキャナでイメージ化する場合には、以下の点に留意する。
 - ・ スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1)アナログ資料のスキャニング」に留意する。
 - ・ 各々図の大きさがスキャナの走査範囲より大きい場合は適宜分割して作成する。この場合は、図の縮尺に準じて電子化する。
 - ・ 空中三角測量実施一覧図は、標定点配置図や水準路線図等と同一の図葉に併記することが可能であるが、その場合でも空中三角測量実施一覧図として該当するフォルダ（/CHIKEI/WORK/SATU_*）に複製を作成して指定された命名規則で格納する。
 - ・ 空中三角測量実施一覧図ファイルを PDF 形式で作成する場合で、ファイルサイズが 10Mbyte を越えるような場合、あるいは A3 形式を超えるような場合は、それぞれ 10Mbyte を越えないようなファイルサイズ、A3 形式を超えないような大きさに分割する。
 - ・ 複数のファイルに分割した場合には、ファイル画面の上部にインデックス（位置関係説明図）を入れることとする。
- 7) 空中三角測量実施一覧図を PDF 形式で作成する場合の背景となる地形図には、国土地理院発行の地図画像を用いても良い。
- 8) カメラキャリブレーションデータは、PDF 形式で必ずその他のフォルダへ格納しなければならない。

(図化)

表 4 -22 図化成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
図化素図		(対象外)	-	-
基準点資料図		(対象外)	-	-
標定記録簿		PDF	/CHIKEI/WORK/ZUKA_*	CZ*D1nnn.PDF
精度管理表		PDF	/CHIKEI/WORK/ZUKA_*	CZ*G2nnn.PDF

【運用基準】

- 1) 標定記録簿および精度管理表については、PDF 形式で納品する。

【解説・補足】

- 1) 図化には、数値図化が含まれる。
- 2) 図化における図化素図および基準点資料図は、図化自体がアナログの成果を求める作業であるため電子納品の対象外となっている。また、数値図化におけるモニタリングデータは、その成果を基に数値編集され、DM データファイルとなることから電子納品の対象外となっている。
- 3) 図化標定記録簿については、必要項目が満たされていれば図化機から出力された書式でも可である。必須項目は、次の通りとする。
 - 地区名
 - 作業機関
 - 点検者
 - 図名
 - 作業年月日
 - 作業員
 - コース番号
 - 写真番号 右 左
 - 使用機械
 - 図化縮尺又は地図情報レベル
 - カメラ
 - 標定要素 左 f
 - 標定要素 右 f
 - 座標点検 点名 座標 X Y 観測値 X Y x y x y

- 標高点検 点名 標高 観測値 h
- 図化機によって必須項目となる項目は、次の通りとする。
- 機械縮尺
 - 標定要素 左 by bz
 - 標定要素 右 by bz bx
- 4) 精度管理表をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意する。

(地形補備測量)

表 4-23 地形補備測量成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
地形補備測量図		(対象外)	/CHIKEI/OTHR	CZ*J2nnn.XXX
精度管理表		PDF	/CHIKEI/WORK/ZUKA_*	CZ*G3nnn.PDF

【運用基準】

- 1) 精度管理表については、PDF形式で納品する。

【解説・補足】

- 1) 地形補備測量は、アナログ手法（4級基準点測量又は簡易水準測量に準じた測量から等高線を描画、若しくは平板測量）による地形補備測量図を作成する手法である。したがって、この手法が採用されること自体、電子納品が不要であることを示しており、電子納品の対象外となっている。また、TSを用いる地形補備測量を採用した場合でも、その成果を元に数値編集され、DMデータファイルとなることから電子納品の対象外となっている。
- 2) 精度管理表をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意する。

(編集)

表 4-24 編集成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
編集素図		(対象外)	-	-
注記資料図		(対象外)	-	-
精度管理表		PDF	/CHIKEI/WORK/ZUKA_*	CZ*G4nnn.PDF

【運用基準】

- 1) 精度管理表については、PDF 形式で納品する。

【解説・補足】

- 1) 編集には、数値編集が含まれる。
- 2) 編集における編集素図および基準点資料図は、編集自体がアナログの成果を求める作業であるため電子納品の対象外となっている。また、数値編集済みデータは、その成果を元に補測数値編集され、DM データファイルとなることから電子納品の対象外となっている。
- 3) 精度管理表をスキャナでイメージ化する場合には、「4 - 1 - 2 (1) 1) アナログ資料のスキャニング」に留意する。

(現地補測)

表 4 - 25 現地補測成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
現地補測の結果を整理した 藍焼図および編集素図		(対象外)	-	-
精度管理表		PDF	/CHIKEI/WORK/ZUKA_*	CZ*G5nnn.PDF

【運用基準】

- 1) 精度管理表については、PDF 形式で納品する。

【解説・補足】

- 1) 現地補測には、補測数値編集が含まれる。
- 2) 現地補測は、現状では電子処理の生産は当面見込めないため、現地補測の結果を整理した藍焼図および編集素図は電子納品の対象外となっている。また、補測数値編集済みデータは、DM データファイルに取り込まれることから電子納品の対象外となっている。
- 3) 精度管理表をスキャナでイメージ化する場合には、「4 - 1 - 2 (1) 1) アナログ資料のスキャニング」に留意する。

(地形図原図作成)

表 4 -26 地形図原図作成成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル形 式	格納フォルダ名	ファイル名
地形図原図		(対象外)	-	-
複製用ポジ原図(第二原図)		(対象外)	-	-
地形図原図の藍焼図		(対象外)	-	-
精度管理表		PDF	/CHIKAI/WORK/ZUKA_*	CZ*G7nnn.PDF

【運用基準】

- 1) 精度管理表については、PDF 形式で納品する。

【解説・補足】

- 1) 空中写真測量による地形図原図作成は、アナログ手法により地形図原図を作成する測量手法である。したがって、この手法が採用されること自体、電子納品が不要であることを示しており、地形図原図および複製用ポジ原図(第二原図)は電子納品の対象外となっている。
- 2) DM による地形図原図は、アナログの成果を求められていること、別途 DM データファイルが電子納品されることにより、電子納品の対象外となっている。
- 3) 精度管理表をスキャナでイメージ化する場合には、「4 - 1 - 2 (1) 1) アナログ資料のスキャニング」に留意する。

(4) 修正測量

表 4 -27 修正測量成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル形 式	格納フォルダ名	ファイル名
地形図修正原図		(対象外)	-	-
複製用ポジ原図(第二原図)		(対象外)	-	-
地形図修正原図の藍焼図等		(対象外)	-	-
精度管理表		PDF	/CHIKAI/WORK/HETS_*	CH*G3nnn.PDF
			/CHIKAI/WORK/ZUKA_*	CZ*GAnnn.PDF

【運用基準】

- 1) 精度管理表については、PDF 形式で納品する。

【解説・補足】

- 1) 修正測量には、数値地形図修正が含まれる。
- 2) 修正測量による地形図原図等は、アナログ手法により地形図原図を作成する測量手法であるため、地形図原図等（第二原図）は電子納品の対象外となっている。
- 3) 数値地形図修正による地形図原図は、アナログの成果を求められていること、別途 DM データファイルが電子納品されることにより、電子納品の対象外となっている。
- 4) 精度管理表をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1)アナログ資料のスキャニング」に留意する。

(5) 写真図作成

表 4-28 写真図作成成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
複写ネガフィルム		(対象外)	-	-
複写ポジフィルム		(対象外)	-	-
精度管理表		PDF	/CHIKEI/WORK	CZ*G9nnn.PDF

【運用基準】

- 1) 精度管理表については、PDF 形式で納品する。

【解説・補足】

- 1) 写真図作成は、アナログ手法により写真図を作成する測量手法であるため、複写ネガフィルムおよび複写ポジフィルムは電子納品の対象外となっている。

(6) デジタル正射写真図

表 4-29 デジタル正射写真図成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
デジタル写真画像				
数値地形モデル				
デジタル正射写真図データ				
デジタル正射写真図				

【運用基準】

(なし)

【解説・補足】

- 1) デジタル正射写真図は、受発注者間の協議の上で納品成果物を決定する。
- 2) ファイル名は、ファイル命名規則（地形測量成果）に準拠して決定する。
- 3) ファイル形式は、汎用性の高いもの、再利用が高いものを採用する。
- 4) 撮影若しくは空中三角測量の作業が行われた場合には、必ずカメラキャリブレーションデータを PDF 形式でその他のフォルダへ格納する。

(7) 地図編集

表 4 -30 地図編集成果一覧

対象書類	書類作成者	ファイル形式	格納フォルダ名	ファイル名
編集原図		(対象外)	-	-
注記資料図		(対象外)	-	-
精度管理表		PDF	/CHIKAI/WORK/ZUHEN_*	CU*G1nnn.PDF

【運用基準】

- 1) 精度管理表については、PDF 形式で納品する。

【解説・補足】

- 1) 地図編集は、アナログ手法により写真図を作成する測量手法であるため、編集原図および注記資料図は電子納品の対象外となっている。
- 2) 数値編集で行われた場合には、DM データファイルおよび DM データインデックスファイルにて電子納品する。

(8) デジタルマッピング

表 4-31 デジタルマッピング成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
DM データファイル		DM	/CHIKEI/DATA/	CZ*B1nnn.DM
DM データインデックスファイル		DMI	/CHIKEI/DATA/	CZ*B2nnn.DMI
DM データファイル説明書		PDF	/CHIKEI/DATA/	CZ*B3nnn.PDF
地形図原図		(対象外)	-	-
複製用ポジ原図(第二原図)		(対象外)	-	-
精度管理表		PDF	/CHIKEI/WORK	CZ*G8nnn.PDF

【運用基準】

- 1) DM データファイルは、DM 形式で納品する。また、受発注者間の協議により DM 形式に加えて、CAD 形式でも納品することができる。
- 2) DM データファイル説明書および精度管理表については、PDF 形式で納品する。
- 3) DM データファイルおよびインデックスファイルの拡張子は受発注者間の協議により定める。特に定めがない場合 DM データファイルは「DM」、インデックスファイルは「DMI」とする。

【解説・補足】

- 1) DM データファイルおよび DM データインデックスファイルの納品は必須であり、CAD データはそれらを補足するものである。
- 2) DM データファイルおよび DM データインデックスファイルは、どちらも公共測量作業規程のデジタルマッピングデータファイル仕様の中に記載されているため、どちらも DM 形式として捉えられている。但し、物理的なファイルの単位は異なるため、拡張子は「DM」と「DMI」で区別してある。
- 3) DM による地形図原図は、アナログの成果を求められていること、別途 DM データファイルが電子納品されることにより、電子納品の対象外となっている。
- 4) 精度管理表をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意する。

(9) その他の測量

【解説・補足】

- 1) その他の地形測量は、受発注者間の協議の上で納品成果物を決定する。
- 2) ファイル名は、ファイル命名規則（地形測量成果）に準拠して決定する。
- 3) ファイル形式は、汎用性の高いもの、再利用が高いものを採用する。
- 4) 製品仕様に基づく地形・数値地形測量の場合は、データセット、品質評価報告書、メタデータを電子納品成果とする。
- 5) 新しい地形測量（地上レーザ測量、航空レーザ測量、直接定位など）は、主要工程毎の資料、精度管理表と共に成果品を電子納品する。
- 6) 撮影若しくは空中三角測量の作業が行われた場合には、必ずカメラキャリブレーションデータを PDF 形式でその他のフォルダへ格納する。

(10) その他

表 4-32 その他成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
測量機器検定証明書		PDF	/CHIKEI/OTHR	ZOTJ1nnn.PDF
ファイル説明書		PDF	/CHIKEI/OTHR	ZOTJ2nnn.PDF

【解説・補足】

- 1) 機器検定証明書、ファイル説明書は、PDF 形式で納品する。
- 2) 表 4-31 に記載されていない測量記録、資料については、「その他」サブフォルダに格納することとして、そのファイル形式等は受発注者間の協議により定める。

(共通事項)

オリジナルファイル、拡張したファイル等では、必要に応じてファイル形式、レコードフォーマット等について説明したファイル説明文書の電子ファイルを作成し、OTHR フォルダに格納して納品する。

4-3-3 事前協議事項

(1) CAD 等による納品方法

空中写真三角測量実施一覧図、標定図、標定点配置図、水準路線図を PDF で作成するとデータ量が膨大になったり、一度には数値化できない場合があったり、データの有効利用を妨げたりする可能性があるため、DM 形式でも可である。その場合、次の制約を与える。

- 図郭座標には [0 , 0] を記述する。
- 座標は平面直角座標系とする（通常は左下を原点とする相対座標）。
- 座標の単位は、m とする。
- 使用した作業規程で、地図データとの区別を行う。
- 標定図などの表現に必要な表現分類コードは、別途定義する。

背景には作成された DM データファイルを用いるものとする。

(2) DM の拡張子

DM データファイルおよび DM データインデックスファイルは、どちらも公共測量作業規程においてデジタルマッピングデータファイル仕様として定義されているため、どちらも DM 形式として捉えられている。但し、物理的なファイルの単位は異なるため、拡張子は「DM」と「DMI」として区別してある。

これらの拡張子は限定されているものではないが、使用が望ましい。

(3) 電子納品対象外の成果の扱い

地形図原図などのアナログ成果は、電子納品の主旨に反するため対象外となっている。

また、空中写真ネガフィルムや刺針点表示密着空中写真などの成果は、数値化によって原本性が保証できなくなるため対象外となっている。

4 - 4 路線測量

4 - 4 - 1 成果一覧 (フォルダ構成、ファイル形式・命名則・格納場所)

路線測量の電子納品対象書類は、表 4 - 33に示されるように、多岐に分かれている。電子納品の対象となる各成果は、各々表に示されているファイル形式で作成し、同様に示されている格納フォルダ (図 4 - 13参照) 内に、所定のファイル名称を付けて納めることになっている。

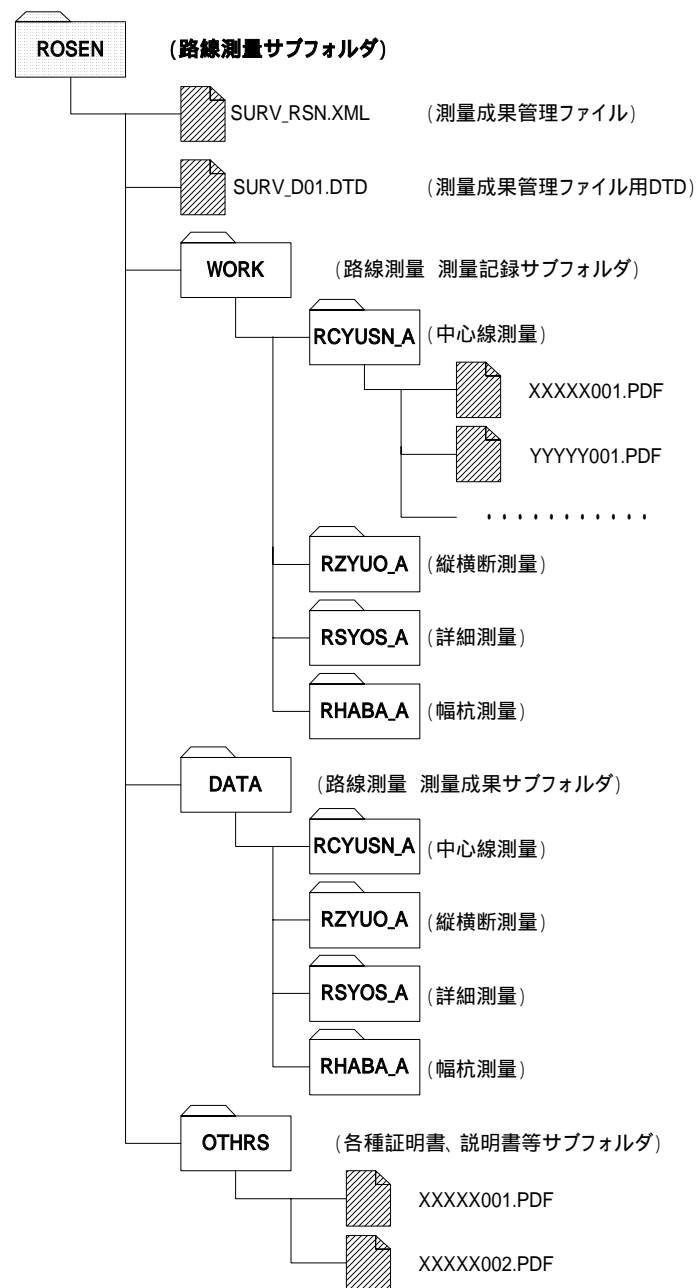


図 4 - 13 路線測量サブフォルダ構成

表 4 - 33 路線測量の成果種類

公共測量作業規程による分類		ファイル形式	ファイル命名規則	格納フォルダ名	備考
測量細分類	成果等の名称				
線形決定	線形図	(協議)	RC*B1nnn.XXX	/ROSEN/DATA/ RCYUSN_*	協議により CAD データ
	計算簿	PDF	RC*E1nnn.PDF	/ROSEN/WORK/ RCYUSN_*	
条件点の観測	成果表	PDF	RC*A1nnn.PDF	/ROSEN/DATA/ RCYUSN_*	
	成果表(数値データ)	TXT	RC*A2nnn.TXT	/ROSEN/DATA/ RCYUSN_*	
	観測手簿	PDF	RC*D1nnn.PDF	/ROSEN/WORK/ RCYUSN_*	
	計算簿	PDF	RC*E2nnn.PDF	/ROSEN/WORK/ RCYUSN_*	
	精度管理表	PDF	RC*G1nnn.PDF	/ROSEN/WORK/ RCYUSN_*	
IP 設置測量	計算簿	PDF	RC*E3nnn.PDF	/ROSEN/WORK/ RCYUSN_*	
	点の記	PDF	RC*C1nnn.PDF	/ROSEN/DATA/ RCYUSN_*	
	精度管理表	PDF	RC*G2nnn.PDF	/ROSEN/WORK/ RCYUSN_*	
中心線測量	線形地形図	(協議)	RC*B2nnn.XXX	/ROSEN/DATA/ RCYUSN_*	協議により CAD データ
	引照点図	(協議)	RC*B3nnn.XXX	/ROSEN/DATA/ RCYUSN_*	協議により CAD データ
	計算簿	PDF	RC*E4nnn.PDF	/ROSEN/WORK/ RCYUSN_*	
	計算簿(数値データ)	TXT	RC*E5nnn.TXT	/ROSEN/WORK/ RCYUSN_*	
	点の記	PDF	RC*C2nnn.PDF	/ROSEN/DATA/ RCYUSN_*	主要点のみ
	精度管理表	PDF	RC*G3nnn.PDF	/ROSEN/WORK/ RCYUSN_*	
仮 BM 設置測量	成果表	PDF	RZ*A1nnn.PDF	/ROSEN/DATA/ RZYUO_*	
	成果表(数値データ)	TXT	RZ*A2nnn.TXT	/ROSEN/DATA/ RZYUO_*	
	水準路線図	PDF	RZ*F1nnn.PDF	/ROSEN/WORK/ RZYUO_*	ガイドライン追記
	平均図	PDF	RZ*F2nnn.PDF	/ROSEN/WORK/ RZYUO_*	ガイドライン追記

公共測量作業規程による分類		ファイル形式	ファイル命名規則	格納フォルダ名	備考
測量細分類	成果等の名称				
	観測手簿	PDF	RZ*D1nnn.PDF	/ROSEN/WORK/ RZYUO_*	
	点の記	PDF	RZ*C1nnn.PDF	/ROSEN/DATA/ RZYUO_*	
	精度管理表	PDF	RZ*G1nnn.PDF	/ROSEN/WORK/ RZYUO_*	
縦断測量	成果表	PDF	RZ*A3nnn.PDF	/ROSEN/DATA/ RZYUO_*	
	成果表(数値データ)	TXT	RZ*A4nnn.TXT	/ROSEN/DATA/ RZYUO_*	
	縦断面図	(協議)	RZ*B1nnn.XXX	/ROSEN/DATA/ RZYUO_*	協議により CAD データ
	観測手簿	PDF	RZ*D2nnn.PDF	/ROSEN/WORK/ RZYUO_*	
	精度管理表	PDF	RZ*G2nnn.PDF	/ROSEN/WORK/ RZYUO_*	
横断測量	横断面図	(協議)	RZ*B2nnn.XXX	/ROSEN/DATA/ RZYUO_*	協議により CAD データ
	観測手簿	PDF	RZ*D3nnn.PDF	/ROSEN/WORK/ RZYUO_*	
	精度管理表	PDF	RZ*G3nnn.PDF	/ROSEN/WORK/ RZYUO_*	
詳細測量	成果表	PDF	RS*A1nnn.PDF	/ROSEN/DATA/ RSYOS_*	
	成果表(数値データ)	TXT	RS*A2nnn.TXT	/ROSEN/DATA/ RSYOS_*	
	詳細平面図	(協議)	RS*B1nnn.XXX	/ROSEN/DATA/ RSYOS_*	協議により CAD データ
	縦横断面図	(協議)	RS*B2nnn.XXX	/ROSEN/DATA/ RSYOS_*	協議により CAD データ
	観測手簿	PDF	RS*D1nnn.PDF	/ROSEN/WORK/ RSYOS_*	
	精度管理表	PDF	RS*G1nnn.PDF	/ROSEN/WORK/ RSYOS_*	
用地幅杭設置測量	杭打図	(協議)	RH*B1nnn.XXX	/ROSEN/DATA/ RHABA_*	協議により CAD データ
	計算簿	PDF	RH*E1nnn.PDF	/ROSEN/WORK/ RHABA_*	
	計算簿(数値データ)	TXT	RH*E2nnn.TXT	/ROSEN/WORK/ RHABA_*	

公共測量作業規程による分類		ファイル形式	ファイル命名規則	格納フォルダ名	備考
測量細分類	成果等の名称				
	精度管理表	PDF	RH*G1nnn.PDF	/ROSEN/WORK/ RHABA_*	
その他	測量機器検定証明書	PDF	ROTJ1nnn.PDF	/ROSEN/OTHR	
	点検測量簿	PDF	ROTJ2nnn.PDF	/ROSEN/OTHR	
	ファイル説明書	PDF	ROTJ3nnn.PDF	/ROSEN/OTHR	

4 - 4 - 2 成果ファイル解説・補足

路線測量の成果は表 4 - 33に示されるファイル形式によって成果ファイルを作成するものとする。具体的な方法は運用基準によるものとする。

(1) 線形決定

表 4 - 34 線形決定成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
線形図		(協議)	/ROSEN/DATA/RCYUSN_*	RC*B1nnn.XXX
計算簿		PDF	/ROSEN/WORK/RCYUSN_*	RC*E1nnn.PDF

【運用基準】

- (1) 線形図を CAD で作成する場合は、その数値データを納品することとし、フォーマット形式やファイル作成単位については受発注者間の協議により定める。
- (2) 計算簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。

【解説・補足】

- 1) 線形図は、以下の点に留意すること。
 - ・ スキャナでイメージ化する場合には、「4 - 1 - 2 (1) 1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
 - ・ 線形図の大きさがスキャナの走査範囲より大きい場合は適宜分割して作成する。この場合は、図の縮尺に準じて電子化すること。
 - ・ 複数にまたがる場合には、ファイル画面の上部にインデックス(位置関係説明図)を入れることとする。
- 2) 更に、受発注者間の協議から数値データ、又は CAD データで納品する場合には、以下の点に留意すること。
 - ・ データを表示、印刷および後続作業の利用を考慮して、データ形式を受発注者間の協議とする。
 - ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ(/OTHERS)に TXT 形式、PDF 形式にて保管すること。
- 3) 計算簿をスキャナでイメージ化する場合には、「4 - 1 - 2 (1) 1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。

(2) 条件点の観測

表 4 -35 条件点の観測成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
成果表		PDF	/ROSEN/DATA/RCYUSN_*	RC*A1nnn.PDF
成果表(数値データ)		TXT	/ROSEN/DATA/RCYUSN_*	RC*A2nnn.TXT
観測手簿		PDF	/ROSEN/WORK/RCYUSN_*	RC*D1nnn.PDF
計算簿		PDF	/ROSEN/WORK/RCYUSN_*	RC*E2nnn.PDF
精度管理表		PDF	/ROSEN/WORK/RCYUSN_*	RC*G1nnn.PDF

【運用基準】

- 1) 成果表は、PDF 形式で納品するほか、数値データを TXT 形式で納品する。
- 2) 観測手簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは受発注者間で協議し適当な単位でまとめて作成する。枚数が多い場合は、1 ファイルが 100 枚程度になるように分割して整理する。
- 3) 計算簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 4) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは種別単位に作成する。

【解説・補足】

- 1) 成果表をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 2) 成果表(数値データ)のフォーマット仕様は、要領(案)にある仕様に従うこと。
- 3) 受発注者間の協議によりオリジナル数値データを納品する場合には、以下の点に留意すること。
 - ・ 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品する。
 - ・ 数値データの TXT 形式のレコードフォーマットおよびファイル単位について受発注者間の協議とする。
 - ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ(/OTHR)に TXT 形式、PDF 形式にて保管すること。
- 4) 観測手簿をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 5) 計算簿をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ

資料のスキヤニング」に留意すること。

- 6) 精度管理表をスキヤナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキヤニング」に留意すること。

(3) IP 設置測量

表 4 -36 I P 設置測量成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
計算簿		PDF	/ROSEN/WORK/RCYUSN_*	RC*E3nnn.PDF
点の記		PDF	/ROSEN/DATA/RCYUSN_*	RC*C1nnn.PDF
精度管理表		PDF	/ROSEN/WORK/RCYUSN_*	RC*G2nnn.PDF

【運用基準】

- 1) 計算簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 2) 点の記は、PDF 形式で納品する。PDF 形式の点の記は、1 成果 1 ファイルの成果単位で作成する。
- 3) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは種別単位に作成する。

【解説・補足】

- 1) 計算簿をスキヤナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキヤニング」に留意すること。
- 2) 点の記をスキヤナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキヤニング」に留意すること。
- 3) 精度管理表をスキヤナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキヤニング」に留意すること。

(4) 中心線測量

表 4 - 37 中心線測量成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
線形地形図		(協議)	/ROSEN/DATA/RCYUSN_*	RC*B2nnn.XXX
引照点図		(協議)	/ROSEN/DATA/RCYUSN_*	RC*B3nnn.XXX
計算簿		PDF	/ROSEN/WORK/RCYUSN_*	RC*E4nnn.PDF
計算簿(数値データ)		TXT	/ROSEN/WORK/RCYUSN_*	RC*E5nnn.TXT
点の記		PDF	/ROSEN/DATA/RCYUSN_*	RC*C2nnn.PDF
精度管理表		PDF	/ROSEN/WORK/RCYUSN_*	RC*G3nnn.PDF

【運用基準】

- 1) 線形地形図を CAD で作成した場合は、その数値データを納品することとし、フォーマット形式やファイル作成単位については受発注者間の協議により定める。
- 2) 引照点図を CAD で作成した場合は、その数値データを納品することとし、フォーマット形式やファイル作成単位については受発注者間の協議により定める。
- 3) 計算簿は、PDF 形式で納品する。また、受発注者間の協議により PDF 形式に加えてオリジナル数値データ形式で納品することができる。
ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて整理する。
- 4) 点の記(主要点のみ)は、PDF 形式で納品する。PDF 形式の点の記は、1 成果 1 ファイルの成果単位で作成する。
- 5) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは、種別単位に整理する。

【解説・補足】

- 1) 要領(案)表 4 - 3 に示される成果の内、(協議)とされているものについては受発注者間の協議によりファイル形式を取り決めるものとする
- 2) 受発注者間の協議から数値データ、又は CAD データで納品する場合には、以下の点に留意すること。
 - ・ データを表示、印刷および後続作業の利用を考慮して、データ形式を受発注者間の協議とする。
 - ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ(/OTHERS)に TXT 形式、PDF 形式にて保管すること。
- 3) 計算簿をスキャナでイメージ化する場合には、「4 - 1 - 2 (1) 1) アナログ

資料のスキヤニング」に留意すること。受発注者間の協議によりオリジナル数値データを納品する場合には、以下の点に留意すること。

- ・ 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品する。
 - ・ 数値データの TXT 形式のレコードフォーマットおよびファイル単位について受発注者間の協議とする。
 - ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ（/OTHERS）に TXT 形式、PDF 形式にて保管すること。
- 4) 点の記をスキヤナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1)アナログ資料のスキヤニング」に留意すること。
- 5) 精度管理表をスキヤナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1)アナログ資料のスキヤニング」に留意すること

(5) 仮 B M 設置測量

表 4-38 仮 B M 設置測量成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
成果表		PDF	/ROSEN/DATA/RZYUO_*	RZ*A1nnn.PDF
成果表（数値データ）		TXT	/ROSEN/DATA/RZYUO_*	RZ*A2nnn.TXT
水準路線図		PDF	/ROSEN/WORK/RZYUO_*	RZ*F1nnn.PDF
平均図		PDF	/ROSEN/WORK/RZYUO_*	RZ*F2nnn.PDF
観測手簿		PDF	/ROSEN/WORK/RZYUO_*	RZ*D1nnn.PDF
点の記		PDF	/ROSEN/DATA/RZYUO_*	RZ*C1nnn.PDF
精度管理表		PDF	/ROSEN/WORK/RZYUO_*	RZ*G1nnn.PDF

【運用基準】

- 1) 成果表は、PDF 形式で納品するほか、数値データを TXT 形式で納品する。
- 2) 水準路線図、平均図を作成した場合は、PDF 形式で納品する。また、受発注者間の協議により数値データ、又は CAD データで納品することができる。その場合、PDF 形式の成果については、受発注者間の協議により、納品の有無を決めることが出来る。なお、ファイルは、図単位で作成する。
- 3) 観測手簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは受発注者間で協議し適当な単位でまとめて作成する。枚数が多い場合は、1 ファイルが 100 枚程度になるように分割して整理する。
- 4) 点の記は、PDF 形式で納品する。PDF 形式の点の記は、1 成果 1 ファイルの

成果単位で作成する。

- 5) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは、種別単位に整理する。

【解説・補足】

- 1) 成果表をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 2) 成果表(数値データ)のフォーマット仕様は、要領(案)にある仕様に従うこと。受発注者間の協議によりオリジナル数値データを納品する場合には、以下の点に留意すること。
 - ・ 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品する。
 - ・ 数値データの TXT 形式のレコードフォーマットおよびファイル単位について受発注者間の協議とする。
 - ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ(/OTHERS)に TXT 形式、PDF 形式にて保管すること。
- 3) 水準路線図、平均図は、以下の点に留意すること。
 - ・ スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
 - ・ ファイルは図単位又は図の種別単位で作成するものとする
 更に、受発注者間の協議から数値データ、又は CAD データで納品する場合には、以下の点に留意すること。
 - ・ データを表示、印刷および後続作業の利用を考慮して、データ形式を受発注者間の協議とする。
 - ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ(/OTHERS)に TXT 形式、PDF 形式にて保管すること。
- 4) 観測手簿をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 5) 計算簿をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 6) 精度管理表をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。

(6) 縦断測量

表 4 -39 縦断測量成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
成果表		PDF	/ROSEN/DATA/RZYUO_*	RZ*A3nnn.PDF
成果表(数値データ)		TXT	/ROSEN/DATA/RZYUO_*	RZ*A4nnn.TXT
縦断面図		(協議)	/ROSEN/DATA/RZYUO_*	RZ*B1nnn.XXX
観測手簿		PDF	/ROSEN/WORK/RZYUO_*	RZ*D2nnn.PDF
精度管理表		PDF	/ROSEN/WORK/RZYUO_*	RZ*G2nnn.PDF

【運用基準】

- 1) 成果表は、PDF 形式で納品するほか、数値データを TXT 形式で納品する。
- 2) 縦断面図を CAD で作成する場合は、その数値データを納品することとし、フォーマット形式やファイル作成単位については受発注者間の協議により定める。
- 3) 観測手簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは受発注者間で協議し適当な単位でまとめて作成する。枚数が多い場合は、1 ファイルが 100 枚程度になるように分割して整理する。
- 4) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは、種別単位に整理する。

【解説・補足】

- 1) 成果表をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 2) 成果表(数値データ)のフォーマット仕様は、要領(案)にある仕様に従うこと。受発注者間の協議によりオリジナル数値データを納品する場合には、以下の点に留意すること。
 - ・ 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品する。
 - ・ 数値データの TXT 形式のレコードフォーマットおよびファイル単位について受発注者間の協議とする。
 - ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ(/OTHERS)に TXT 形式、PDF 形式にて保管すること。
- 3) 縦断面図は、以下の点に留意すること。
 - ・ スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。

- ・ 縦断面図の大きさがスキャナの走査範囲より大きい場合は適宜分割して作成する。この場合は、図の縮尺に準じて電子化すること。
 - ・ 複数にまたがる場合には、ファイル画面の上部にインデックス（位置関係説明図）を入れることとする。
- 4) 更に、受発注者間の協議から数値データ、又はCADデータで納品する場合には、以下の点に留意すること。
- ・ データを表示、印刷および後続作業の利用を考慮して、データ形式を受発注者間の協議とする。
 - ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ（/OTHR）にTXT形式、PDF形式にて保管すること。
- 5) 観測手簿をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1)アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 6) 精度管理表をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1)アナログ資料のスキャニング」に留意すること。

(7) 横断測量

表 4-40 横断測量成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
横断面図		(協議)	/ROSEN/DATA/RZYUO_*	RZ*B2nnn.XXX
観測手簿		PDF	/ROSEN/WORK/RZYUO_*	RZ*D3nnn.PDF
精度管理表		PDF	/ROSEN/WORK/RZYUO_*	RZ*G3nnn.PDF

【運用基準】

- 1) 横断面図をCADで作成する場合は、その数値データを納品することとし、フォーマット形式やファイル作成単位については受発注者間の協議により定める。
- 2) 観測手簿は、PDF形式で納品する。ファイルは受発注者間で協議し適当な単位でまとめて作成する。枚数が多い場合は、1ファイルが100枚程度になるように分割して整理する。
- 3) 精度管理表は、PDF形式で納品する。ファイルは種別単位に作成する。

【解説・補足】

- 1) 横断面図は、以下の点に留意すること。

- ・ スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1)アナログ資料のスキヤニング」に留意すること。
 - ・ 横断面図の大きさがスキャナの走査範囲より大きい場合は適宜分割して作成する。この場合は、図の縮尺に準じて電子化すること。
 - ・ 複数にまたがる場合には、ファイル画面の上部にインデックス(位置関係説明図)を入れることとする。
- 2) 更に、受発注者間の協議から数値データ、又はCADデータで納品する場合には、以下の点に留意すること。
- ・ データを表示、印刷および後続作業の利用を考慮して、データ形式を受発注者間の協議とする。
 - ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ(/OTHERS)にTXT形式、PDF形式にて保管すること。
- 3) 観測手簿をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1)アナログ資料のスキヤニング」に留意すること。
- 4) 精度管理表をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1)アナログ資料のスキヤニング」に留意すること。

(8) 詳細測量

表 4-41 詳細測量成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
成果表		PDF	/ROSEN/DATA/RSYOS_*	RS*A1nnn.PDF
成果表(数値データ)		TXT	/ROSEN/DATA/RSYOS_*	RS*A2nnn.TXT
詳細平面図		(協議)	/ROSEN/DATA/RSYOS_*	RS*B1nnn.XXX
縦横断面図		(協議)	/ROSEN/DATA/RSYOS_*	RS*B2nnn.XXX
観測手簿		PDF	/ROSEN/WORK/RSYOS_*	RS*D1nnn.PDF
精度管理表		PDF	/ROSEN/WORK/RSYOS_*	RS*G1nnn.PDF

【運用基準】

- 1) 成果表は、PDF形式で納品するほか、数値データをTXT形式で納品する。
- 2) 詳細平面図をCADで作成する場合は、その数値データを納品することとし、フォーマット形式やファイル作成単位については受発注者間の協議により定める。
- 3) 縦横断面図をCADで作成する場合は、その数値データを納品することとし、

フォーマット形式やファイル作成単位については受発注者間の協議により定める。

- 4) 観測手簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは受発注者間で協議し適当な単位でまとめて作成する。枚数が多い場合は、1 ファイルが 100 枚程度になるように分割して整理する。
- 5) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは種別単位に作成する。

【解説・補足】

- 1) 成果表をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 2) 成果表(数値データ)のフォーマット仕様は、要領(案)にある仕様に従うこと。受発注者間の協議によりオリジナル数値データを納品する場合には、以下の点に留意すること。
 - ・ 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品する。
 - ・ 数値データの TXT 形式のレコードフォーマットおよびファイル単位について受発注者間の協議とする。
 - ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ(/OTHERS)に TXT 形式、PDF 形式にて保管すること。
- 3) 詳細平面図、縦横断面図は、以下の点に留意すること。
 - ・ スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
 - ・ 図面の大きさがスキャナの走査範囲より大きい場合は適宜分割して作成する。この場合は、図の縮尺に準じて電子化すること。
 - ・ 複数にまたがる場合には、ファイル画面の上部にインデックス(位置関係説明図)を入れることとする。
- 4) 更に、受発注者間の協議から数値データ、又は CAD データで納品する場合には、以下の点に留意すること。
 - ・ データを表示、印刷および後続作業の利用を考慮して、データ形式を受発注者間の協議とする。
 - ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ(/OTHERS)に TXT 形式、PDF 形式にて保管すること。
- 5) 観測手簿をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。

- 6) 精度管理表をスキャナでイメージ化する場合には、「4 - 1 - 2 (1) 1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。

(9) 用地幅杭設置測量

表 4 -42 用地幅杭設置測量成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
杭打図		(協議)	/ROSEN/DATA/RHABA_*	RC*B1nnn.XXX
計算簿		PDF	/ROSEN/WORK/RHABA_*	RC*E1nnn.PDF
計算簿(数値データ)		TXT	/ROSEN/WORK/RHABA_*	RC*E2nnn.TXT
精度管理表		PDF	/ROSEN/WORK/RHABA_*	RC*G1nnn.PDF

【運用基準】

- 杭打図を CAD で作成する場合は、その数値データを納品することとし、フォーマット形式やファイル作成単位については受発注者間の協議により定める。
- 計算簿は、PDF 形式で納品する。また、受発注者間の協議により PDF 形式に加えてオリジナル数値データ形式で納品することができる。
ファイルは受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは種別単位に作成する。

【解説・補足】

- 要領(案)表 4 - 3 に示される成果の内、(協議)とされているものについては受発注者間の協議によりファイル形式を取り決めるものとする
- 受発注者間の協議から数値データ、又は CAD データで納品する場合には、以下の点に留意すること。
 - データを表示、印刷および後続作業の利用を考慮して、データ形式を受発注者間の協議とする。
 - 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ(/OTHERS)に TXT 形式、PDF 形式にて保管すること。
- 計算簿をスキャナでイメージ化する場合には、「4 - 1 - 2 (1) 1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。受発注者間の協議によりオリジナル数値データを納品する場合には、以下の点に留意すること。
 - 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品する。

- ・ 数値データのTXT形式のレコードフォーマットおよびファイル単位について受発注者間の協議とする。
 - ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ（/OTHR）にTXT形式、PDF形式にて保管すること。
- 4) 点の記をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1)アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
 - 5) 精度管理表をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1)アナログ資料のスキャニング」に留意すること

(10) その他

表 4 -43 その他成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
測量機器検定証明書		PDF	/ROSEN/OTHR	ROTJ1nnn.PDF
点検測量簿		PDF	/ROSEN/OTHR	ROTJ2nnn.PDF
ファイル説明書		PDF	/ROSEN/OTHR	ROTJ3nnn.PDF

【運用基準】

- 1) 機器検定証明書、ファイル説明書は、PDF形式で納品する。
- 2) 点検測量簿はPDF形式で納品する。ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 3) 表4-33に記載されていない測量記録、資料については、「その他」サブフォルダに格納することとして、そのファイル形式等は受発注者間の協議により定める。

【解説・補足】

- 1) 機器検定証明書、ファイル説明書をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1)アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 2) 受発注者間の協議からオリジナル数値データファイル等を納品する場合には、レコードフォーマット、ファイル単位および利用方法等の説明文書を電子化したファイルを作成し、「その他」フォルダに格納して納品すること。

4 - 4 - 3 事前協議事項

(1) CAD 等による納品方法

路線測量により作成される成果のうち、以下の図面類は受発注者間の協議により CAD データ形式等の図面データファイルにより納品することができる。

- ・ 線形図
- ・ 線形地形図
- ・ 引照点図
- ・ 縦断面図
- ・ 横断面図
- ・ 詳細平面図
- ・ 詳細縦横断面図
- ・ 杭打図

これらを電子納品する際のデータ形式は PDF 形式を原則とするが、必要に応じて国土交通省公共測量作業規程に規定された DM データファイルや CAD データファイル等により納品することができる。なお、CAD データファイルにより納品する場合、作成ソフトにより情報の再現性が必ずしも担保されないため、PDF 形式のデータファイルも併せて納品することとする。

(2) オリジナルファイル形式での納品方法

路線測量により作成される下記の成果は、受発注者間協議によりオリジナル形式のデータファイルを納品することができる。その場合、次に示す事項をあらかじめ受発注者間で確認しておくこと。

- ・ オリジナルファイルの納品の可否
- ・ オリジナルファイルの形式
- ・ ファイル説明書の有無
- ・ デジタル写真管理情報基準（案）の適用の要否（点の記および測量標の地上写真の場合）

なお、オリジナルファイルの命名則は PDF で納品される他の成果とあわせることが望ましい。

1) 観測手簿、観測記簿

観測手簿および観測記簿は、PDF 形式に加えて測量に用いた機器固有のオリジナル数値データを納品することができる。その場合、データファイルの内容、データ形式等を説明したファイル説明書（PDF 形式）を「その他データ（OTHR）」フォルダに格納する。

2) 点の記

点の記はワープロソフトや表計算ソフト等を用いて作成される場合が多い。従って、PDF 形式に加えて点の記を作成する際に用いたソフトのオリジナル形式で納品することができる。

3) 測量標の地上写真

測量標の地上写真は、受発注者間の協議により PDF 形式または写真帳を作成する際に用いたワープロソフト等のファイル形式で納品することができる。ただし、ワープロソフトの形式は情報の再現性が必ずしも担保されないことから、PDF 形式を併せて納品することが望ましい。

なお、受発注者間協議により測量標の地上写真の納品に「デジタル写真管理情報基準（案）」を適用する場合はこの限りではない。

(3) PDF のファイルとりまとめの単位

観測手簿、観測記簿および計算簿の PDF ファイル作成にあたっては、ファイルのとりまとめ単位を受発注者間の協議により確認する。なお、観測手簿等、枚数の多い成果については利用の便を考慮して 100 枚程度に分割してファイルを作成する。

4 - 5 河川測量

4 - 5 - 1 成果一覧 (フォルダ構成、ファイル形式・命名規則・格納場所)

河川測量の電子納品対象書類は、表 4 - 44に示されるように、多岐に分かれている。電子納品の対象となる各成果は、各々表に示されているファイル形式で作成し、同様に示されている格納フォルダ (図 4 - 14参照) 内に、所定のファイル名称を付けて納めることになっている。

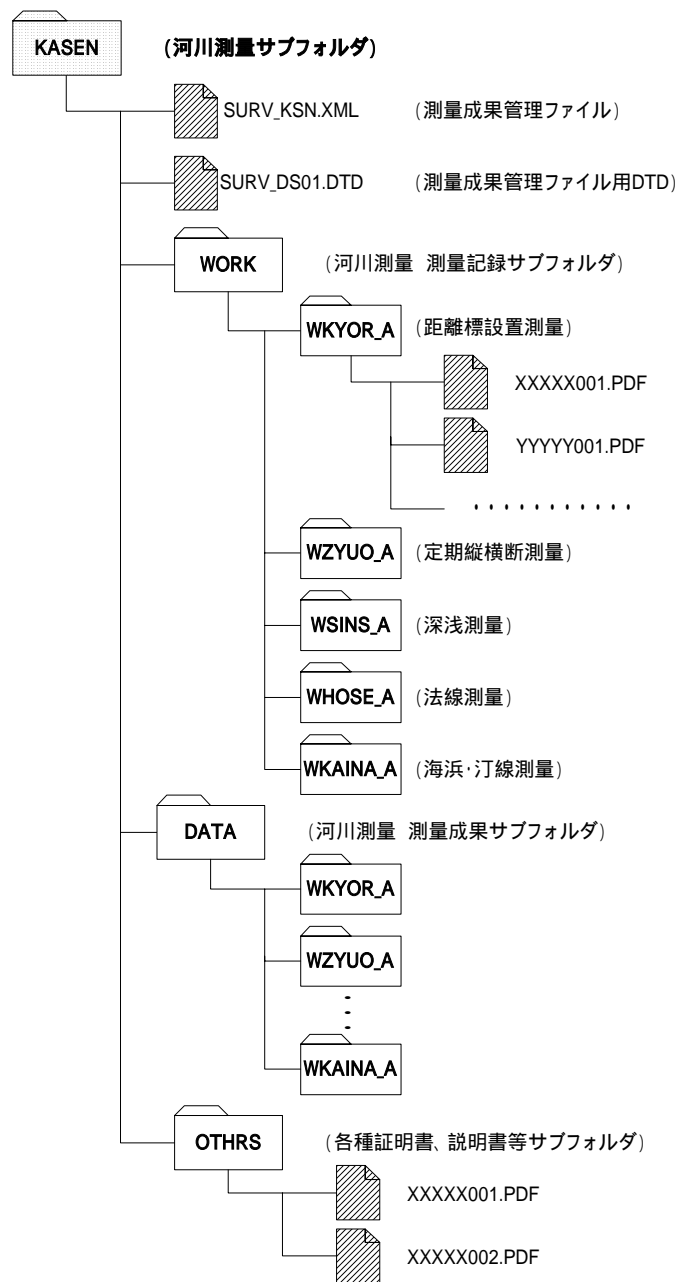


図 4 - 14 河川測量サブフォルダ構成

表 4 -44 河川測量の成果種類

公共測量作業規程による分類		ファイル形式	ファイル命名規則	格納フォルダ名	備考
測量細分類	成果等の名称				
距離標設置測量	成果表	PDF	WK*A1nnn.PDF	/KASEN/DATA/ WKYOR_*	
	成果表(数値データ)	TXT	WK*A2nnn.TXT	/KASEN/DATA/ WKYOR_*	
	点の記	PDF	WK*C1nnn.PDF	/KASEN/DATA/ WKYOR_*	協議によりオリジナルデータも可
	距離標位置情報整理表	PDF	WK*A3nnn.PDF	/KASEN/DATA/ WKYOR_*	協議によりオリジナルデータも可
	観測手簿	PDF	WK*D1nnn.PDF	/KASEN/WORK/ WKYOR_*	
	観測手簿(数値データ)	PDF	WK*D2nnn.PDF	/KASEN/WORK/ WKYOR_*	
	計算簿	PDF	WK*E1nnn.PDF	/KASEN/WORK/ WKYOR_*	
	精度管理表	PDF	WK*G1nnn.PDF	/KASEN/WORK/ WKYOR_*	
水準基標測量	成果表	PDF	WK*A4nnn.PDF	/KASEN/DATA/ WKYOR_*	
	成果表(数値データ)	TXT	WK*A5nnn.TXT	/KASEN/DATA/ WKYOR_*	
	水準路線図	PDF	WK*F1nnn.PDF	/KASEN/WORK/ WKYOR_*	ガイドライン追記
	平均図	PDF	WK*F2nnn.PDF	/KASEN/WORK/ WKYOR_*	ガイドライン追記
	点の記	PDF	WK*C2nnn.PDF	/KASEN/DATA/ WKYOR_*	協議によりオリジナルデータも可
	観測手簿	PDF	WK*D3nnn.PDF	/KASEN/WORK/ WKYOR_*	
	観測手簿(数値データ)	PDF	WK*D4nnn.PDF	/KASEN/WORK/ WKYOR_*	
	計算簿	PDF	WK*E2nnn.PDF	/KASEN/WORK/ WKYOR_*	
	精度管理表	PDF	WK*G2nnn.PDF	/KASEN/WORK/ WKYOR_*	

公共測量作業規程による分類		ファイル形式	ファイル命名規則	格納フォルダ名	備考
測量細分類	成果等の名称				
定期縦断測量	測量成果整理表	PDF	WZ*A1nnn.PDF	/KASEN/DATA/ WZYUO_*	
	測量成果(数値データ)	TXT	WZ*A2nnn.TXT	/KASEN/DATA/ WZYUO_*	
	水準路線図	PDF	WZ*F1nnn.PDF	/KASEN/WORK/ WZYUO_*	ガイドライン追記
	平均図	PDF	WZ*F2nnn.PDF	/KASEN/WORK/ WZYUO_*	ガイドライン追記
	縦断面図	(協議)	WZ*B1nnn.XXX	/KASEN/DATA/ WZYUO_*	協議によりCADデータ
	観測手簿	PDF	WZ*D1nnn.PDF	/KASEN/WORK/ WZYUO_*	
	計算簿	PDF	WZ*E1nnn.PDF	/KASEN/WORK/ WZYUO_*	ガイドライン追記
	精度管理表	PDF	WZ*G1nnn.PDF	/KASEN/WORK/ WZYUO_*	
	業務報告書	PDF	WZ*H1nnn.PDF	/KASEN/WORK/ WZYUO_*	
定期横断測量	測量成果整理表	PDF	WZ*A3nnn.PDF	/KASEN/DATA/ WZYUO_*	
	測量成果(数値データ)	TXT	WZ*A4nnn.TXT	/KASEN/DATA/ WZYUO_*	
	横断面図	(協議)	WZ*B2nnn.XXX	/KASEN/DATA/ WZYUO_*	協議によりCADデータ
	観測手簿	PDF	WZ*D2nnn.PDF	/KASEN/WORK/ WZYUO_*	
	精度管理表	PDF	WZ*G2nnn.PDF	/KASEN/WORK/ WZYUO_*	
	業務報告書	PDF	WZ*H2nnn.PDF	/KASEN/WORK/ WZYUO_*	
深浅測量	横断面図	(協議)	WS*B1nnn.XXX	/KASEN/DATA/ WSINS_*	協議によりCADデータ
	記録紙	対象外			
	観測手簿	PDF	WS*D1nnn.PDF	/KASEN/WORK/ WSINS_*	
法線測量	線形図	(協議)	WH*B1nnn.XXX	/KASEN/DATA/ WHOSE_*	協議によりCADデータ
	観測手簿	PDF	WH*D1nnn.PDF	/KASEN/WORK/ WHOSE_*	
	計算簿	PDF	WH*E1nnn.PDF	/KASEN/WORK/ WHOSE_*	

公共測量作業規程による分類		ファイル形式	ファイル命名規則	格納フォルダ名	備考
測量細分類	成果等の名称				
	精度管理表	PDF	WH*G1nnn.PDF	/KASEN/WORK/ WHOSE_*	
海浜測量	等高・等深線図	(協議)	WT*B1nnn.XXX	/KASEN/DATA/ WKA I NA_*	協議により CAD データ
	観測手簿	PDF	WT*D1nnn.PDF	/KASEN/WORK/ WKA I NA_*	
	観測手簿(数値データ)	オリジナル	WT*D2nnn.XXX	/KASEN/WORK/ WKA I NA_*	
	計算簿	PDF	WT*E1nnn.PDF	/KASEN/WORK/ WKA I NA_*	
	精度管理表	PDF	WT*G1nnn.PDF	/KASEN/WORK/ WKA I NA_*	
汀線測量	汀線図	(協議)	WT*B2nnn.XXX	/KASEN/DATA/ WKA I NA_*	協議により CAD データ
	観測手簿	PDF	WT*D3nnn.PDF	/KASEN/WORK/ WKA I NA_*	
	観測手簿(数値データ)	オリジナル	WT*D4nnn.XXX	/KASEN/WORK/ WKA I NA_*	
	計算簿	PDF	WT*E2nnn.PDF	/KASEN/WORK/ WKA I NA_*	
その他	測量機器検定証明書	PDF	WOTJ1nnn.PDF	/KASEN/OTHR	
	点検測量簿	PDF	WOTJ2nnn.PDF	/KASEN/OTHR	
	ファイル説明書	PDF	WOTJ3nnn.PDF	/KASEN/OTHR	

4 - 5 - 2 成果ファイル解説・補足

河川測量の成果は、表 4 -44に示されるファイルの形式によって成果ファイルを作成するものとする。具体的方法は運用基準によるものとする。

(1) 距離標設置測量

表 4 -45 距離標設置測量成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
成果表		PDF	/KASEN/DATA/WKYOR_*	WK*A1nnn.PDF
成果表(数値データ)		TXT	/KASEN/DATA/WKYOR_*	WK*A2nnn.TXT
点の記		PDF	/KASEN/DATA/WKYOR_*	WK*C1nnn.XXX
距離標位置情報整理表		PDF	/KASEN/DATA/WKYOR_*	WK*A3nnn.XXX
観測手簿		PDF	/KASEN/WORK/WKYOR_*	WK*D1nnn.PDF
計算簿		PDF	/KASEN/WORK/WKYOR_*	WK*E1nnn.PDF
精度管理表		PDF	/KASEN/WORK/WKYOR_*	WK*G1nnn.PDF

【運用基準】

- 1) 成果表は、PDF 形式で納品するほか、数値データを TXT 形式で納品する。
- 2) 点の記は、PDF 形式で納品する。また、受発注者間で協議により PDF 形式に加えて当該数値データをオリジナルデータ形式で納品することができる。
- 3) 距離標位置情報整理表は、PDF 形式で納品する。また、受発注者間で協議し PDF 形式に加えてオリジナルデータを納品することができる。ファイルは種別単位にまとめる。
- 4) 観測手簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは受発注者間で協議し適当な単位でまとめて作成する。枚数が多い場合は、1 ファイルが 100 枚程度になるように分割して整理する。
- 5) 計算簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは受発注者間で協議し適当な単位でまとめて作成する。
- 6) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは種別単位に作成する。

【解説・補足】

- 1) 成果表(数値データ)のフォーマット仕様は、要領(案)にある仕様に従うこと。
成果表は、スキャナでイメージ化する場合には、「4 - 1 - 2 (1) 1) アナ

ログ資料のスキヤニング」に留意すること。

- 2) 点の記は、以下の点に留意すること。
 - ・ スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキヤニング」に留意すること。
 - 受発注者間の協議によりオリジナル数値データを納品する場合には、以下の点に留意する。
 - ・ 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品する。また、ワープロ又は表計算ソフトからファイルすることも可能である。
 - ・ 数値データのレコードフォーマットおよびファイル単位について受発注者間の協議とする。
 - ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ (/OTHERS) に TXT 形式、PDF 形式にて保管すること。
- 3) 距離標位置情報整理表は、「河川定期縦横断測量実施要領・同解説」参考資料様式(様式例 3-1・3-2・3-3)を参照し、以下の点に留意すること。
 - ・ スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキヤニング」に留意すること。
- 4) 受発注者間の協議によりオリジナル数値データを納品する場合には、以下の点に留意する。
 - ・ 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品する。また、ワープロ又は表計算ソフトからファイルすることも可能である。
 - ・ 数値データのレコードフォーマットおよびファイル単位について受発注者間の協議とする。
 - ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ (/OTHERS) に TXT 形式、PDF 形式にて保管すること。
- 5) 観測手簿は、以下の点に留意すること。
 - ・ スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキヤニング」に留意すること。
- 6) 受発注者間の協議によりオリジナル数値データを納品する場合には、以下の点に留意する。
 - ・ 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品する。また、ワープロ又は表計算ソフトからファイルすることも可能である。
 - ・ 数値データのレコードフォーマットおよびファイル単位について受発注者間の協議とする。
 - ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ (/OTHERS) に TXT 形式、PDF 形式にて保管すること。

- 7) 計算簿をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 8) 精度管理表をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。

(2) 水準基標測量

表 4-46 水準基標測量成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
成果表		PDF	/KASEN/DATA/WKYOR_*	WK*A4nnn.PDF
成果表(数値データ)		TXT	/KASEN/DATA/WKYOR_*	WK*A5nnn.TXT
水準路線図		PDF	/ROSEN/WORK/RZYOU_*	RZ*F1nnn.PDF
平均図		PDF	/ROSEN/WORK/RZYOU_*	RZ*F2nnn.PDF
点の記		PDF	/KASEN/DATA/WKYOR_*	WK*C2nnn.PDF
観測手簿		PDF	/KASEN/WORK/WKYOR_*	WK*D1nnn.PDF
計算簿		PDF	/KASEN/WORK/WKYOR_*	WK*E1nnn.PDF
精度管理表		PDF	/KASEN/WORK/WKYOR_*	WK*G2nnn.PDF

【運用基準】

- 1) 成果表は、PDF 形式で納品するほか、数値データを TXT 形式で納品する。
- 2) 水準路線図、平均図を作成した場合は、PDF 形式で納品する。また、受発注者間の協議により数値データ、又は CAD データで納品することができる。その場合、PDF 形式の成果については、受発注者間の協議により、納品の有無を決めることが出来る。なお、ファイルは、図単位で作成する。
- 3) 点の記は、PDF 形式で納品する。また、受発注者間で協議により PDF 形式に加えて当該数値データをオリジナルデータ形式で納品することができる。
- 4) 観測手簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは受発注者間で協議し適当な単位でまとめて作成する。枚数が多い場合は、1 ファイルが 100 枚程度になるように分割して整理する。
- 5) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは種別単位に作成する。

【解説・補足】

- 1) 成果表(数値データ)のフォーマット仕様は、要領(案)にある仕様に従うこと。スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 2) 水準路線図、平均図は、以下の点に留意すること。

- ・ スキャナでイメージ化する場合には、「4 - 1 - 2 (1) 1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
 - ・ ファイルは図単位又は図の種別単位で作成するものとする
更に、受発注者間の協議から数値データ、又はCAD データで納品する場合には、以下の点に留意すること。
 - ・ データを表示、印刷および後続作業の利用を考慮して、データ形式を受発注者間の協議とする。
 - ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ (/OTHR) に TXT 形式、PDF 形式にて保管すること。
- 3) 点の記は、以下の点に留意すること。
- ・ スキャナでイメージ化する場合には、「4 - 1 - 2 (1) 1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 4) 受発注者間の協議により点の記(オリジナル数値データ)を納品する場合には、以下の点に留意する。
- ・ 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品する。また、ワープロ又は表計算ソフトからファイルすることも可能である。
 - ・ 数値データのレコードフォーマットおよびファイル単位について受発注者間の協議とする。
 - ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ (/OTHR) に TXT 形式、PDF 形式にて保管すること。
- 5) 観測手簿は、以下の点に留意すること。
- ・ スキャナでイメージ化する場合には、「4 - 1 - 2 (1) 1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 6) 受発注者間の協議により観測手簿(オリジナル数値データ)を納品する場合には、以下の点に留意する。
- ・ 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品する。また、ワープロ又は表計算ソフトからファイルすることも可能である。
 - ・ 数値データのレコードフォーマットおよびファイル単位について受発注者間の協議とする。
 - ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ (/OTHR) に TXT 形式、PDF 形式にて保管すること。
- 7) 計算簿をスキャナでイメージ化する場合には、「4 - 1 - 2 (1) 1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 8) 精度管理表をスキャナでイメージ化する場合には、「4 - 1 - 2 (1) 1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。

(3) 定期縦断測量

表 4 -47 定期縦断測量成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
測量成果整理表		PDF	/KASEN/DATA/WZYUO_*	WZ*A1nnn.PDF
成果表(数値データ)		TXT	/KASEN/DATA/WZYUO_*	WZ*A2nnn.TXT
水準路線図		PDF	/KASEN/WORK/WZYUO_*	WZ*F1nnn.PDF
平均図		PDF	/KASEN/WORK/WZYUO_*	WZ*F2nnn.PDF
縦断面図		(協議)	/KASEN/DATA/WZYUO_*	WZ*B1nnn.XXX
観測手簿		PDF	/KASEN/WORK/WZYUO_*	WZ*D1nnn.PDF
計算簿		PDF	/KASEN/WORK/WZYUO_*	WZ*E1nnn.PDF
精度管理表		PDF	/KASEN/WORK/WZYUO_*	WZ*G1nnn.PDF
業務報告書		PDF	/KASEN/WORK/WZYUO_*	WZ*H1nnn.PDF

【運用基準】

- 1) 業務報告書(業務概要)は、PDF 形式で納品する。
- 2) 縦断測量成果整理表は、PDF 形式で納品するとともに、当該数値データをオリジナル形式で納品する。成果整理表の各形式のファイルは、種別単位にまとめて作成する。枚数の多い PDF ファイルは、概ね 100 枚程度毎にファイルを分割して整理する。
- 3) 縦断測量成果(数値データ)は、「河川定期縦横断測量実施要領・同解説」で定められた仕様で作成し、TXT 形式で納品する。縦断測量成果(数値データ)は、測線毎に 1 ファイルとして整理する。
- 4) 水準路線図、平均図を作成した場合は、PDF 形式で納品する。また、受発注者間の協議により数値データ、又は CAD データで納品することができる。その場合、PDF 形式の成果については、受発注者間の協議により、納品の有無を決めることができる。なお、ファイルは、図単位で作成する。
- 5) 縦断面図を CAD で作成した場合は、その数値データを納品することとし、フォーマット形式やファイル作成単位については受発注者間で協議して定める。
- 6) 観測手簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは受発注者間で協議し適当な単位でまとめて作成する。枚数が多い場合は、1 ファイルが 100 枚程度になるように分割して整理する。
- 7) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは種別単位に整理する。

【解説・補足】

- 1) 河川従断測量の業務報告書は、スキャナでイメージ化する場合には、「4 - 1 - 2 (1) 1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 2) 縦断測量成果整理表は、「河川定期縦横断測量実施要領・同解説」参考資料様式（様式例 1-1・1-2）を参照し、以下の点に留意すること。
 - ・スキャナでイメージ化する場合には、「4 - 1 - 2 (1) 1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 3) 受発注者間の協議により縦断測量成果整理表(オリジナル数値データ)を納品する場合には、以下の点に留意する。
 - ・数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品する。また、ワープロ又は表計算ソフトからファイルすることも可能である。
 - ・数値データのレコードフォーマットおよびファイル単位について受発注者間の協議とする。
 - ・後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ（/OTHERS）に TXT 形式、PDF 形式にて保管すること。
- 4) 縦断測量成果（数値データ）は、「河川定期縦横断測量実施要領・同解説」 「7. 縦横断成果」の FD 入力要領を参照し TXT 形式で納品する。
- 5) 縦断図は、以下の点に留意すること。
 - ・スキャナでイメージ化する場合には、「4 - 1 - 2 (1) 1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 6) 受発注者間の協議から縦断図を数値データ、又は CAD データで納品する場合には、以下の点に留意すること。
 - ・データを表示、印刷および後続作業の利用を考慮して、データ形式を受発注者間の協議とする。
 - ・後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ（/OTHERS）に TXT 形式、PDF 形式にて保管すること。
- 7) 観測手簿は、スキャナでイメージ化する場合には、「4 - 1 - 2 (1) 1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 8) 精度管理表をスキャナでイメージ化する場合には、「4 - 1 - 2 (1) 1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。

(4) 定期横断測量

表 4 - 48 定期横断測量成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
測量成果整理表		PDF	/KASEN/DATA/WZYUO_*	WZ*A3nnn.PDF
成果表(数値データ)		TXT	/KASEN/DATA/WZYUO_*	WZ*A4nnn.TXT
横断面図		(協議)	/KASEN/DATA/WZYUO_*	WZ*B2nnn.XXX
観測手簿		PDF	/KASEN/WORK/WZYUO_*	WZ*D2nnn.PDF
精度管理表		PDF	/KASEN/WORK/WZYUO_*	WZ*G2nnn.PDF
業務報告書		PDF	/KASEN/WORK/WZYUO_*	WZ*H2nnn.PDF

【運用基準】

- 1) 業務報告書は、PDF 形式で納品する。定期縦横断測量として縦断測量および横断測量が一体として行われた場合には 1 つにまとめて整理する。(DOC フォルダに格納する)。
- 2) 横断測量成果整理表は、PDF 形式で納品するとともに、当該数値データをオリジナル形式で納品する。成果整理表の各形式ファイルは、種別単位にまとめて作成する。枚数の多い PDF ファイルは、概ね 100 枚程度毎にファイルを分割して整理する。
- 3) 横断測量成果(数値データ)は、「河川定期縦横断測量実施要領・同解説」で定められた仕様で作成し、TXT 形式で納品する。横断測量成果(数値データ)は、測線毎に 1 ファイルとして整理する。
- 4) 横断面図をCADで作成する場合は、その数値データを納品することとし、フォーマット形式やファイル作成単位については受発注者間で協議して定める。
- 5) 観測手簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは受発注者間で協議し適当な単位でまとめて作成する。枚数が多い場合は、1 ファイルが 100 枚程度になるように分割して整理する。
- 6) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは、種別単位に整理する。
- 7) このほか、構造物周辺の縦横断測量を行った場合の成果の電子化は、定期縦断測量および定期横断測量の場合に準じて行うこととし、測線位置平面図を作成する場合は PDF 形式で納品する。構造物周辺の縦横断測量の成果については、これ以外の定期縦横断測量と区別しやすいようにファイル名を付けたり(定期縦横断測量での同種の成果が A1 および A2 であれば A3 を付与するなど)、ファイル副題に明示するなど、納品法については受発注者間で協議して定める。

【解説・補足】

- 1) 河川横断測量の業務報告書は、スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 2) 横断測量成果整理表は、「河川定期縦横断測量実施要領・同解説」参考資料様式(様式例2-1・2-2)を参照し、以下の点に留意すること。
 - ・スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
 - 受発注者間の協議によりオリジナル数値データを納品する場合には、以下の点に留意する。
 - ・数値データの互換性を考慮して、TXT形式で納品する。また、ワープロ又は表計算ソフトからファイルすることも可能である。
 - ・数値データのレコードフォーマットおよびファイル単位について受発注者間の協議とする。
 - ・後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ(/OTHERS)にTXT形式、PDF形式にて保管すること。
- 3) 横断測量成果(数値データ)は、「河川定期縦横断測量実施要領・同解説」「7. 縦横断成果」のFD入力要領を参照しTXT形式で納品する。
- 4) 横断図は、以下の点に留意すること。
 - ・スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
 - ・受発注者間の協議から数値データ、又はCADデータで納品する場合には、以下の点に留意すること。
 - ・データを表示、印刷および後続作業の利用を考慮して、データ形式を受発注者間の協議とする。
 - ・後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ(/OTHERS)にTXT形式、PDF形式にて保管すること。
- 5) 観測手簿は、スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 6) 精度管理表をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 7) その他構造物周辺の縦横断測量の成果は定期縦横断測量に準じて行うとする。
- 8) 測線位置平面図はスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。

(5) 深浅測量

表 4 - 49 深浅測量成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
横断面図		(協議)	/KASEN/DATA/WSINS_*	WS*B1nnn.XXX
記録紙		対象外		
観測手簿		PDF	/KASEN/WORK/WSINS_*	WS*D1nnn.PDF

【運用基準】

- 1) 横断面図を CAD で作成する場合には、その数値データを納品することとし、フォーマット形式やファイル作成単位については受発注者間で協議して定める。
- 2) 観測手簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは受発注者間で協議し適当な単位でまとめて作成する。枚数が多い場合は、1 ファイルが 100 枚程度になるように分割して整理する。

【解説・補足】

- 1) 横断面図は、以下の点に留意すること。
 - ・ スキャナでイメージ化する場合には、「4 - 1 - 2 (1) 1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
 - ・ ダムに関わる業務に於いては、河川測量 - 深浅測量の横断面図は数値データで納品すること。
- 2) 受発注者間の協議から横断面図を数値データ、又は CAD データで納品する場合には、以下の点に留意すること。
 - ・ データを表示、印刷および後続作業の利用を考慮して、データ形式を受発注者間の協議とする。
 - ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ (/OTHR) に TXT 形式、PDF 形式にて保管すること。
- 3) 観測手簿は、スキャナでイメージ化する場合には、「4 - 1 - 2 (1) 1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。

(6) 法線測量

表 4 -50 法線測量成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
線形図		(協議)	/KASEN/DATA/WHOSE_*	WH*B1nnn.XXX
観測手簿		PDF	/KASEN/WORK/WHOSE_*	WH*D1nnn.PDF
計算簿		PDF	/KASEN/WORK/WHOSE_*	WH*E1nnn.PDF
精度管理表		PDF	/KASEN/WORK/WHOSE_*	WH*G1nnn.PDF

【運用基準】

- 1) 線形図を CAD で作成する場合は、その数値データを納品することとし、フォーマット形式ファイル作成単位については受発注者間で協議して定める。
- 2) 観測手簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは受発注者間で協議し適当な単位でまとめて作成する。枚数が多い場合は、1 ファイルが 100 枚程度になるように分割して整理する。
- 3) 計算簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは受発注者間で協議し適当な単位でまとめて作成する。
- 4) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは種別単位に作成する。

【解説・補足】

- 1) 線形図は、以下の点に留意すること。
 - ・ スキャナでイメージ化する場合には、「4 - 1 - 2 (1) 1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 2) 受発注者間の協議から線形図を数値データ、又は CAD データで納品する場合には、以下の点に留意すること。
 - ・ データを表示、印刷および後続作業の利用を考慮して、データ形式を受発注者間の協議とする。
 - ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ (/OTHR) に TXT 形式、PDF 形式にて保管すること。
- 3) 観測手簿は、スキャナでイメージ化する場合には、「4 - 1 - 2 (1) 1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 4) 計算簿は、スキャナでイメージ化する場合には、「4 - 1 - 2 (1) 1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 5) 精度管理表は、スキャナでイメージ化する場合には、「4 - 1 - 2 (1) 1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。

(7) 海浜測量

表 4 - 51 海浜測量成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
等高・等深線図		(協議)	/KASEN/DATA/WKAINA_*	WT*B1nnn.XXX
観測手簿		PDF	/KASEN/WORK/WKAINA_*	WT*D1nnn.PDF
観測手簿(数値データ)		オリジナル	/KASEN/WORK/WKAINA_*	WT*D2nnn.XXX
計算簿		PDF	/KASEN/WORK/WKAINA_*	WT*E1nnn.PDF
精度管理表		PDF	/KASEN/WORK/WKAINA_*	WT*G1nnn.PDF

【運用基準】

- 1) 等高・等深線図を CAD で作成する場合は、その数値データを納品することとし、フォーマット形式やファイル作成単位については受発注者間で協議して定める。
- 2) 観測手簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは受発注間で協議し適当な単位でまとめて作成する。枚数が多い場合は、1 ファイルが 100 枚程度になるように分割して整理する。
- 3) 計算簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは受発注者間で協議し適当な単位でまとめて作成する。
- 4) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは種別単位に作成する。

【解説・補足】

- 1) 等高・等深線図は、以下の点に留意すること。
 - ・ スキャナでイメージ化する場合には、「4 - 1 - 2 (1) 1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 2) 受発注者間の協議から等高・等深線図を数値データ、又は CAD データで納品する場合には、以下の点に留意すること。
 - ・ データを表示、印刷および後続作業の利用を考慮して、データ形式を受発注者間の協議とする。
 - ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ (/OTHR) に TXT 形式、PDF 形式にて保管すること。
- 3) 観測手簿は、以下の点に留意すること。
 - ・ スキャナでイメージ化する場合には、「4 - 1 - 2 (1) 1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。

- 4) 受発注者間の協議により観測手簿をオリジナル数値データで納品する場合には、以下の点に留意する。
 - ・ 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品する。また、ワープロ又は表計算ソフトからファイルすることも可能である。
 - ・ 数値データのレコードフォーマットおよびファイル単位について受発注者間の協議とする。
 - ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ（/OTHERS）に TXT 形式、PDF 形式にて保管すること。
- 5) 計算簿は、スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 6) 精度管理表は、スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること

(8) 汀線測量

表 4-52 汀線測量成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
汀線図		(協議)	/KASEN/DATA/WKA1NA_*	WT*B2nnn.XXX
観測手簿		PDF	/KASEN/WORK/WKA1NA_*	WT*D3nnn.PDF
観測手簿(数値データ)		オリジナル	/KASEN/WORK/WKA1NA_*	WT*D4nnn.XXX
計算簿		PDF	/KASEN/WORK/WKA1NA_*	WT*E2nnn.PDF

【運用基準】

- 1) 汀線図を CAD で作成する場合は、その数値データを納品することとし、フォーマット形式やファイル作成単位については受発注者間で協議して定める。
- 2) 観測手簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは受発注者間で協議し適当な単位でまとめて作成する。枚数が多い場合は、1 ファイルが 100 枚程度になるように分割して整理する。

【解説・補足】

- 1) 汀線図は、以下の点に留意すること。
 - ・ スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 2) 受発注者間の協議から汀線図を数値データ、又は CAD データで納品する場合

- には、以下の点に留意すること。
- ・ データを表示、印刷および後続作業の利用を考慮して、データ形式を受発注者間の協議とする。
 - ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ（/OTHERS）に TXT 形式、PDF 形式にて保管すること。
- 3) 観測手簿は、以下の点に留意すること。
- ・ スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 4) 受発注者間の協議により観測手簿をオリジナル数値データで納品する場合には、以下の点に留意する。
- ・ 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品する。また、ワープロ又は表計算ソフトからファイルすることも可能である。
 - ・ 数値データのレコードフォーマットおよびファイル単位について受発注者間の協議とする。
 - ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ（/OTHERS）に TXT 形式、PDF 形式にて保管すること。
- 5) 計算簿は、スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 6) 精度管理表は、スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。

(9) その他

表 4 -53 その他成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
測量機械検定証明書		PDF	/KASEN/OTHERS	WOTJ1nnn.PDF
点検測量簿		PDF	/KASEN/OTHERS	WOTJ2nnn.PDF
ファイル説明書		PDF	/KASEN/OTHERS	WOTJ3nnn.PDF

【運用基準】

- 1) 機器検定証明書、ファイル説明書は、PDF 形式で納品する。
- 2) 点検測量簿は PDF 形式で納品する。
ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 3) 表 4 -44に記載されていない測量記録、資料については、「その他」サブフォル

ダに格納することとして、そのファイル形式等は受発注者間の協議により定める。

【解説・補足】

- 1) 機器検定証明書、ファイル説明書をスキャナでイメージ化するには、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 2) 点検測量簿は、スキャナでイメージ化するには、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 3) 表4-44に記載されていない測量記録および資料等をスキャナでイメージ化するには、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
 - ・ファイル単位は受発注者間の協議とする。
 - ・受発注者間の協議から電子化しないものは紙のまま納品する。

(共通事項)

オリジナルファイル、拡張したファイル等では、必要に応じてファイル形式、レコードフォーマット等について説明したファイル説明文書の電子ファイルを作成し、OTHR5 フォルダに格納して納品する。

4-5-3 事前協議事項

(1) CAD 等による納品方法

河川測量により作成される成果のうち、以下の図面類は受発注者間の協議により CAD データ形式等の図面データファイルにより納品することができる。

- ・ 縦断面図
- ・ 横断面図
- ・ 線形図
- ・ 等高・等深線図
- ・ 汀線図

これらを電子納品する際のデータ形式は PDF を原則とするが、必要に応じて国土交通省公共測量作業規程に規定された DM データファイルや CAD データファイル等により納品することができる。なお、CAD データファイルにより納品する場合、作成ソフトにより情報の再現性が必ずしも担保されないため、PDF 形式のデータファイルも併せて納品することとする。

(2) オリジナルファイル形式での納品方法

河川測量により作成される下記の成果は、受発注者間協議によりオリジナル形式のデータファイルを納品することができる。その場合、次に示す事項をあらかじめ受発注者間で確認しておくこと。

- ・ オリジナルファイルの納品の可否
- ・ オリジナルファイルの形式
- ・ ファイル説明書の有無

1) 観測手簿

観測手簿は、PDF 形式に加えて測量に用いた機器固有のオリジナル数値データを納品することができる。その場合、データファイルの内容、データ形式等を説明したファイル説明書（PDF 形式）を「その他データ（OTHERS）」フォルダに格納する。

2) 点の記

点の記はワープロソフトや表計算ソフト等を用いて作成される場合が多い。従って、PDF 形式に加えて点の記を作成する際に用いたソフトのオリジナル形式で納品することができる。

(3) PDFのファイルとりまとめの単位

観測手簿および計算簿のPDFファイル作成にあたっては、ファイルのとりまとめ単位を受発注者間の協議により確認する。なお、観測手簿等、枚数の多い成果については利用の便を考慮して100枚程度に分割してファイルを作成する。

(4) 電子納品対象外の成果の扱い

「記録紙」は原則として電子納品の対象外とする。ただし、受発注者間の協議により電子納品する場合はファイル形式およびファイル名を協議により決定する。

4 - 6 用地測量

4 - 6 - 1 成果一覧 (フォルダ構成、ファイル形式・命名則・格納場所)

用地測量の電子納品対象書類は、表 4 - 54に示されるように、多岐に分かれている。電子納品の対象となる各成果は、各々表に示されているファイル形式で作成し、同様に示されている格納フォルダ (図 4 - 15参照) 内に、所定のファイル名称を付けて納めることになっている。

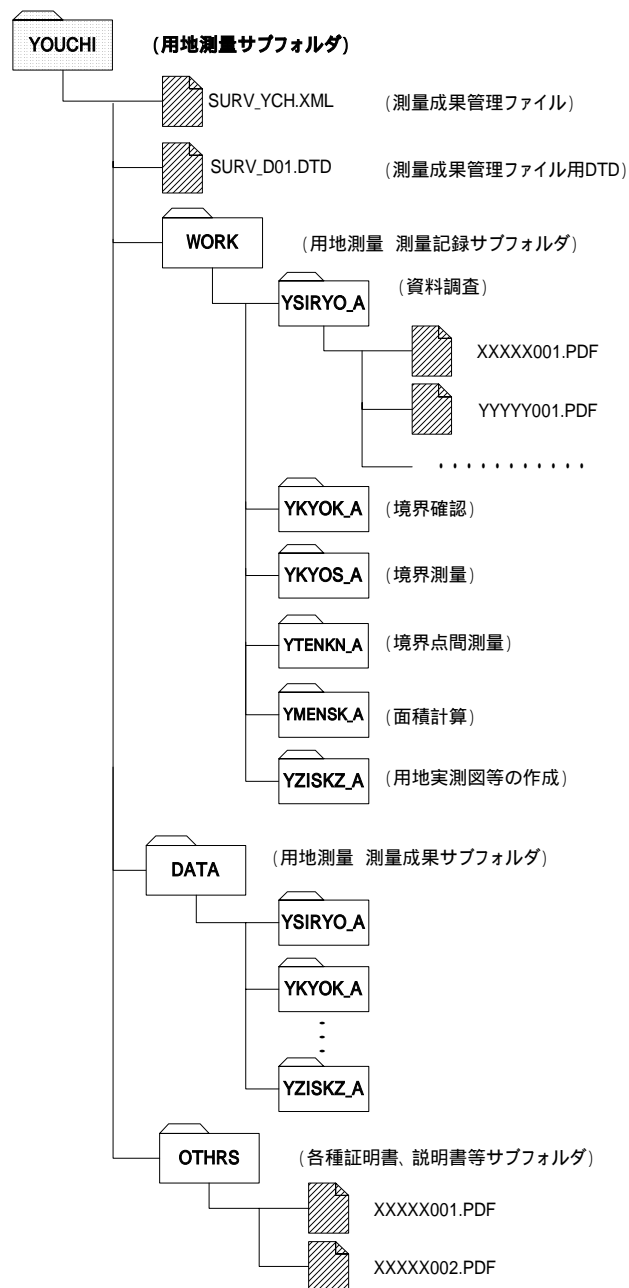


図 4 - 15 用地測量サブフォルダ構成

表 4 -54 用地測量の成果種類

公共測量作業規程による分類		ファイル形式	ファイル命名規則	格納フォルダ名	備考
測量細分類	成果等の名称				
資料調査	公図等転写図	(対象外)			
	公図等転写連続図	(協議による)	YS*F1nnn.XXX	/YOUCHI/WORK/ YSIRYO_*	協議により CAD データ
	土地調査表	PDF	YS*H1nnn.PDF	/YOUCHI/WORK/ YSIRYO_*	協議によりオリジナルデータも可
	建物登記簿調査表	PDF	YS*G1nnn.PDF	/YOUCHI/WORK/ YSIRYO_*	協議によりオリジナルデータも可
	地積測量図転写図	PDF	YS*F2nnn.PDF	/YOUCHI/WORK/ YSIRYO_*	
	権利者調査表	PDF	YS*H2nnn.PDF	/YOUCHI/WORK/ YSIRYO_*	協議によりオリジナルデータも可
復元測量	復元箇所位置図	(協議による)	YK*B1nnn.XXX	/YOUCHI/DATA/ YKYOK_*	協議により CAD データ
	観測手簿	PDF	YK*D1nnn.PDF	/YOUCHI/WORK/ YKYOK_*	
境界確認	土地境界立会確認書	PDF	YK*H1nnn.PDF	/YOUCHI/WORK/ YKYOK_*	
境界測量	成果表	PDF	YY*A1nnn.PDF	/YOUCHI/DATA/ YKYOS_*	
	成果表(数値データ)	TXT	YY*A2nnn.TXT	/YOUCHI/DATA/ YKYOS_*	
	観測手簿	PDF	YY*D1nnn.PDF	/YOUCHI/WORK/ YKYOS_*	
	観測手簿(数値データ)	オリジナル	YY*D2nnn.XXX	/YOUCHI/WORK/ YKYOS_*	
	測量計算簿等	PDF	YY*E1nnn.PDF	/YOUCHI/WORK/ YKYOS_*	
補助基準点の設置	成果表	PDF	YY*A3nnn.PDF	/YOUCHI/DATA/ YKYOS_*	
	成果表(数値データ)	TXT	YY*A4nnn.TXT	/YOUCHI/DATA/ YKYOS_*	
	基準点網図	PDF	YY*F1nnn.PDF	/YOUCHI/WORK/ YKYOS_*	協議により CAD データ
	観測手簿	PDF	YY*D3nnn.PDF	/YOUCHI/WORK/ YKYOS_*	
	観測手簿(数値データ)	オリジナル	YY*D4nnn.XXX	/YOUCHI/WORK/ YKYOS_*	
	計算簿	PDF	YY*E2nnn.PDF	/YOUCHI/WORK/ YKYOS_*	

公共測量作業規程による分類		ファイル形式	ファイル命名規則	格納フォルダ名	備考
測量細分類	成果等の名称				
	精度管理表	PDF	YY*G1nnn.PDF	/YOUCHI/WORK/YKYOS_*	
用地境界仮杭設置	設置箇所位置図	(協議による)	YY*B1nnn.XXX	/YOUCHI/DATA/YKYOS_*	協議により CAD データ
	成果表	PDF	YY*A5nnn.PDF	/YOUCHI/DATA/YKYOS_*	
	成果表(数値データ)	TXT	YY*A6nnn.TXT	/YOUCHI/DATA/YKYOS_*	
	計算簿	PDF	YY*E3nnn.PDF	/YOUCHI/WORK/YKYOS_*	
	精度管理表	PDF	YY*G2nnn.PDF	/YOUCHI/WORK/YKYOS_*	
用地境界杭設置	設置箇所位置図	(協議による)	YY*B2nnn.XXX	/YOUCHI/DATA/YKYOS_*	協議により CAD データ
	成果表	PDF	YY*A7nnn.PDF	/YOUCHI/DATA/YKYOS_*	
	成果表(数値データ)	TXT	YY*A8nnn.TXT	/YOUCHI/DATA/YKYOS_*	
	計算簿	PDF	YY*E4nnn.PDF	/YOUCHI/WORK/YKYOS_*	
境界点間測量	精度管理表	PDF	YT*G1nnn.PDF	/YOUCHI/WORK/YTENKN_*	
	精度管理図	PDF	YT*G2nnn.PDF	/YOUCHI/WORK/YTENKN_*	
面積計算	面積計算書	PDF	YM*A1nnn.PDF	/YOUCHI/DATA/YMENSK_*	
	面積計算書(数値データ)	TXT	YM*A2nnn.TXT	/YOUCHI/DATA/YMENSK_*	
用地実測図等の作成	用地実測図原図	(対象外)			
	用地実測データ	TXT	YZ*B1nnn.TXT	/YOUCHI/DATA/YZISKZ_*	協議により CAD データ
	用地平面図	(対象外)			
	用地平面データ	TXT	YZ*B2nnn.TXT	/YOUCHI/DATA/YZISKZ_*	協議により CAD データ
	精度管理表	PDF	YZ*G1nnn.PDF	/YOUCHI/WORK/YZISKZ_*	
その他	測量機器検定証明書	PDF	Y0TJ1nnn.PDF	/YOUCHI/OTHR	
	点検測量簿	PDF	Y0TJ2nnn.PDF	/YOUCHI/OTHR	
	ファイル説明書	PDF	Y0TJ3nnn.PDF	/YOUCHI/OTHR	

4 - 6 - 2 成果ファイル解説・補足

用地測量の成果は、表 4 -54に示されるファイルの形式によって成果ファイルを作成するものとする。具体的方法は運用基準によるものとする。

(1) 資料調査

表 4 -55 資料調査成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
公図等転写図		(対象外)	-	-
公図等転写連続図		(協議)	/YOUCHI/WORK/YSIRYO_*	YS*F1nnn.XXX
土地調査表		PDF	/YOUCHI/WORK/YSIRYO_*	YS*H1nnn.PDF
建物登記簿調査票		PDF	/YOUCHI/WORK/YSIRYO_*	YS*G1nnn.PDF
地積測量図転写図		PDF	/YOUCHI/WORK/YSIRYO_*	YS*F2nnn.PDF
権利者調査票		PDF	/YOUCHI/WORK/YSIRYO_*	YS*H2nnn.PDF

【運用基準】

- 1) 公図等転写連続図を CAD で作成する場合は、その数値データを納品することとし、フォーマット形式やファイル作成単位については受発注者間の協議により定める。
- 2) 土地調査表は、PDF 形式で納品する。
ファイルは受発注者間の協議により適当単位でまとめて作成する。
また、受発注者間で協議し PDF 形式に加えてオリジナルデータを納品することができる。
- 3) 建物登記簿調査表は、PDF 形式で納品する。
ファイルは受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
また、受発注者間で協議し PDF 形式に加えてオリジナルデータを納品することができる。
- 4) 地積測量図転写図は、PDF 形式で納品する。
ファイルは受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 5) 権利者調査表は、PDF 形式で納品する。
ファイルは受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
また、受発注者間で協議し PDF 形式に加えてオリジナルデータを納品することができる。

【解説・補足】

- 1) 公図等転写図は、法務局において公図等を透写若しくは複写したものであり、電子処理による生産は当面見込めないため、電子納品の対象外となっている。
- 2) 公図転写連続図は、以下の点に留意すること
 - ・ スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1)アナログ資料のスキヤニング」に留意すること。
 - ・ 各々図の大きさがスキャナの走査範囲より大きい場合は適宜分割して作成する。この場合は、図の縮尺に準じて電子化すること。
 - ・ ファイルは図単位又は図の種別単位で作成するものとする
 - ・ 複数にまたがる場合には、ファイル画面の上部にインデックス(位置関係説明図)を入れることとする。

また、受発注間の協議により数値データ、又はCADデータで納品する場合には、以下の点に留意すること。

- ・ データを表示、印刷および後続作業の利用を考慮して、データ形式を受発注者間の協議とする。
 - ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ(/OTHERS)にTXT形式、PDF形式にて保管する。
- 3) 土地調査表は、以下の点に留意すること。
 - ・ スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1)アナログ資料のスキヤニング」に留意すること。

受発注者間の協議によりオリジナル数値データを納品する場合には、以下の点に留意すること。

- ・ 数値データの互換性を考慮して、TXT形式で納品する。
 - ・ 数値データのTXT形式のレコードフォーマットおよびファイル単位について受発注者間の協議とする。
 - ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ(/OTHERS)にTXT形式、PDF形式にて保管すること。
- 4) 建物登記簿調査表は、以下の点に留意すること。
 - ・ スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1)アナログ資料のスキヤニング」に留意すること。

受発注者間の協議によりオリジナル数値データを納品する場合には、以下の点に留意すること。

- ・ 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品する。
 - ・ 数値データの TXT 形式のレコードフォーマットおよびファイル単位について受発注者間の協議とする。
 - ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ（/OTHERS）に TXT 形式、PDF 形式にて保管すること。
- 5) 精度管理表をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 6) 建物登記簿調査表は、以下の点に留意すること。
- ・ スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。

受発注者間の協議によりオリジナル数値データを納品する場合には、以下の点に留意すること。

- ・ 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品する。
- ・ 数値データの TXT 形式のレコードフォーマットおよびファイル単位について受発注者間の協議とする。
- ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ（/OTHERS）に TXT 形式、PDF 形式にて保管すること。

(2) 復元測量

表 4 -56 復元測量成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
復元箇所位置図		(協議)	/YOUCHI/DATA/YKYOK_*	YK*B1nnn.XXX
観測手簿		PDF	/YOUCHI/WORK/YKYOK_*	YK*D1nnn.PDF

【運用基準】

- 1) 復元箇所位置図を CAD で作成する場合は、その数値データを納品することとし、フォーマット形式やファイル作成単位については受発注者間の協議により定める。
- 2) 観測手簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは受発注者間で協議し適当な単位でまとめて作成する。枚数が多い場合は、1 ファイルが 100 枚程度になるように分割して整理する。

【解説・補足】

- 1) 復元箇所位置図は、以下の点に留意すること。
 - ・ スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1)アナログ資料のスキヤニング」に留意すること。
 - ・ 各々図の大きさがスキャナの走査範囲より大きい場合は適宜分割して作成する。この場合は、図の縮尺に準じて電子化すること。
 - ・ ファイルは図単位又は図の種別単位で作成するものとする
 - ・ 複数にまたがる場合には、ファイル画面の上部にインデックス(位置関係説明図)を入れることとする。

また、受発注間の協議により数値データ、又はCADデータで納品する場合には、以下の点に留意すること。

 - ・ データを表示、印刷および後続作業の利用を考慮して、データ形式を受発注者間の協議とする。
 - ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ(/OTHR)にTXT形式、PDF形式にて保管する。
- 2) 観測手簿をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1)アナログ資料のスキヤニング」に留意すること。

(3) 境界確認

表 4-57 境界確認成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
土地境界立会確認書		PDF	/YOUCHI/WORK/YKYOK_*	YK*H1nnn.PDF

【運用基準】

- 1) 土地境界立会確認書は、PDF形式で納品する。
ファイルは受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。

【解説・補足】

- 1) 土地境界立会確認書をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1)アナログ資料のスキヤニング」に留意すること。

(4) 境界測量

表 4 -58 境界測量成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
成果表		PDF	/YOUCHI/ DATA/YKYOS_*	YY*A1nnn.PDF
成果表(数値データ)		TXT	/YOUCHI/ DATA/YKYOS_*	YY*A2nnn.TXT
観測手簿		PDF	/YOUCHI/ WORK/YKYOS_*	YY*D1nnn.PDF
観測手簿(数値データ)		オリジナル	/YOUCHI/ WORK/YKYOS_*	YY*D2nnn.XXX
測量計算簿等		PDF	/YOUCHI/ WORK/YKYOS_*	YY*E1nnn.PDF

【運用基準】

- 1) 成果表は、PDF 形式で納品するほか、数値データを TXT 形式で納品する。
- 2) 観測手簿は、PDF 形式で納品する。また、受発注者間の協議により PDF 形式に加えてオリジナル数値データ形式で納品することができる。ファイルは受発注者間で協議し適当な単位でまとめて作成する。枚数が多い場合は、1 ファイルが 100 枚程度になるように分割して整理する。
- 3) 測量計算簿等は、PDF 形式で納品する。
ファイルは受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。

【解説・補足】

- 1) 成果表をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 2) 成果表(数値データ)は、以下の点に留意すること。
 - ・ 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品する。また、ワープロ又は表計算ソフトからファイルすることも可能である。
 - ・ 数値データの TXT 形式のレコードフォーマットおよびファイル単位について受発注者間の協議とする。
 - ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ(/OTHR)に TXT 形式、PDF 形式にて保管すること。
- 3) 観測手簿は、以下の点に留意すること。
 - ・ スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。

また、受発注者間の協議によりオリジナル数値データを納品する場合には、以下の点に留意すること。

- ・ 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品する。
- ・ 数値データの TXT 形式のレコードフォーマットおよびファイル単位について受発注者間の協議とする。

後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ（/OTHR）に TXT 形式、PDF 形式にて保管すること。

- 4) 測量計算簿をスキャナでイメージ化する場合には、「4 - 1 - 2 (1) 1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。

(5) 補助基準点の設置

表 4 -59 補助基準点の設置

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
成果表		PDF	/YOUCHI/ DATA/ YKYOS_*	YY* A3nnn. PDF
成果表 (数値データ)		TXT	/YOUCHI/ DATA/ YKYOS_*	YY* A4nnn. TXT
基準点網図		PDF	/YOUCHI/ WORK/ YKYOS_*	YY* F1nnn. PDF
観測手簿		PDF	/YOUCHI/ WORK/ YKYOS_*	YY* D3nnn. PDF
観測手簿 (数値データ)		オリジナル	/YOUCHI/ WORK/ YKYOS_*	YY* D4nnn. XXX
計算簿		PDF	/YOUCHI/ WORK/ YKYOS_*	YY* E2nnn. PDF
精度管理表		PDF	/YOUCHI/ WORK/ YKYOS_*	YY* G1nnn. PDF

【運用基準】

- 1) 成果表は、PDF 形式で納品するほか、数値データを TXT 形式で納品する。
- 2) 基準点網図は PDF 形式で納品する。また、受発注者間の協議により数値データ、又は、CAD データで納品することができる。その場合、PDF 形式の成果については、受発注者間の協議により、納品の有無を決めることができる。なおファイルは、図単位または図の種別単位で作成する。
- 3) 観測手簿は、PDF 形式で納品する。また、受発注者間の協議により PDF 形式に加えてオリジナル数値データ形式で納品することができる。ファイルは受発注者間で協議し適当な単位でまとめて作成する。枚数が多い場合は、1 ファイルが 100 枚程度になるように分割して整理する。
- 4) 測量計算簿等は、PDF 形式で納品する。
ファイルは受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 5) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。
ファイルは、種別単位に整理する。

【解説・補足】

- 1) 成果表をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 2) 成果表(数値データ)は、以下の点に留意すること。
 - ・ 数値データの互換性を考慮して、TXT形式で納品する。また、ワープロ又は表計算ソフトからファイルすることも可能である。
 - ・ 数値データのTXT形式のレコードフォーマットおよびファイル単位について受発注者間の協議とする。
 - ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ(/OTHERS)にTXT形式、PDF形式にて保管すること。
- 3) 基準点網図は、以下の点に留意すること。

- ・ スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- ・ 各々図の大きさがスキャナの走査範囲より大きい場合は適宜分割して作成する。この場合は、図の縮尺に準じて電子化すること。
- ・ ファイルは図単位又は図の種別単位で作成するものとする
- ・ 複数にまたがる場合には、ファイル画面の上部にインデックス(位置関係説明図)を入れることとする。

また、受発注者間の協議により数値データ、又はCADデータで納品する場合には、以下の点に留意すること。

- ・ データを表示、印刷および後続作業の利用を考慮して、データ形式を受発注者間の協議とする。
- ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ(/OTHERS)にTXT形式、PDF形式にて保管すること。

- 4) 観測手簿は、以下の点に留意すること。

- ・ スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。

また、受発注者間の協議によりオリジナル数値データを納品する場合には、以下の点に留意すること。

- ・ 数値データの互換性を考慮して、TXT形式で納品する。
- ・ 数値データのTXT形式のレコードフォーマットおよびファイル単位について受発注者間の協議とする。

- ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ（/OTHERS）に TXT 形式、PDF 形式にて保管すること。
- 5) 計算簿をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 6) 精度管理表をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。

(6) 用地境界仮杭設置

表 4-60 用地境界仮杭設置成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
設置箇所位置図		(協議)	/YOUCHI/ DATA/YKYOS_*	YY*B1nnn.XXX
成果表		PDF	/YOUCHI/ DATA/YKYOS_*	YY*A5nnn.PDF
成果表(数値データ)		TXT	/YOUCHI/ DATA/YKYOS_*	YY*A6nnn.TXT
計算簿		PDF	/YOUCHI/ WORK/YKYOS_*	YY*E3nnn.PDF
精度管理表		PDF	/YOUCHI/ WORK/YKYOS_*	YY*G2nnn.PDF

【運用基準】

設置箇所位置図を CAD で作成する場合は、その数値データを納品することとし、フォーマット形式やファイル作成単位については受発注者間の協議により定める。

- 1) 成果表は、PDF 形式で納品するほか、数値データを TXT 形式で納品する。
- 2) 計算簿は、PDF 形式で納品する。
ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて整理する。
- 3) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。
ファイルは、種別単位に整理する。

【解説・補足】

- 1) 設置箇所位置図は、以下の点に留意すること。
 - ・ スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
 - ・ 各々図の大きさがスキャナの走査範囲より大きい場合は適宜分割して作成する。この場合は、図の縮尺に準じて電子化すること。
 - ・ ファイルは図単位又は図の種別単位で作成するものとする
 - ・ 複数にまたがる場合には、ファイル画面の上部にインデックス(位置関

係説明図)を入れることとする。

また、受発注間の協議により数値データ、CAD データで納品する場合には、以下の点に留意すること。

- ・ データを表示、印刷および後続作業の利用を考慮して、データ形式を受発注者間の協議とする。
 - ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ (/OTHR) に TXT 形式、PDF 形式にて保管する。
- 2) 成果表をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 3) 成果表(数値データ)は、以下の点に留意すること。
- ・ 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品する。また、ワープロ又は表計算ソフトからファイルすることも可能である。
 - ・ 数値データの TXT 形式のレコードフォーマットおよびファイル単位について受発注者間の協議とする。
 - ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ (/OTHR) に TXT 形式、PDF 形式にて保管すること。
- 4) 計算簿をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 5) 精度管理表をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。

(7) 用地境界杭設置

表 4-61 用地境界杭設置成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
設置箇所位置図		(協議)	/YOUCHI/DATA/YKYOS_*	YY*B2nnn.XXX
成果表		PDF	/YOUCHI/DATA/YKYOS_*	YY*A7nnn.PDF
成果表(数値データ)		TXT	/YOUCHI/DATA/YKYOS_*	YY*A8nnn.TXT
計算簿		PDF	/YOUCHI/WORK/YKYOS_*	YY*E4nnn.PDF

【運用基準】

- 1) 設置箇所位置図を CAD で作成する場合は、その数値データを納品することとし、フォーマット形式やファイル作成単位については受発注者間の協議により定める。

- 2) 成果表は、PDF 形式で納品するほか、数値データを TXT 形式で納品する。
- 3) 計算簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて整理する。

【解説・補足】

- 1) 設置箇所位置図は、以下の点に留意すること。
 - ・ スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキヤニング」に留意すること。
 - ・ 各々図の大きさがスキャナの走査範囲より大きい場合は適宜分割して作成する。この場合は、図の縮尺に準じて電子化すること。
 - ・ ファイルは図単位又は図の種別単位で作成するものとする
 - ・ 複数にまたがる場合には、ファイル画面の上部にインデックス(位置関係説明図)を入れることとする。

また、受発注間の協議により数値データ、又は CAD データで納品する場合には、以下の点に留意すること。

- ・ データを表示、印刷および後続作業の利用を考慮して、データ形式を受発注者間の協議とする。
 - ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ(/OTHR)に TXT 形式、PDF 形式にて保管する。
- 2) 成果表をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキヤニング」に留意すること。
 - 3) 成果表(数値データ)は、以下の点に留意すること。
 - ・ 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品する。また、ワープロ又は表計算ソフトからファイルすることも可能である。
 - ・ 数値データの TXT 形式のレコードフォーマットおよびファイル単位について受発注者間の協議とする。
 - ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ(/OTHR)に TXT 形式、PDF 形式にて保管すること。
 - 4) 計算簿をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキヤニング」に留意すること。

(8) 境界点間測量

表 4 -62 境界点間測量成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
精度管理表		PDF	/YOUCHI/WORK/YTENKN_*	YT*G1nnn.PDF
精度管理図		PDF	/YOUCHI/WORK/YTENKN_*	YT*G2nnn.PDF

【運用基準】

- 1) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。
ファイルは、種別単位に整理する。
- 2) 精度管理図は PDF 形式で納品する。また、受発注者間の協議により数値データ、又は、CAD データで納品することができる。その場合、PDF 形式の成果については、受発注者間の協議により、納品の有無を決めることができる。
なおファイルは、図単位または図の種別単位で作成すること。

【解説・補足】

- 1) 精度管理表をスキャナでイメージ化する場合には、「4 - 1 - 2 (1) 1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
 - 2) 精度管理図は、以下の点に留意すること。
 - ・ スキャナでイメージ化する場合には、「4 - 1 - 2 (1) 1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
 - ・ 各々図の大きさがスキャナの走査範囲より大きい場合は適宜分割して作成する。この場合は、図の縮尺に準じて電子化すること。
 - ・ ファイルは図単位又は図の種別単位で作成するものとする
 - ・ 複数にまたがる場合には、ファイル画面の上部にインデックス(位置関係説明図)を入れることとする。
- また、受発注者間の協議により数値データ、又は CAD データで納品する場合には、以下の点に留意すること。
- ・ データを表示、印刷および後続作業の利用を考慮して、データ形式を受発注者間の協議とする。
 - ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ(/OTHR)に TXT 形式、PDF 形式にて保管すること。

(9) 面積計算書

表 4 - 63 面積計算書成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイ ル形式	格納フォルダ名	ファイル名
面積計算書		PDF	/YOUCHI/DATA/YMENSK_*	YM*A1nnn.PDF
面積計算書(数値データ)		TXT	/YOUCHI/DATA/YMENSK_*	YM*A2nnn.TXT

【運用基準】

- 1) 面積計算書は、PDF 形式で納品するほか、数値データを TXT 形式で納品する。

【解説・補足】

- 1) 面積計算書をスキャナでイメージ化する場合には、「4 - 1 - 2 (1) 1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 2) 面積計算書(数値データ)は、以下の点に留意すること。
 - ・ 数値データの互換性を考慮して、TXT 形式で納品する。また、ワープロ又は表計算ソフトからファイルすることも可能である。
 - ・ 数値データの TXT 形式のレコードフォーマットおよびファイル単位について受発注者間の協議とする。
 - ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ(/OTHR)に TXT 形式、PDF 形式にて保管すること。

(10) 用地実測図等の作成

表 4 - 64 用地実測図等の作成成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイ ル形式	格納フォルダ名	ファイル名
用地実測図原図		(対象外)	-	-
用地実測データ		TXT	/YOUCHI/DATA/YZISKZ_*	YZ*B1nnn.XXX
用地平面図		(対象外)	-	-
用地平面データ		TXT	/YOUCHI/DATA/YZISKZ_*	YZ*B2nnn.XXX
精度管理表		PDF	/YOUCHI/WORK/YZISKZ_*	YZ*G1nnn.PDF

【運用基準】

- 1) 用地実測データは、数値データを TXT 形式で納品することとし、フォーマット形式やファイル作成単位については受発注者間の協議により定める。

- 2) 用地平面データは、数値データを TXT 形式で納品することとし、フォーマット形式やファイル作成単位については受発注者間の協議により定める。
- 3) 計算簿は、PDF 形式で納品する。
ファイルは、種別単位に作成する。

【解説・補足】

- 1) 用地実測データを数値データ、又は CAD データで納品する場合には、以下の点に留意すること。
 - ・ データを表示、印刷および後続作業の利用を考慮して、データ形式を受発注者間の協議とする。
 - ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ（/OTHR）に TXT 形式、PDF 形式にて保管する。
- 2) 用地平面データを数値データ、又は CAD データで納品する場合には、以下の点に留意すること。
 - ・ データを表示、印刷および後続作業の利用を考慮して、データ形式を受発注者間の協議とする。
 - ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書を各測量細分類のその他サブフォルダ（/OTHR）に TXT 形式、PDF 形式にて保管する。
- 3) 精度管理表をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 4) 要領(案)表4-5に示される成果のうち、「対象外」とされているものについては、原則として従来通り紙による納品を行う。ただし、受発注者間の協議からこれら成果を電子納品する場合には、以下の点に留意すること。
 - ・ 受発注者間の協議によりファイル形式、ファイル命名規則を取り決めるものとする。
 - ・ ファイル名は、4-1-3 ファイル命名規則に従い命名すること。

(11) その他

表 4-65 その他成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
測量機械検定証明書		PDF	/YOUCHI/OTHR	YOTJ1nnn.PDF
点検測量簿		PDF	/YOUCHI/OTHR	YOTJ2nnn.PDF
ファイル説明書		PDF	/YOUCHI/OTHR	YOTJ3nnn.PDF

【運用基準】

- 1) 機器検定証明書、ファイル説明書は、PDF 形式で納品する。
- 2) 点検測量簿は PDF 形式で納品する。
ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 3) 表 4 - 5 に記載されていない測量記録、資料については、「その他」サブフォルダに格納することとして、そのファイル形式等は受発注者間の協議により定める。

【解説・補足】

- 1) 機器検定証明書、ファイル説明書をスキャナでイメージ化する場合には、「4 - 1 - 2 (1) 1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 2) 点検測量簿は、スキャナでイメージ化する場合には、「4 - 1 - 2 (1) 1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。
- 3) 表 4 - 5 に記載されていない測量記録および資料等をスキャナでイメージ化する場合には、「4 - 1 - 2 (1) 1) アナログ資料のスキャニング」に留意すること。以下の点に留意すること。
 - ・ ファイル単位は受発注者間の協議とする。
 - ・ 受発注者間の協議から電子化しないものは紙のまま納品する。

(共通事項)

オリジナルファイル、拡張したファイル等では、必要に応じてファイル形式、レコードフォーマット等について説明したファイル説明文書の電子ファイルを作成し、OTHR5 フォルダに格納して納品する。

4 - 6 - 3 事前協議事項

(1) CAD 等による納品方法

用地測量により作成される成果のうち、以下の図面類は受発注者間の協議により CAD データ形式等の図面データファイルにより納品することができる。

- ・ 公図等転写連続図
- ・ 復元箇所位置図
- ・ 基準点網図
- ・ 設置箇所位置図
- ・ 精度管理図

これらを電子納品する際のデータ形式は PDF を原則とするが、必要に応じて国土交通省公共測量作業規程に規定された DM データファイルや CAD データファイル等により納品することができる。なお、CAD データファイルにより納品する場合、作成ソフトにより情報の再現性が必ずしも担保されないため、PDF 形式のデータファイルも併せて納品することとする。但し、基準点網図並び精度管理図については、受発注者間の協議により納品の有無を決めることができる。

用地実測データおよび用地平面データは、数値データを TXT 形式で納品することを原則とするが、受発注者間の協議により CAD データファイルや DM データファイルにより納品することができる。

(2) オリジナルファイル形式での納品方法

用地測量により作成される下記の成果は、受発注者間協議によりオリジナル形式のデータファイルを納品することができる。その場合、次に示す事項をあらかじめ受発注者間で確認しておくこと。

- ・ オリジナルファイルの納品の可否
- ・ オリジナルファイルの形式
- ・ ファイル説明書の有無

1) 観測手簿

観測手簿は、PDF 形式に加えて測量に用いた機器固有のオリジナル数値データを納品することができる。その場合、データファイルの内容、データ形式等を説明したファイル説明書 (PDF 形式) を「その他データ (OTHERS)」フォルダに格納する。

(3) PDF のファイルとりまとめの単位

観測手簿および計算簿の PDF ファイル作成にあたっては、ファイルのとりまとめ単位を受発注者間の協議により確認する。なお、観測手簿等、枚数の多い成果については利用の便を考慮して 100 枚程度に分割してファイルを作成

する。

(4) 電子納品対象外の成果の扱い

「公図転写図」は原則として電子納品の対象外とする。ただし、受発注者間の協議により電子納品する場合はファイル形式およびファイル名を協議により決定する。

4-7 その他のドキュメント

「DOC」サブフォルダに格納する「ドキュメントファイル」は、当該測量業務の特記仕様書や、業務期間中にやりとりされた協議書の電子ファイルがこれに相当する。これらのファイル保存形式およびファイル名称は表4-66に従うものとする。

表4-66 DOC サブフォルダ内の成果

納品物の名称	ファイル形式	ファイル名称	備考
特記仕様書	PDF	SPECS	受発注者間の協議によりオリジナルファイルも可とする。
協議書	PDF	MEETS	複数協議書ファイルが存在する場合、連番(3桁)をファイル名称の後に付加する。
実施報告等	オリジナル	SUVRP	

例) 協議書が全部で10回分ある場合、

MEETS001.PDF、MEETS002.PDF、MEETS003.PDF、.....MEETS010.PDF

4 - 8 成果品の管理項目

4 - 8 - 1 管理ファイルの種類

測量成果を電子納品する際は、当該業務の概要、諸元、成果項目を記述した以下の管理ファイルを併せて納品する。

(ア) 業務管理ファイル	(INDEX_D.XML)
(イ) 測量情報管理ファイル	(SURVEY.XML)
(ウ) 測量成果管理ファイル	
1) 基準点測量成果管理ファイル	(SURV_KTN.XML)
2) 水準測量成果管理ファイル	(SURV_SJN.XML)
3) 地形測量成果管理ファイル	(SURV_CK1.XML)
4) 路線測量成果管理ファイル	(SURV_RSN.XML)
5) 河川測量成果管理ファイル	(SURV_KSN.XML)
6) 用地測量成果管理ファイル	(SURV_YCH.XML)

各ファイルに記入する管理項目を 4 - 8 - 2 ~ 4 - 8 - 4 に示す。

【解説】

(1) 概要

業務管理ファイルは「土木設計業務等の電子納品要領（案）」により規定されたものであり、業務関連の電子納品に共通する管理項目として記録するものである。

測量情報管理ファイルは測量作業に固有の管理項目を記録するものであり、実施した測量作業の諸元等が管理される。

測量成果管理ファイルは電子媒体に格納された個々の電子ファイルの管理項目を記録するものであり、ファイル名、内容、格納場所（フォルダ）等が管理される。なお、測量成果管理ファイルは基準点測量、水準点測量、および地形測量の各測量区分毎に作成されるものであるが、参照する DTD は共通（SURV_D01.DTD）とする。

(2) 各ファイルの格納場所

- 業務管理ファイル : / (ルート)
- 測量情報管理ファイル : /SURVEY
- 基準点測量成果管理ファイル : /SURVEY/KITEN
- 水準測量成果管理ファイル : /SURVEY/SUIJUN
- 地形測量成果管理ファイル : /SURVEY/CHIKEI
- 路線測量成果管理ファイル : /SURVEY/ROSEN
- 河川測量成果管理ファイル : /SURVEY/SUIJUN
- 用地測量成果管理ファイル : /SURVEY/YOUCHI

4 - 8 - 2 業務管理項目

成果品の電子媒体に格納する業務管理ファイル(INDEX_D.XML)に記入する業務管理項目は、表 4 -67に示すとおりである。

表 4 -67 業務管理項目

カテゴリー	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
基礎情報	メディア番号	提出した媒体の通し番号を記入する。	半角数字	8		
	メディア総枚数	提出した媒体の総枚数を記入する。	同上	8		
	報告書フォルダ名	報告書を格納するフォルダ名称 (REPORT で固定) を記入する。	半角英数 大文字	127		
	報告書オリジナル ファイルフォルダ名	報告書オリジナルファイルを格納する フォルダ名称 (REPORT/ORG で固定) を記入する。	同上	127		
	図面フォルダ名	図面を格納するフォルダ名称 (DRAWING で固定) を記入する。	同上	127		
	写真フォルダ名	写真を格納するフォルダ名称 (PHOTO で固定) を記入する。	同上	127		
	測量データ フォルダ名	測量データを格納するフォルダ名称 (SURVEY で固定) を記入する。	同上	127		
地質データ フォルダ名	地質データを格納するフォルダ名称 (BORING で固定) を記入する。	同上	127			
ソフトウェア情報	ソフトウェア名	業務管理ファイルを作成したソフトウ ェア名を記入する。	全角文字 半角英数字	64		
	バージョン情報	業務管理ファイルを作成したソフトウ ェアのバージョンを記入する。	半角英数字	127		
	メーカー名	ソフトウェアメーカー名を記入する。	全角文字 半角英数字	64		
	メーカー連絡先	メーカー連絡先 (住所、電話番号等) を記 入する。	同上	127		
	ソフトメーカー用 TAG	ソフトウェア情報予備項目を記入する。	同上	64		
業務件名等	TECRIS 登録番号	TECRIS センターが発行する受領書に 記載される番号を記入する。	半角英数字	10		
	設計書コード	発注者機関毎に業務 1 件につき固有の番 号として付されるもので、発注機関の指 示に従い記入する。	半角数字	30		
	業務名称	契約上の正式な業務名称を記入する。	全角文字	45		
	住所コード	TECRIS コード表より選択し記入する。 (TECRIS の「業務対象地域コード」に 対応) (複数記入可能)	半角数字	5		
	住所	住所を記入する。(TECRIS の「業務対 象地域名称」に対応) (複数記入可能)	全角文字	64		
	業務対象水系 路線等コード	TECRIS コード表より選択し記入する。 (TECRIS の「業務対象水系・路線等コ ード」に対応) (複数記入可能)	半角数字	5		
	業務対象水系路線名	上記より詳細な情報がある場合は名称 も記入する。(TECRIS の「業務対象水 系・路線等名」に対応) (複数記入可能)	全角文字	20		
	履行期間-着手	契約上の履行期間の着手年月日を記入する。 (TECRIS の「履行期間 着手年月日」に 対応)	半角数字	10		
履行期間-完了	契約上の履行期間の完了年月日を記入する。 (TECRIS の「履行期間 完了年月日」に 対応)	同上	10			

カテゴリー	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
場所情報	起点側測点-n	(自)n+m「 」 nを4桁で記入する。	半角英数字	4		
	起点側測点-m	(自)n+m「 」 mを3で記入する。	同上	3		
	終点側測点-n	(至)n+m「 」 nを4桁で記入する。	同上	4		
	終点側測点-m	(至)n+m「 」 mを3で記入する。	同上	3		
	起点側距離標-n	(自)n+m「 」 nを3桁で記入する。	同上	3		
	起点側距離標-m	(自)n+m「 」 mを3桁で記入する。	同上	3		
	終点側距離標-n	(至)n+m「 」 nを3桁で記入する。	同上	3		
	終点側距離標-m	(至)n+m「 」 mを3桁で記入する。	同上	3		
	西側境界座標経度	対象領域または測量地域の最西端の座標を経度で表す。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁)	同上	7		
	東側境界座標経度	対象領域または測量地域の最東端の座標を経度で表す。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁)	同上	7		
	北側境界座標緯度	対象領域または測量地域の最北端の座標を緯度で表す。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁)	同上	7		
	南側境界座標緯度	対象領域または測量地域の最南端の座標を緯度で表す。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁)	同上	7		
	施設情報	施設名称	施設名称を記入する。	全角文字 半角英数字	64	
発注者情報	発注者機関コード	TECRIS コード表より選択し記入する。 (TECRISの「発注機関コード」に対応)	半角数字	8		
	発注者機関事務所名	発注者機関事務所の名称を記入する。 (TECRISの「発注機関事務所名」に対応)	全角文字 半角英数字	30		
受注者情報	受注者名	企業名(正式名称)を記入する。	同上	30		
	受注者コード	TECRIS センターから通知されるコードを記入する。(TECRISの「会社コード」に対応)	半角英数字	8		
業務情報	主な業務の内容	TECRIS コード表より選択し記入する。	半角数字	1		
	業務分野コード	TECRIS コード表より選択し記入する。 (複数記入可能)	同上	7		
	業務キーワード	TECRISの業務キーワード集より選択し記入する。(複数記入可能)	全角文字	10		
	業務概要	業務の概要を記入する。業務の要点が理解しやすいように簡潔かつ正確に記入する。	全角文字 半角英数字	300		
予備		その他予備事項があれば記入する。 (複数記入可能)	同上	127		

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2文字で全角文字1文字に相当する。

- 【記入者】 : TECRIS から出力される CSV ファイルから取り込むことが可能な項目
(TECRIS 情報の記入に当たっては、TECRIS の規則に従うこと)
: 電子媒体作成者が記入する項目
: 電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目
- 【必要度】 : 必須記入項目 : 条件付き必須記入項目(データが分かる場合は必ず記入する)
: 任意記入項目

【解説】

(1) 「業務管理項目」

「業務管理項目」は成果品の電子データファイルを検索、参照、再利用するなど活用していくための業務の属性項目であり、業務管理ファイル(INDEX_D.XML)は「業務管理項目」の電子データファイルである。付属資料 1 に業務管理項目の記入方法、付属資料 2 に業務管理ファイルの DTD、付属資料 3 に業務管理ファイルの XML 記入例を示す。

(2) 「TECRIS 登録番号」

未登録業務の TECRIS 登録番号は、「0」とする。

(3) 「受注者コード」

受注者コードを持たない受注者は、「0」とする。

(4) TECRIS(テクリス): TEchnical Consulting Records Information Service

TECRIS は、建設コンサルタントの実績・技術者データベースであり、共用を目的としている。

(5) TECRIS 使用文字規則

TECRIS 使用文字規則については、付属資料 4 を参照とする。

(6) 場所情報

場所情報については「測点」、「距離標」、「境界座標」のいずれか又は複数を用いて記入する。業務内容によって、場所情報を記入できない場合は記入する必要はない。場所情報の記入にあたっては、上記 3 項目のうち「境界座標」による記入が最も望ましい。

1) 測点

業務対象となる起点側測点および終点側測点を記載する。

2) 距離標

業務対象となる起点側距離標および終点側距離標を記載する。

3) 境界座標

業務対象となる西側・東側・北側・南側境界座標(緯度経度)。対象領域または測量地域の外側境界座標を記入する。

(i) 地図を回転しないとき

「境界座標」は、「輪郭線(または図郭線)」または「対象領域または測量地域の外側」の座標のいずれかを記入する。(どちらの方法でも可)

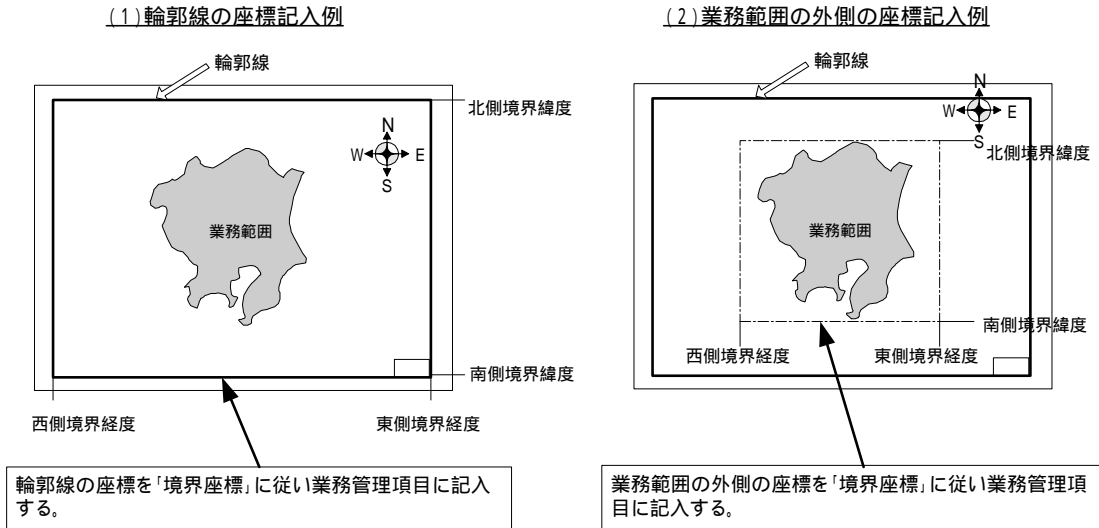


図 4-16 境界座標の記入方法(地図を回転しないとき)

(ii) 地図を回転させるとき

「境界座標」は、「対象領域または測量地域の外側」の座標を記入する。

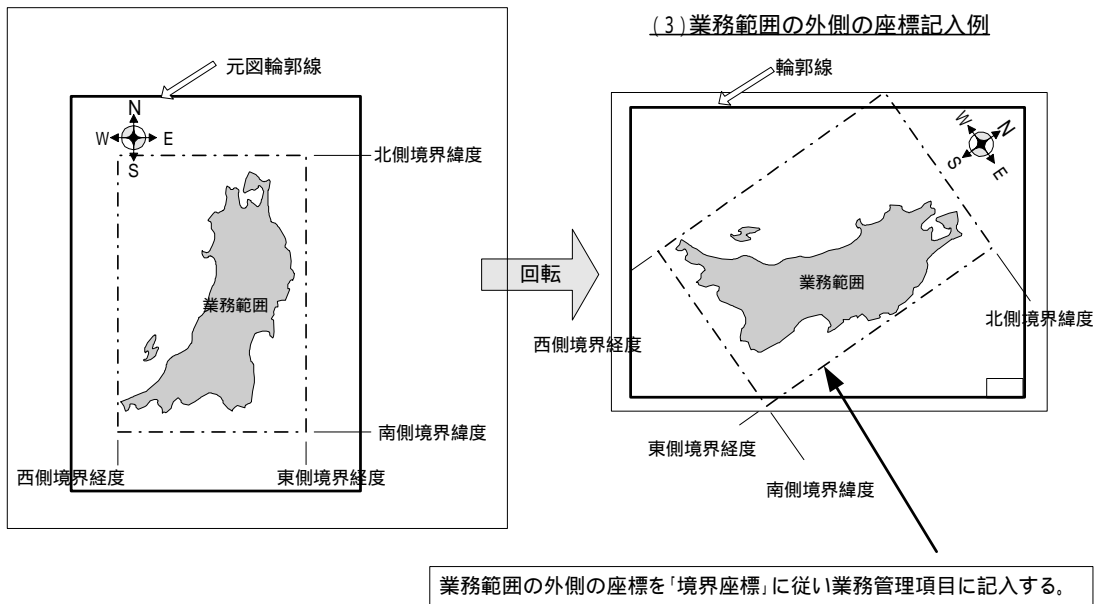


図 4-17 境界座標の記入方法(地図を回転させるとき)

(7) 業務情報

1) 主な業務の内容

「測量」を示す TECRIS 業務コードより記入する。

2) 業務分野コード

付属資料 5 (1) の表から該当する業務の「TECRIS コード」を記入する。

3) 業務キーワード

業務キーワードは複数入力が可能である。ただし、最初の業務キーワードとしては付属資料 5 (2) の表から、測量目的として該当する業務の名称を記入する。

4 - 8 - 3 測量情報管理項目

成果品の電子媒体に格納する測量情報管理ファイル（SURVEY.XML）に記入する測量情報管理項目は、以下に示すとおりである。

表 4 - 68 測量情報管理項目

カテゴリー	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度	
基礎情報	助言番号	国土地理院が発行する「助言番号」を記入する。	半角英数字	8			
	製品仕様書名または作業規程名	当該測量の基となった製品仕様書または作業規程名を記入する。	全角文字 半角英数字	127			
	基準点測量成果格納用フォルダ名	基準点測量成果を格納するフォルダ名称（KITEN で固定）を記入する。	半角英数大文字	8			
	水準測量成果格納用フォルダ名	水準測量成果を格納するフォルダ名称（SUIJUN で固定）を記入する。	同上	8			
	地形測量成果格納用フォルダ名	地形測量成果を格納するフォルダ名称（CHIKAI で固定）を記入する。	同上	8			
	路線測量成果格納用フォルダ名	路線測量成果を格納するフォルダ名称（ROSEN で固定）を記入する。	同上	8			
	河川測量成果格納用フォルダ名	河川地形測量成果を格納するフォルダ名称（KASEN で固定）を記入する。	同上	8			
	用地測量成果格納用フォルダ名	用地測量成果を格納するフォルダ名称（YOUCHI で固定）を記入する。	同上	8			
ソフトウェア情報	ドキュメント格納用フォルダ名	ドキュメント類を格納するフォルダ名称（DOC で固定）を記入する。	同上	8			
	ソフトウェア名	成果管理ファイルを作成したソフトウェア名を記入する。	全角文字 半角英数字	64			
	バージョン情報	成果管理ファイルを作成したソフトウェアのバージョンを記入する。	半角英数字	127			
	メーカー名	ソフトウェアメーカー名を記入する。	全角文字 半角英数字	64			
	メーカー連絡先	メーカー連絡先（住所、電話番号等）を記入する。	同上	127			
ソフトメーカー用 TAG	ソフトウェア情報予備項目を記入する。	同上	64				
場所情報	測量区域番号	測量を行った区域の番号を記入する。	半角数字	2			
	測量区域名	測量を行った区域の名称を記入する。	全角文字 半角英数字	64			
	区域情報	西側境界座標経度	対象領域または測量地域の最西端の座標を経度で表す。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁)	半角英数字	7		2
		東側境界座標経度	対象領域または測量地域の最東端の座標を経度で表す。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁)	同上	7		
		北側境界座標緯度	対象領域または測量地域の最北端の座標を緯度で表す。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁)	同上	7		
		南側境界座標緯度	対象領域または測量地域の最南端の座標を緯度で表す。 度(3桁) 分(2桁) 秒(2桁)	同上	7		
	平面直角座標系	平面直角座標(19系)の系番号で記入する。	半角数字	2		2	
西側境界平面直角座標	輪郭線（図郭線）内の対象領域の最西端座標を Y 座標で記入する。（m）	半角英数字	11				
東側境界平面直角座標	輪郭線（図郭線）内の対象領域の最東端座標を Y 座標で記入する。（m）	同上	11				

カテゴリ	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度	
	北側境界平面直角座標	輪郭線（図郭線）内の対象領域の最北端座標を X 座標で記入する。（m）	同上	11			
	南側境界平面直角座標	輪郭線（図郭線）内の対象領域の最南端座標を X 座標で記入する。（m）	同上	11			
測量情報	測量区分	本要領（案）に規定する「測量区分」を記入する。	全角文字 半角英数字	32			
	測量細区分	本要領（案）に規定する「測量細区分」を記入する。	同上	同上			
	測量記録フォルダパス名	測量記録のフォルダパス名を記入する。（SURVEY 以下のフォルダ区切りは「/」で表す。）	半角英数字大文字	64			
	測量成果フォルダパス名	測量成果のフォルダパス名を記入する。（SURVEY 以下のフォルダ区切りは「/」で表す。）	半角英数字大文字	64		4	
	測量区域 No	場所情報に記された「測量区域番号」を記入する。（測量区域番号に記されたものの中から選択する。DTD 文法上改名）	半角数字	2			
	等級精度	等級	測量成果等の等級を表す記号(数字)を記入する。	半角英数字	2		5
		地図情報レベル	測量成果等の地図情報レベルを記入する。	半角英数字	32		
	画像種別	白黒、カラーの別を記入する。	半角数字	2			
	解像度	測量成果等の解像度を記入する（m）	同上	7			
	アナログデジタル区分	測量手法について、アナログ、デジタルの区分を記入する。	同上	1			
	新規修正区分	対象測量の新規測量か修正測量かの区分を記入する。	同上	1			
	面積	測量範囲の概略の面積を記入する。 単位：km ²	同上	6			
	距離	測量延長距離の概数 単位：km	同上	6			
	点数	基準点の点数を記入する。（与点の数は除く）	同上	4			
モデル数	空中三角測量における、モデルの数を記入する	同上	4				
その他	受注者説明文	受注者側で報告書に付けるコメントを記入する。	全角文字 半角英数字	127			
	予備	その他予備事項があれば記入する。 (複数記入可能)	同上	同上			

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2文字で全角文字1文字に相当する。

【記入者】：電子媒体作成者が記入する項目

：電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目

【必要度】：必須記入項目：条件付き必須記入項目（データが分かる場合は必ず記入する）

：任意記入項目

1：本測量業務が実施された区域数分(M個)を記入する。

2：本測量業務で行われた測量種類の数を「測量細区分」の単位で記入し、測量種類細部情報は、種類の数分(N個)を繰り返し登録する。

3：緯度経度、または直角座標のどちらかまたは双方を記入する。

4：当該測量細区分の成果が「測量成果」サブフォルダに格納されている場合は必ず記入する。

5：等級、地図情報レベルのどちらかを必ず記入する。

【解説】

(1) 「助言番号」

公共測量の届出を行い、国土地理院から発行された番号「助言番号」を記入する。
ただし、該当しない場合は「99999999(8桁)」を記入する。

例：「H13D0003」、「H13C0052」等

文書番号から助言番号への記入方法は下記の対象表のとおりとする。

表 4 - 69 略称記号と助言番号の対象表

略称記号	文書番号	名 称	略称記号	文書番号	名 称
A	国地道公	北海道地方測量部	G	国地中公	中国地方測量部
B	国地東公	東北地方測量部	H	国地四公	四国地方測量部
C	国地関公	関東地方測量部	I	国地九公	九州地方測量部
D	国地北公	北陸地方測量部	J	国地沖公	沖 縄 支 所
E	国地部公	中部地方測量部	K	企指公	企画部測量指導課
F	国地近公	近畿地方測量部			

例：助言番号

国地道公発第 2 2 6 号

H13A0226

平成 13 年 月 日

平成 13 年度の北海道地方測量部の助言番号

(2) 製品仕様書名または作業規程名

当該測量作業の基となった製品仕様書名または作業規程名を記入する。

例：国土交通省公共測量作業規程(平成 14 年度 4 月 1 日)

(3) 測量区域番号・測量区域名称

測量区域が複数にわたる場合、実際に測量を行った区域毎に区域番号を割り当てるものとする。

割当てられた測量区域毎に測量区域番号・測量区域名称および「区域情報」について記入する。なお、測量区域名称には、地名(行政名)を記入する。

(4) 区域情報

区域情報については、「境界座標」、「平面直角座標」のいずれかをを用いて記入する。業務内容によって、場所情報を記入できない場合は記入する必要はない。区域情報の記入にあたっては、上記 2 項目のうち「平面直角座標」による記入が最も望ましい。

(5) 測量区分

測量区分の名称は、下記より選択して記入する。

公共測量作業規程に規定する測量区分の分類とは異なるので注意する。

表 4-70 測量区分とサブフォルダ名の対応表

測量区分名称	(測量サブフォルダ名)
基準点測量	KITEN
水準測量	SUIJUN
地形測量	CHIKEI
路線測量	ROSEN
河川測量	KASEN
用地測量	YOUCHI

(6) 測量細区分

測量細区分の名称は、下記の名称に細区分を示す英数字を付した名称を記入する。公共測量作業規程に規定する測量分類とは異なるので注意する。

測量細区分は、測量区域および等級・精度で区分するもので、末尾の英数字は A~Z, 1~9 の順に使用することとして、該当する測量細区分サブフォルダ名の末尾英数字と一致させることが望ましい。

例 1 : 基準点測量で単独の測量細区分サブフォルダに成果を格納する場合

「基準点測量」と記入する。(測量細区分サブフォルダ名: KTN_A)

基準点測量で複数の測量細区分サブフォルダに成果を格納する場合

「基準点測量 A」、「基準点測量 B」と記入する。

(測量細区分サブフォルダ名: KTN_A、KTN_B)

例 2 : 複数区域 (A、B、C) および複数等級・精度 (1、2 級) が混在する場合、地区を優先とする

KTN_A A 地区の 1 級

KTN_B A 地区の 2 級

KTN_C B 地区の 1 級

KTN_D B 地区の 2 級

KTN_E C 地区の 1 級

KTN_F C 地区の 2 級

(7) 測量記録フォルダパス名・測量成果フォルダパス名

測量成果が収められた測量記録フォルダおよび測量成果フォルダ以下のフォルダのパス名を記入する。当該測量の成果が中間成果であって成果フォルダに格納されていない場合には記入しない。

記入方法は以下に従う。

- フォルダ階層表示は「/」で区切る。
- パスの書出しは「SURVEY」とする。
- 成果区分のサブフォルダのパス名は「DATA」とする。

(例 1) 水準測量の場合、

SURVEY/SUIJUN/WORK/SJN_A

(例 2) 地形測量の一連の測量作業によって最終的に DM データを作成し測量成果サブフォルダに格納した場合、

SURVEY/CHIKEI/DATA

(例 3) 河川測量の定期縦断測量を行い、縦断図を成果サブフォルダに格納した場合、

SURVEY/KASEN/DATA/RZYUO_A

(8) 「等級」

基準点測量、水準測量において表される等級については、下表に相当する数値(2桁)を選択し、記入する。

表 4-71 記入数値一覧表

基準点測量				水準測量			
測量レベル (基本測量)	記入 数値	測量レベル (公共測量)	記入 数値	測量レベル (基本測量)	記入 数値	測量レベル (公共測量)	記入 数値
電子基準点	10	-	-	1等水準	11	1級水準	21
1等基準点	11	1級基準点	21	2等水準	12	2級水準	22
2等基準点	12	2級基準点	22	3等水準	13	3級水準	23
3等基準点	13	3級基準点	23	-	-	4級水準	24
4等基準点	14	4級基準点	24	-	-	簡易水準	25

*基本測量：基本測量とは、すべての測量の基礎となる測量で、国土地理院の行うものをいう。

*公共測量：公共測量とは、基本測量以外の測量のうち、小道路若しくは建物のため等の局地的測量又は高度の精度を必要としない測量で、政令で定めるものを除き、測量に要する費用の全部若しくは一部を国又は公共団体が負担し、若しくは補助して実施するものをいう。

(9) 「地図情報レベル」

測量成果の縮尺レベルを記入する。

(例 1) 1/2,500 地形図の場合、「2500」と記入する。

(例 2) 1/12,500 空中写真撮影の場合、「12500」と記入する。

(例 3) 地図情報レベルが混在(地形図 1/500、1/1,000)の場合、「500,1000」

と記入する。

(10) 画像種別

空中写真撮影について、白黒、カラーの別を下記の数字(半角)で記入する。

白黒	1	カラー	2
----	---	-----	---

(11) 解像度

デジタル正射写真図等、測量成果の解像度を記入する。

- デジタルオルソ 25 cm は 0.25(m 単位で記入)
- DEM 25 m は 25 (m 単位で記入)

(12) アナログデジタル区分

測量の方法について、アナログ(従来の測量方法)/デジタル(デジタル機器の利用)の区分を下記の記号(半角)で記入する。

アナログ	1	デジタル	2
------	---	------	---

(13) 新規修正区分

対象測量が、新規測量、修正測量、定期測量かの区分を下記の記号(半角)で記入する。

新規測量	1	修正測量	2	定期測量	3
------	---	------	---	------	---

(例1) 測量作業規程における「修正測量」の場合は、「2」を記入する。

(例2) 測量作業規程における「定期縦断測量」、「定期横断測量」の場合は、「3」を記入する。

(14) 面積

平板測量、撮影、図化について、対象となった範囲の概略面積(実施数量)を記入する。単位:km²

(15) 距離

水準測量について、測量延長距離の概数を記入する。単位:km

(16) 点数

基準点測量について、当該基準点の点数を記入する。(与点の数は除く。)

(17) モデル数

空中三角測量における、モデルの数を記入する。

4-8-4 測量成果管理項目

成果品の電子媒体に格納する測量成果管理ファイル(SURV_KTN.XML、SURV_SJN.XML、SURV_CHI.XML、SURV_RSN.XML、SURV_KSN.XML、SURV_YCH.XML) に記入する測量成果管理項目は、以下に示すとおりである。

表 4-72 測量成果管理項目

カテゴリー	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度	
ソフトウェア情報	ソフトウェア名	成果管理ファイルを作成したソフトウェア名を記入する。	全角文字 半角英数字	64			
	バージョン情報	成果管理ファイルを作成したソフトウェアのバージョンを記入する。	半角英数字	127			
	メーカー名	ソフトウェアメーカー名を記入する。	全角文字 半角英数字	64			
	メーカー連絡先	メーカー連絡先(住所、電話番号等)を記入する。	同上	127			
	ソフトメーカー用 TAG	ソフトウェア情報予備項目を記入する。	同上	64			
測量成果情報	測量区分フォルダ名	「測量区分」のフォルダ名を記入する。(格納サブフォルダ名)	半角英数字 大文字	8			
	測量成果区分フォルダ名	測量成果区別(測量記録、成果データ)のフォルダ名を記入する。(格納サブフォルダ名)	同上	同上			
	測量細区分フォルダ名	「表 4-1」、「表 4-2」で定義されたフォルダ名を記入する。(格納サブフォルダ名)	同上	同上			
	測量成果名称	測量成果の名称を記入する(例:精度管理表、観測手簿等)	全角文字 半角英数字	64			
	測量成果ファイル形式	測量成果ファイルの記録形式を記入する。	半角英数字	12			
	測量成果レコードフォーマット	測量成果ファイルのレコードフォーマットの名称や説明を記入する。	全角文字	64			
	測量成果作成ソフトウェア情報	測量成果作成ソフトウェア名	測量成果ファイルを作成したソフトウェア名を記入する。	全角文字 半角英数字	64		
		測量成果作成ソフトウェアバージョン情報	測量成果ファイルを作成したソフトウェアのバージョンを記入する。	半角英数字	127		
		測量成果作成ソフトウェアメーカー名	ソフトウェアメーカー名を記入する。	全角文字 半角英数字	64		
		測量成果作成ソフトウェアメーカー連絡先	メーカー連絡先(住所、電話番号等)を記入する。	同上	127		
		測量成果作成ソフトウェアメーカー用 TAG	ソフトウェア情報予備項目を記入する。	同上	64		
	成果ファイル情報	測量成果ファイル名	測量成果のファイル名を、拡張子を含めて記入する。	半角英数 大文字	12		
		測量成果ファイル名副題	内容が分かる程度の副題を記入する	全角文字 半角英数字	64		
その他	受注者説明文	受注者側で報告書に付けるコメントを記入する。	同上	127			
	予備	その他予備事項があれば記入する。(複数記入可能)	同上	同上			

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2文字で全角文字1文字に相当する。

- 【記入者】 : 電子媒体作成者が記入する項目
 : 電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目
- 【必要度】 : 必須記入項目 : 条件付き必須記入項目（データが分かる場合は必ず記入する）
 : 任意記入項目
- 1：格納されている成果の種類（成果表、点の記、精度管理表...）の数を記入し、測量成果詳細情報以下は、種類の数分（M個）を繰り返し登録する。
 2：成果ファイル情報以下は、成果の数分（N個）を繰り返し登録する。

【解説】

(1) 測量区分フォルダ名

「測量区分」のフォルダ名を下記より選択して記入する。

表 4-73 測量区分フォルダ名称一覧表

測量区分	フォルダ名称
基準点測量	KITEN
水準測量	SUIJUN
地形測量	CHIKEI
路線測量	ROSEN
河川測量	KASEN
用地測量	YOUCHI

(2) 測量成果区分フォルダ名

測量作業の途中段階である測量記録(精度管理表、標定点配置図等)と、最終的な測量成果(成果表、DM データファイル等)とに分類して格納するためのサブフォルダ名を記入する。

- 測量記録.....「WORK」
- 測量成果.....「DATA」
- その他.....「OTHR」

(3) 測量細区分フォルダ名

測量細区分名称は、基準点測量又は水準測量における成果の等級分け格納を行った場合と、地形測量における測量記録の種類分け(作業工程別)による分割格納を行った際の「測量記録」格納フォルダを区分された「格納領域」であるサブフォルダ名を記入する。

また、応用測量（路線測量、河川測量、用地測量）の場合においても同様に、「測量記録」と「測量成果」の格納フォルダを区分された「格納領域」であるサブフォルダ名を記入する。

表 4 -74 基準点測量・水準測量・地形測量の測量細区分フォルダ名

測量区分	成果区分	測量細区分	サブフォルダ名
基準点測量 <KITEN>	測量記録 <WORK>	基準点測量 <KTN_*>	/KITEN 注1) /WORK/KTN_*
	測量成果 <DATA>	基準点測量 <KTN_*>	/KITEN /DATA/KTN_*
	その他データ <OTHR>		/KITEN /OTHR
水準測量 <SUIJUN>	測量記録 <WORK>	水準測量 <SJM_*>	/SUIJUN /WORK/SJM_*
	測量成果 <DATA>	水準測量 <SJM_*>	/SUIJUN /DATA/SJM_*
	その他データ <OTHR>		/SUIJUN /OTHR
地形測量 <CHIKAI>	測量記録 <WORK>	平板測量 <HETS_*>	/CHIKAI /WORK/HETS_*
		撮影 <SATU_*>	/CHIKAI /WORK/SATU_*
		空中三角測量 <KUSAN_*>	/CHIKAI /WORK/KUSAN_*
		図化 <ZUKA_*>	/CHIKAI /WORK/ZUKA_*
		地図編集 <ZUHEN_*>	/CHIKAI /WORK/ZUHEN_*
		既成図数値化 <MPDG_*>	/CHIKAI /WORK/MPDG_*
		その他地形測量 <OCHK_*>	/CHIKAI /WORK/OCHK_*
	測量成果 <DATA>		/CHIKAI /DATA
	その他データ <OTHR>		/CHIKAI /OTHR

注1) 測量区分内で測量作業を区別せず1つのサブフォルダで作成する場合
 KTN_A
 測量区分内で複数地区、複数精度等の測量作業を区別する場合
 KTN_A ~ KTN_Z、KTN_1 ~ KTN_9

- (4) 測量成果名称
 測量成果の名称を記入する。(例:精度管理表、観測手簿、点の記、等...)
- (5) 測量成果ファイル形式・測量成果レコードフォーマット
 測量成果ファイル形式を記入する。また、測量成果レコードフォーマットの名
 称または準拠した仕様等の説明を記入する。(例1、例2参照)

『測量成果ファイル形式』:「PDF」「TXT」「DM」「XML」「JPG」「DOC」等通常はファイルの拡張子を記入する。

『測量成果レコードフォーマット』:特に説明を要するものについては、必ず記入する。なお、市販の広く流通したファイル形式のものについては省略する。

(例1) 公共測量作業規程

(例2) 河川局独自形式

(例3) カンマ区切りのTXT形式ファイル

(6) 測量成果ファイル名

ファイル命名規則に従って付けた成果のファイル名を記入する。(拡張子含む)

(7) 測量成果ファイル名副題

成果ファイル個々について利用上副題をつけて管理することが望ましいものについて、成果の内容がわかる記述を行う。具体的内容は受発注者間の協議により定める。

4 - 8 - 5 事前協議事項

管理項目記入にあたり、以下の項目について事前に受発注者間で協議し、記入内容をあらかじめ決定すること。

- (ア) 測量成果ファイル名副題の記述内容（測量成果管理項目）
- (イ) 業務分野コード、業務キーワード

【解説】

(1) 測量成果ファイル名副題の記述内容

以下に示す場合は、「測量成果ファイル名副題（測量成果管理項目）」の記述内容について受発注者間で協議し、記入方法を決定しておくことが望ましい。

ファイル名だけではファイルの内容把握が困難であり、内容が把握できないことによりデータ利用に支障を来すことが予想される場合。

元々異なる命名規則（国土基本図図郭番号、図面名称等）が適用されている場合で、それが欠落することによりデータ利用に支障を来すことが予想される場合。

（測量成果ファイル名副題の記述内容の検討例）

- ・ DM データファイル ： 図郭番号
- ・ 点の記 ： 標識番号

(2) 業務分野コード、業務キーワード

業務分野コードおよび業務キーワードは付属資料 5 を参考に複数記入することが可能である。これらの管理項目は電子成果の体系的な整理や情報検索を行う上でキーとなるものであることから、受発注者間で登録するコード、キーワードを確認しておくことが望ましい。

4 - 9 電子媒体

4 - 9 - 1 使用媒体

成果品の電子納品において、納品に使用する媒体は、以下の各項目に従うものとする。

- CD-R の使用を原則とする。
- CD-R は、ISO9660 フォーマット(レベル1)を標準とする。
- 基本的には、1 枚の CD-R、MO に格納する。
- 複数枚の CD-R、MO に格納する場合には、「4 - 9 - 3 成果品が複数枚に渡る場合の処置」に従う。
- 納品時には、正副各 1 部ずつを納品する。

【解説】

- (1) 媒体は、監督職員との協議により、CD-R を原則とする。
- (2) CD-R で納品する場合、写真ファイル名にロングネームを使用する場合には、事前に CD-R のフォーマット形式を監督職員と協議するものとする。
- (3) 現状では、電子署名等による電子成果の元本性の担保は、制度面・技術面で十分確立されていないため、当面の暫定措置として納品媒体は CD-R(書き込みが一度しかできないもの)のみを利用する。
- (4) 上記のほか、成果が極めて大容量となり、CD-R による納品が困難である場合は、受発注者間協議により、納品媒体を決定する。

4-9-2 電子媒体に貼るラベルについて

成果品の電子納品時における使用媒体に用いるラベルについては、以下の各項目に従うものとする。

- 媒体のラベルには、以下のような情報を明記する。
 - 1) TECRIS 登録番号
 - 2) 助言番号
 - 3) 業務名称
 - 4) 作成年月
 - 5) 発注者名
 - 6) 受注者名
 - 7) 何枚目/総枚数
 - 8) ウイルスチェックに関する情報
 - 9) フォーマット形式(CD-R の場合)
- 媒体を入れるプラスチックケースのラベルの背表紙には、以下のような情報を横書きで明記する。
 - 1) 業務名称
 - 2) 作成年月

【解説】

- (1) 納品する CD-R にラベルを貼り、必要項目を全て記載するものとする。

TECRIS 登録されない業務については番号を「0」と記入する。

(例)



- (2) CD-R の場合は、ラベル面に直接印刷するか、専用のラベルを専用の貼付用器具で確実に貼り付けるものとする。

4-9-3 成果品が複数枚に渡る場合の処置

成果品を電子媒体で納品する場合、基本的には、1枚の媒体に格納する。ただし、データが容量的に1枚の媒体に納まらず複数枚の媒体に格納する場合は、以下の規則に従う。

- 各媒体に付けるラベルに何枚目/総枚数を明記する。
- 何枚目の媒体であっても媒体内のルートからのフォルダ構成は変えない。
- 何枚目の媒体であっても、業務管理ファイル(INDEX_D.XML)を各媒体のルート直下に添付する。ただし、各業務管理項目のメディア番号は、ラベルに明記してある 何枚目 /総枚数と整合を取る。

【解説】

- (1) 各媒体に付けるラベルに何枚目/総枚数を明記する。

(例)



- (2) 何枚目の媒体であっても媒体内のルートからのフォルダ構成は変えない。

分割された全ての媒体内に全てのフォルダが含まれている必要はなく、**分割された総枚数の中で必要なフォルダが含まれていれば良い。**

なお、ここでいう必要なフォルダとは、作成が必須とされるフォルダである。

表 4-75 作成必須フォルダ一覧

フォルダ階層	作成が必要なフォルダ
ルート直下	SURVEY、REPORT、DRAWING、PHOTO、BORING
SURVEY 内	KITEN、SUIJUN、CHIKEI、ROSEN、KASEN、YOUCHI、DOC
REPORT 内	ORG
PHOTO 内	DRA、PIC
BORONG 内	DATA、LOG、DRA、PIC、TEST

- (3) 何枚目の媒体であっても、業務管理ファイル(INDEX_D.XML)を各媒体のルート直下に添付する。ただし、各業務管理項目のメディア番号は、ラベルに明記してある **何枚目** /総枚数と整合を取る。

電子媒体のルート直下に添付される「業務管理ファイル(INDEX_D.XML)」には、成果品データが分割された場合を想定して記入する管理項目「メディア番号」が含まれるので、これらを正しく記入した後、分割された全ての媒体に業務管理ファイルを正しく添付しなければならない。

また、測量情報管理ファイル(SURVEY.XML)は、「SUEVEY」フォルダが分割された場合において、全ての媒体内に含まれる「SUEVEY」フォルダ直下に添付するものとする。

なお、各測量成果管理ファイル(SURV_KTN.XML、SURV_SJN.XML、SURV_CHI.XML、SURV_RSN.XML、SURV_KSN.XML、SURV_YCH.XML)は、該当するフォルダ内に格納する成果が含まれない場合は、添付しなくても良いものとする。

- (4) 分割された各媒体に含まれる測量情報管理ファイル(SURVEY.XML)と測量成果管理ファイル(SURV_KTN.XML、SURV_SJN.XML、SURV_CHI.XML、SURV_RSN.XML、SURV_KSN.XML、SURV_YCH.XML)は、全て同一のものを格納するものとする。

成果品を複数枚の媒体にわけて格納する場合の例を以下に示す。

- (例1) 基準点測量と地形測量で分割した場合(「SURVEY」内で分割)

「図4-18 成果品の複数枚の電子媒体への格納例(1)」参照

- (例2) 基準点測量内で分割した場合(「KITEN」内で分割)

「図4-19 成果品の複数枚の電子媒体への格納例(2)」参照

【「SURVEY」内で分割した場合】

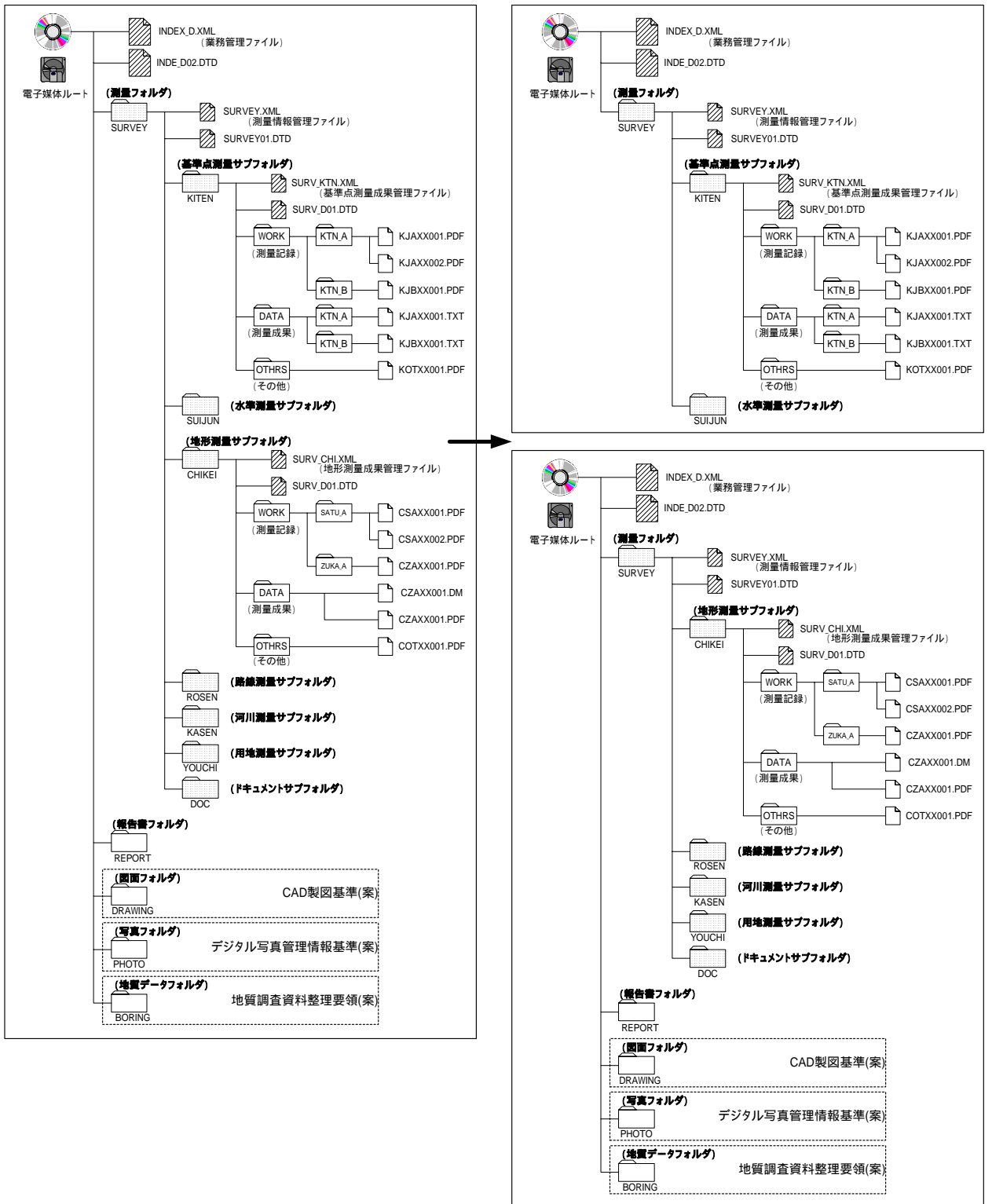


図 4-18 成果品の複数枚の電子媒体への格納例(1)

各媒体内の「SURVEY.XML」は同一のものを格納する。

【サブフォルダ「KITEN」内で分割した場合】

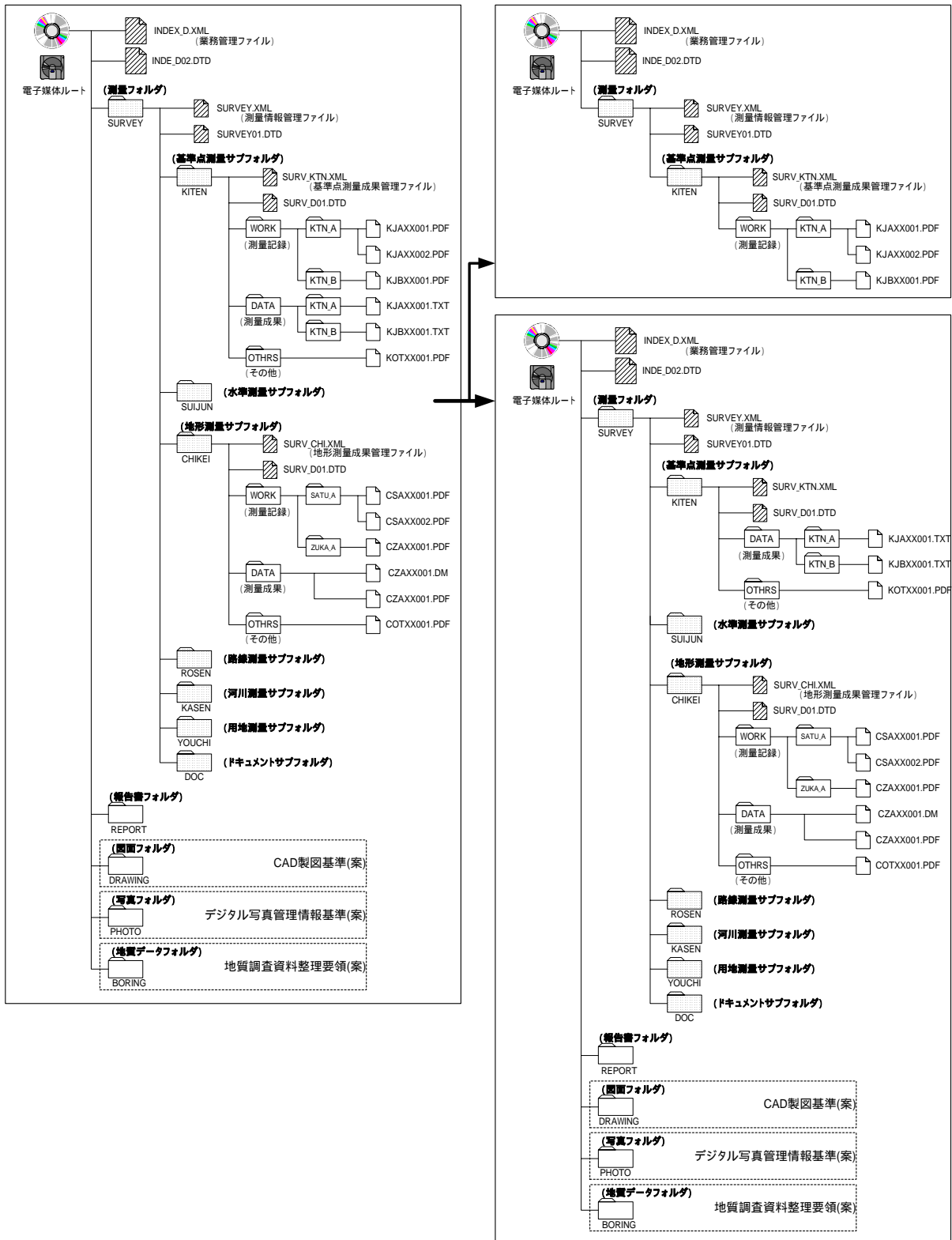


図 4-19 成果品の複数枚の電子媒体への格納例(2)

各媒体内の「SURVEY.XML」、「SURV_KTN.XML」は同一のものを格納する。

5 業務実施中の打ち合わせ方法

業務実施中の打ち合わせについては、積極的に電子メール等を活用し、円滑な業務実施を心がける

(1) 電子メールの利用

電子メールで確認した内容に関しても、必要に応じて打合せ協議簿を作成し、業務完了時に提出する。その際、メールでのすべての内容を対象とせず、最終的に決定された内容とその経緯などをまとめたものとする。

なお、電子メールの交換に関しては問題が生じないように、受発注者間で互いのメールアドレスからファイルの添付方法に至るまで、確認ないし通知し合うものとする。

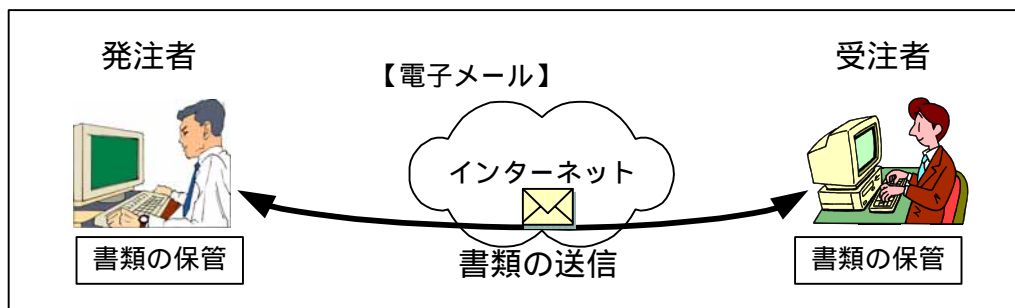


図 5-1 電子メールを利用した情報交換

(2) 情報共有サーバの利用

情報共有サーバの利用については、北海道開発局の現場における電子納品に関する事前協議ガイドライン(案)[土木工事編]に準ずるものとする。

(3) コンピュータウィルス対策

インターネットに接続した機器で電子データを交換・共有している環境はウィルスに感染する危険が高いと言える。ウィルス対策には様々な手法があるが、例えば、データを交換・共有するすべてのコンピューターにウィルス対策ソフトを常駐させ、定期的に最新のウィルスパターンに更新する等の対策を実施する必要がある。なお、交換用電子データは必ずウィルスチェックを行うものとする。

また、日々の電子化書類のやり取りでウィルスが発見・駆除された場合は、文書の作成者に速やかに連絡し、感染源を特定して対策を打つものとする。

6 検符および押印の取り扱い

電子納品する測量成果等については、当面の間は検符および押印を要さないものとする。

【解説】

国土交通省公共測量作業規程では、受注者が作業工程の中で観測値、計算結果等の確認に必要な点検を行うこと、更に精度管理表等で確認者の押印をする様式が定められている。これまで紙媒体で納品されてきた測量成果等では、当該の測量成果等上に直接、検符や押印がなされ点検作業の証拠とされてきた。

この紙媒体の測量成果等に直接検符、押印を行う方法を電子的に置き換えるものとしては電子的な検符や電子署名の方法があるが、未だ十分には確立した技術になっていない状況である。

このため、当面の間、電子納品する測量成果等については検符および押印を要さないものとし、点検方法および押印した証拠書類の納品および方法については受発注者間の協議により定めることとする。

受注者での点検作業は、電子納品を行う測量成果等から点検用に紙出力を行い、この上で点検を行い、検符および押印を行うものとする。この際、電子納品を行う測量成果等との原本性を保証するものでなければならない。

【補足】

電子的に作成した測量成果品の検符および押印は、その行為を行った証拠として「電子署名」を行うが、この技術が確立するまでは暫定処置として原本性確保のため、電子納品の媒体はCD-R（書き込みが1度しかできないもの）のみを利用する。なお、検符前の測量成果の形態の違いによる検符・補正は以下の通り対応する。

【検符前の測量成果が紙面の場合】

そのまま検符等を行い、その結果をスキャナでイメージ化（電子化）する。

- ・検符OK 検符したもの（紙）をイメージ化し、電子納品する。
- ・検符× 成果（紙）を補正し、検符を行なう。

【検符前の測量成果が電子データの場合】

印刷出力したのに対して検符等を行なう。

- ・検符OK 当該電子データを要領（案）に従って作成（ファイル名、ファイル形式等）する。検符等した印刷物については、受発注者間の協議により、別途納品する。
- ・検符× 成果（電子データ）を補正し、印刷出力を行なった後、検符を行なう。

7 第三者検定の実施方法

電子納品を行う測量成果等を第三者機関が検定する場合は、第三者機関は、受注者から提出される電子納品用として完成した CD-R から検査用に紙出力を行い、この上で必要な検査を行う。受注者は、第三者機関から発行される検定証明書とともに当該 CD-R を納品する。

【解説】

国土交通省公共測量作業規程では、計画機関が高精度を要するもの又は利用度の高いものとして指定する測量成果等について、納品前に検定に関する技術を有する第三者機関による検定を受けなければならないとしている。

これまでは、納品する成果品に直接検符を打つことで点検した証拠としていたが、電子化した測量成果品には、点検した証拠である検符を直接打つことが出来ない。

よって、今回電子納品を行う測量成果等を第三者機関が検定する場合には、完成した納品用の CD-R から検定用に紙出力を行い、これに直接検符を行うことによって検査を行うこととする。第三者機関は当該 CD-R に検定済の証明を行うとともに、検定証明書を発行し、受注者は検定証明書とともに当該 CD-R を納品する。検定証明書には、点検済み電子データの有効性を証明（作成途中の成果でないことの証明）するための資料としてファイル名とその保存された日時を明記した記録を添付する。

検符を付した点検用の出力紙は、保存期間を受発注者間の協議により設定して受注者が保管する。

第三者機関検定を行う場合、「6 検符および押印の取り扱い」で受注者が自社内で行った点検作業の証拠書類の納品については、一定期間を定めて受注者側で保管する等、受発注者間で協議する。

【補足】

1) 検定用の紙出力について

第三者機関が行う検定は、納品用の CD-R から検定用に紙出力して行うため、出力用の装置は、第三者機関で準備する必要がある。しかし、すべてのデータを出力するための装置を第三者機関で準備することは出力ソフトの種類および出力量の面から困難であるため、第三者機関は、受注者に出力を依頼することができる。この場合、受注者は、出力紙の原本性を保証するため、出力紙の余白にファイル名等の印字を行うものとする。

2) 検定済みの証明

第三者機関は、当該 CD-R 適合性を確認した場合には、図 7-1 および図 7-2 の検定証明書を発行すると共に CD-R のラベル面には、図 7-3 および図 7-4 に示すと

おり「検定済」の印を印刷するものとする。

検 定 証 明 書

第〇〇〇〇号
平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇 〇 株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇殿

検定機関 (住所)
(氏名) 印

下記の調査成果及び記録(資料)は、調査成果品検定期間に基づいて机上検定した結果、
別添検定記録書に記載のとおり適合していることを証明します。

記

調査作業名 〇〇業務

地区名 〇〇市

調査種別 〇〇調査

作業量 〇〇kwh

調査作業規程名 〇〇調査作業規程

検定済みファイル数 18 個 708,990 バイトのファイルが有効 (別紙1参照)

図 7-1 検定証明書の例

別紙1

検定の結果、以下に示すファイルが有効であることを証明します。

データ格納フォルダ名 VSURVEYMKIJUNTENWKITENWKITEN1

ファイル名	容量(バイト)※	作成年月日	作成時間
KJA02007.csv	229	2001/10/22	23:49
KJA01002.pdf	456,373	2001/11/8	20:38
KJA02001.csv	269	2001/10/22	23:42
KJA02002.csv	268	2001/10/22	23:43
KJA02003.csv	268	2001/10/22	23:45
KJA02004.csv	268	2001/10/22	23:46
KJA02005.csv	230	2001/10/22	23:47
KJA02006.csv	233	2001/10/22	23:48
KJA01001.pdf	248,570	2001/11/8	20:27
KJA02008.csv	225	2001/10/22	23:49
KJA02009.csv	303	2001/10/22	23:50
KJA02010.csv	303	2001/10/22	23:51
KJA02011.csv	287	2001/10/22	23:52
KJA02012.csv	242	2001/10/22	23:53
KJA02013.csv	268	2001/10/22	23:54
KJA02014.csv	304	2001/10/22	23:55
KJA02015.csv	269	2001/10/22	23:56
18 個	708,990 バイトのファイルが有効です		

※容量はエクスプローラ等の表示ではなくプロパティ表示による。

図 7-2 検定証明書(別紙)の例

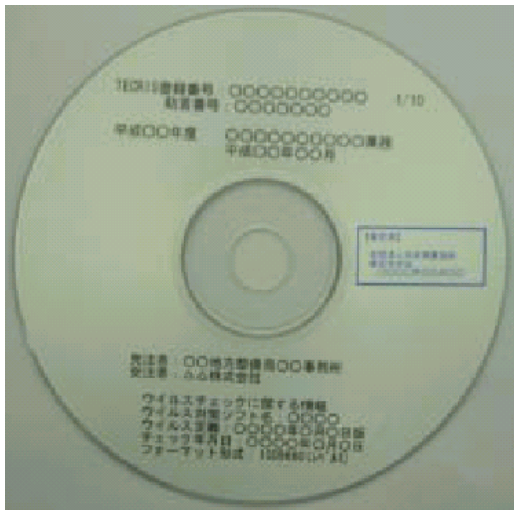


図 7-3 「検定済」印を印刷した例

【検定済】

検定機関名

検定年月日:

年 月 日

図 7-4 「検定済」印

8 検査時の対応

受発注者間で、検査が効率よく行なえるように電子データと紙データを使い分けるために関係書類や担当について協議を行なう。

検査の準備は原則として発注者が行い、CALS/ECを推進するためにもできるだけ電子データで検査することが望ましい。

(1) 電子成果物により検査を行う書類の範囲

業務成果品の電子納品は、事前協議において決められた範囲を対象とする。

基準未策定のものや電子化が困難なものは紙で納品されるため、成果物に紙と電子データが混在することになる。この結果、従来の紙のみの検査と比較して、電子成果物のすべてを電子データで検査することは、必ずしも効率的でない。したがって、電子納品された書類でも、印刷物を準備して書類検査することもできる。

なお、検査に必要な印刷物の準備は発注者が行うものとするが、発注者が応分の費用を負担し、受注者に準備させてもよい。

(2) 書類検査用機器構成

検査方法の例として、受注者はパソコンを操作して、検査官は外付けディスプレイ画面で確認する。その他の関係者は、プロジェクターに映し出されたスクリーンを閲覧する方法がある。

以下は機器構成配置例である。

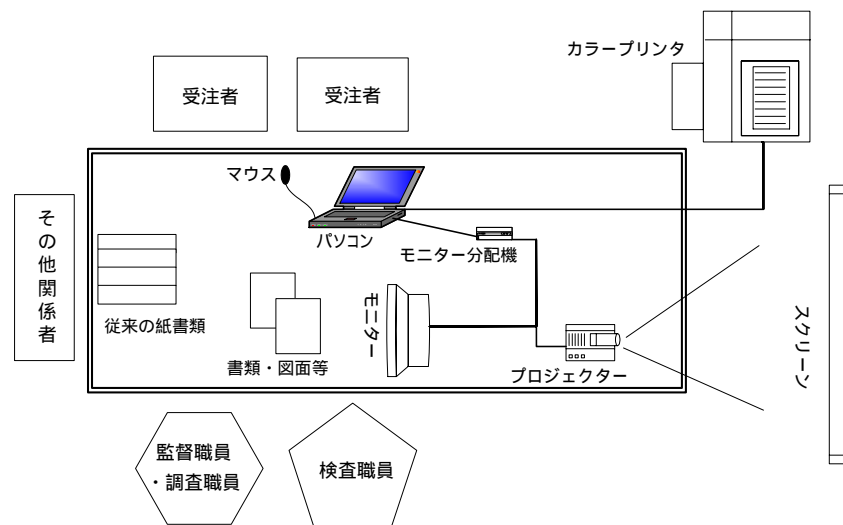
- 文書・図面・写真閲覧用パソコン1台

モニターは、縦A4版をほぼ1画面で表示でき、文字を識別できる17インチ以上、解像度1280×1024(19インチ以上が望ましい)

- カラープリンタ(A3版まで出力可能なもの)1台

書類検査の過程で、検査官が印刷物を必要であると認めた場合に対応するために準備する。

- プロジェクター・スクリーン各1台



(3) 閲覧用ソフトウェア

検査時における書類の閲覧は、市販の閲覧用ソフトウェア等の機能を利用して行う。また、受注者側の都合でソフトウェアを準備する場合には、機器(パソコンなど)を含めて用意することができるものとする。

(4) 機器の操作

検査官が閲覧を希望する書類の検索・表示を行うための機器操作は、原則として受注者が行う。受注者は、電子媒体の内容や閲覧用ソフトの機能を熟知する者を、操作補助員としてつけても良い。

(5) 電子媒体の授受

検査に合格した後、受注者は納品書を作成して発注者に提出する。なお、電子納品業務においては提出されている電子媒体が原本となる。

様式 -

電 子 媒 体 納 品 書

殿

請負者 (住所)
(氏名)

(管理技術者氏名) 印

下記のとおり電子媒体を納品します。

記

業務名				TECRIS登録番号	
電子媒体の種類	規 格	単 位	数 量	作成年月	備考

備考 1. 監督職員に提出

9 その他留意事項

9-1 ウイルス対策

成果品の電子納品において、納品前には、必ず以下の各項目に従ってウイルス対策を行う。

- 各受注者は、納品すべき最終成果品が完成した時点で、ウイルスチェックを行う。
- ウイルス対策ソフトは特に指定はしないが、シェアの高いものを利用する。
- 最新のウイルスも検出できるように、ウイルス対策ソフトは常に最新のデータに更新(アップデート)したものを利用する。
- 納品する媒体のラベルに、ウイルスチェックに関する情報として以下を記載する。
 - 1) 使用したウイルス対策ソフト名
 - 2) ウイルス(パターンファイル)定義年月日、またはパターンファイル名
 - 3) チェック年月日

9-2 使用文字

報告書の電子データを作成する上での使用文字については、以下の各項目に従うものとする。

- 半角文字(1バイト文字)は JIS X 0201 で規定されている文字から片仮名用図形文字を除いたラテン文字用図形文字のみとする。
- 全角文字(2バイト文字)は JIS X 0208 で規定されている文字のみとする。
- 利用者が作成した外字、機種依存文字、特殊なフォントは、認めないものとする。

- (1) 長期的な可読性を確保するため、使用できる文字を必要最小限に絞ることとした。なお、使用文字に関する対象は次のとおりとする。
 - ・XML 文書の作成
 - ・オリジナルファイルの作成
 - ・PDF 形式ファイルの作成
- (2) もともと OS に備わっておらず、利用者が独自に作成した外字は、他の端末では表示できないので、使用を認めないこととした。地名や人名などの表現で特殊文字が必要な時(利用者が作成した外字や機種依存文字の使用が必要な場合等)は、ひらがなもしくはカタカナなどの標準化された全角文字で表現することとした。ただし、地名や人名で特殊文字の使用がやむをえない場合は、監督職員との協議により、オリジナルファイルはイメージデータとして埋め込むことができることとした。
- (3) 文字の定義
 - 1) 全角文字(ただし英数字は半角のみ)
重複符号化の原則に基づき、JIS X 0208 で規定されている文字から数字とラテン文字を除いた文字。
 - 2) 半角英数字
JIS X 0201 で規定されている文字から片仮名用図形文字を除いた文字。
 - 3) 半角英数大文字
「半角英数字」からラテン小文字(LATIN SMALL LETTER A~Z)を除いた文字。
 - 4) 半角数字
JIS X 0201 で規定されている文字のうちの数字(DIGIT ZERO ~ NINE)および小数点(.)のみ。

9-3 電子化が困難な資料の取り扱い

電子化が難しい空中写真類や複製用ポジ原図(第二原図)等の取り扱いについては、事前に対象書類を協議する必要がある。

【解説】

測量成果等のうち、電子化することにより本来の精度・品質を確保することが現状では困難と考えられる成果は、電子化が困難な資料として電子納品の「対象外」とすることとした。

- 地形図原図
- 複製用ポジ原図(第二原図)
- 空中写真、密着空中写真
- ネガフィルム、ポジフィルム
- 密着印画
- 編集原図、編集素図

また、以下に該当する成果についても要領(案)では電子化の対象外として定めた(4.ファイル形式参照)。

- (1) 従来アナログ的手法により実施される作業の成果であり、作業規程で別途電子化手法による成果の納品が規定されているもの
(例) 平板測量における地形図原図を電子化して納品する場合は、「既成図数値化」の成果(DMデータファイル)として納品する。
- (2) 原本自体に意味があるもの
(例) 建標承諾書、測量標設置位置通知書

9 - 4 測地系

本要領(案)で扱う測地系は、世界測地系とする。

【解説】

測量法改正(平成 13 年 6 月 20 日)によって、平成 14 年 4 月 1 日から測量法に従って行われる公共測量は、新しい測地系(世界測地系)に準拠して行うこととなった。このため、平成 14 年度以降国土交通省の公共測量業務の電子納品に適用される本要領(案)では、新しい測地系(世界測地系)に準拠した測量成果での納品を義務付けるものである。

10 資料

10-1 数値データ形式

10-1-1 数値データ基本構造

- 1) 成果表出力フォーマットは、1行1レコードのテキストファイルとする。
- 2) 文字コードは、ASCIIコード、漢字コードは、シフトJISコードとする。使用文字は、9-2使用文字を参照。
- 3) 成果表出力フォーマットのファイルは、拡張子を“TXT”とする。

10-2 成果表出力フォーマット

10-2-1 成果表出力フォーマットレコードの記述方法

データ区分	区切り	項目 1	区切り	・ ・ ・ ・	項目 n	区切り	CRLF
-------	-----	------	-----	---------	------	-----	------

- | | |
|-----------|---|
| データ区分 | <ul style="list-style-type: none"> ・ その行のデータの種類を表す記号。この情報は省略できない。 ・ 1文字目が英字で2、3文字目が数字の3文字とする。 |
| 区切り | <ul style="list-style-type: none"> ・ 各データの項目は、”,”(カンマ)によって区切るものとする。 ・ 項目を省略する場合は、”,”とする。 |
| 項目 1～項目 n | <ul style="list-style-type: none"> ・ データ区分に応じて項目数は変わり、次ページ以降の記載通りとする。 |
| CRLF | <ul style="list-style-type: none"> ・ 各行の終了コード(0D0Ah)で、各行の最大長は、CRLFを含まず、128バイトとする。 |

成果表出力フォーマット注意事項

- 1) 名称・コメントなど、文字として認識するデータには、“,”(カンマ)を使用しないこととする。
- 2) 名称、コメント以外のデータは、半角文字とする。

10-2-2 フォーマット

(1) 基準点測量成果表フォーマット

1) コメントデータ(コメントを示すデータ)

Z00 , コメント , CRLF

Z00	コメントを示すデータ区分。	省略不可
コメント	桁数の制限はしない。	省略可

2) タイトルデータ(業務のタイトル名を示すデータ)

Z01 , タイトル , CRLF

Z01	タイトルを示すデータ区分。	省略不可
タイトル	桁数の制限はしない。	省略可

3) 測地系データ(測地系を示すデータ)

Z02 , 測地系 , 座標系 , CRLF

Z02	測地系を示すデータ区分。	省略不可
測地系	0:世界測地系、1:日本測地系	省略不可
座標系	平面直角座標系	省略可

4) 座標出力開始データ(座標データの出力開始を示すデータ)

A00 , CRLF

A00	座標データの出力開始を示すデータ区分。	省略不可
-----	---------------------	------

5) 座標データ(点の座標を示すデータ)

A01 , 点番号 , 点名称 , 緯度 , 経度 , X座標 , Y座標 , 座標系 , 標高 , ジオイド高 , CRLF

A01	座標データを示すデータ区分。	省略不可
点番号	5桁の整数とする。	省略不可
点名称	40バイト以下	省略不可
緯度, 経度	緯度は、小数点形式(DD°.MM SS SSSS)とし、秒以下4桁までとする。 経度は、小数点形式(DDD°.MM SS SSSS)とし、秒以下4桁までとする。 X, Y座標の記載がある場合は省略可。	省略可
X, Y	小数点形式、m単位とし、m以下3桁までとする。 緯度、経度の記載がある場合は省略可。	省略可
座標系	平面直角座標系	省略不可
標高	小数点形式、m単位とし、m以下3桁までとする。 水平網のみの場合省略可。	省略可
ジオイド高	小数点形式、m単位とし、m以下3桁までとする。 水平網のみの場合省略可。	省略可

6) 属性データ (点の属性を示すデータ)

A02 , 等級, 縮尺係数, 真北方向角, 柱石長, 埋標形式, 標識, 標識番号, CRLF

A02	属性データを示すデータ区分。	省略不可
等級	2桁の整数とする。 10: 電子基準点 11~14: 1等~4等 21~24: 1級~4級	省略不可
縮尺係数	小数点形式、小数点以下6桁までとする。	省略不可
真北方向角	小数点形式 (DD° . MM SS S) とし、秒以下1桁までとする。	1, 2級は省略不可 3, 4級は省略可
柱石長	小数点形式、m単位とし、m以下2桁までとする。	省略可
埋標型式	0: 地上、1: 地中、2: 屋上	省略不可
標識	0: 標石、1: 金属標、9: その他	省略不可
標識番号	桁数の制限は行なわず、各社システムに取り込む際、有効桁数に調整する。	1, 2級は省略不可 3, 4級は省略可

7) 視準データ (視準成果の方向数を示すデータ)

A03 , 方向数, CRLF

A03	視準成果データを示すデータ区分。	省略不可
方向数	2桁の整数とする。	省略不可

8) 視準データ (点の視準成果を示すデータ)

A04 , 点番号, 点名称, 等級, 平均方向角, 距離, 備考, CRLF

A04	視準成果データを示すデータ区分。	省略不可
点番号	5桁の整数とする。	省略不可
点名称	40バイト以下	省略不可
等級	2桁の整数とする。 10: 電子基準点 11~14: 1等~4等 21~24: 1級~4級	省略不可
平均方向角	平均方向角は、小数点形式 (DD° . MM SS S) とし、秒以下1桁までとする。	省略不可
距離	小数点形式、m単位とし、m以下3桁までとする。	省略不可
備考	桁数の制限は行なわず、各社システムに取り込む際、有効桁数に調整する。	省略可

9) 座標出力終了データ (座標データ出力終了を示すデータ)

A99 , CRLF

A99	座標データの出力終了を示すデータ区分。	省略不可
-----	---------------------	------

出力例 1

Z00, SEIKA_Ver.1,
 Z01, 平成 13 年度 1 級基準点測量 (範例集データ) ,
 Z02, 0, 9,
 A00,
 A01, 1, 広尾, 36.02416679, 140.09147463, 5029.510, 28898.460, 9, 37.150, 33.570,
 A02, 13, 0.999910, -0.11195, 0.79, 0, 0, 1,
 A03, 1,
 A04, 4, 1, 21, 192.13210, 747.348, ,
 A99,

出力例 2

Z00, SEIKA_Ver.1,
 Z01, 平成 13 年度 1 級基準点測量 (範例集データ) ,
 Z02, 0, 9,
 A00,
 A01, 4, 1, 36.02179849, 140.09083291, 4299.168, 28740.254, 9, 23.180, 34.751,
 A02, 21, 0.999910, -0.11156, 0.60, 0, 1, 1,
 A03, 2,
 A04, 1, 広尾, 13, 12.13211, 747.348, ,
 A04, 5, 2, 21, 183.59117, 1329.395, ,
 A99,

出力例 3

Z00, SEIKA_Ver.1,
 Z01, 平成 13 年度 1 級基準点測量 (範例集データ) ,
 Z02, 0, 9,
 A00,
 A01, 5, 2, 36.01349635, 140.09044637, 2973.109, 28647.839, 9, 33.946, 42.766,
 A02, 21, 0.999910, -0.11131, 0.09, 2, 1, 2,
 A03, 3,
 A04, 4, 1, 21, 3.59119, 1329.395, ,
 A04, 2, 浅川, 13, 85.14023, 1091.503, ,
 A04, 3, 上野山, 13, 262.39258, 987.435, ,
 A99,

(2) 水準測量成果表フォーマット

1) コメントデータ(コメントを示すデ - タ)

Z00 , コメント , CRLF

Z00	コメントを示すデ - タ区分。	省略不可
コメント	桁数の制限はしない。	省略可

2) タイトルデータ(業務のタイトル名を示すデ - タ)

Z01 , タイトル , CRLF

Z01	タイトルを示すデ - タ区分。	省略不可
タイトル	桁数の制限はしない。	省略不可

3) 種類データ(水準成果の種類を示すデ - タ)

Z03 , 成果の種類 , CRLF

Z03	成果の種類を示すデ - タ区分。	省略不可
成果の種類	桁数の制限はしない。	省略可

4) 座標出力開始データ(座標デ - タの出力開始を示すデ - タ)

S00 , CRLF

S00	座標デ - タの出力開始を示すデ - タ区分。	省略可
-----	-------------------------	-----

5) 座標データ(点の座標を示すデ - タ)

S01 , 点番号 , 点名称 , 緯度 , 経度 , X座標 , Y座標 , 座標系 , 平均標高 , 等級 , CRLF

S01	座標デ - タを示すデ - タ区分。	省略不可
点番号	11 桁の整数を標準とする。	省略不可
点名称	40 バイト以下	省略可
緯度 , 経度	緯度は、小数点形式(DD° . MM SS SSSS)とし、秒以下4桁までとする。 経度は、小数点形式(DDD° . MM SS SSSS)とし、秒以下4桁までとする。	省略不可
X, Y	小数点形式、m単位とし、m以下3桁までとする。	省略可
座標系	平面直角座標系	省略不可
平均標高	小数点形式、m単位とし、m以下4桁までとする。	省略不可
等級	2桁の整数とする。 11~14:1等~4等 21~24:1級~4級 25:簡易	省略不可

6) 座標出力終了データ(座標デ - タの出力終了を示すデ - タ)

A99 , CRLF

S99	座標デ - タの出力終了を示すデ - タ区分。	省略不可
-----	-------------------------	------

出力例

Z00,01,SEIKS,Ver.1,
Z01,平成13年度1級水準測量,
Z03,2000年度平均成果,
S00,
S01,00000000001,,36.02179849,140.09083291,,,9,144.6150,21,
S01,00000000002,,36.021819491,140.09329108,,,9,109.7710,21,
S99,

(3) 水準測量観測成果表フォーマット

1) コメントデータ(コメントを示すデ - タ)

Z00 , コメント , CRLF

Z00	コメントを示すデ - タ区分。	省略不可
コメント	桁数の制限はしない。	省略可

2) タイトルデータ(業務のタイトル名を示すデ - タ)

Z01 , タイトル , CRLF

Z01	タイトルを示すデ - タ区分。	省略不可
タイトル	桁数の制限はしない。	省略可

3) 種類データ(水準成果の種類を示すデ - タ)

Z03 , 成果の種類 , CRLF

Z03	成果の種類を示すデ - タ区分。	省略不可
成果の種類	桁数の制限はしない。	省略不可

4) 出力開始データ(デ - タの出力開始を示すデ - タ)

P00 , CRLF

P00	水準測量観測成果表の出力開始を示すデ - タ区分。	省略不可
-----	---------------------------	------

5) 路線開始データ(路線開始を示すデ - タ)

P01 , 路線番号 , CRLF

P01	路線開始を示すデ - タ区分。	省略不可
路線番号	桁数の制限はしない。	省略不可

6) 地区情報データ(測量地区を示すデ - タ)

P02 , 自水準点番号 , 至水準点番号 , 自地区名 , 至地区名 , CRLF

P02	地区情報を示すデ - タ区分。	省略不可
自水準点番号	先頭の自水準点番号を入力する。	省略不可
至水準点番号	最後の至水準点番号を入力する。	省略不可
自地区名	桁数の制限はしない。	省略不可
至地区名	桁数の制限はしない。	省略不可

7) 観測情報データ(観測情報を示すデ - タ)

P03 , 観測者 , 測器名称 , 測器番号 , 標尺名称 , 標尺番号 , 膨張係数 , 標尺係数 , CRLF

P03	観測情報を示すデ - タ区分。	省略不可
観測者	桁数の制限はしない。	省略不可
測器名称	桁数の制限はしない。	省略不可
測器番号	桁数の制限はしない。	省略不可
標尺名称	桁数の制限はしない。	省略不可
標尺番号	桁数の制限はしない。	省略不可

膨張係数	小数点形式、小数点以下2桁までとする。	省略不可
標尺係数	小数点形式、小数点以下2桁までとする。	省略不可

8) 路線終了データ (路線終了を示すデータ)

P04, CRLF

P04	路線終了を示すデータ区分。	省略不可
-----	---------------	------

9) 観測比高データ

P05, 水準点1, 水準点2, 距離, 往復観測数, 水準差1, 水準差2, 温度, 標尺補正数, 観測高低差, 観測月日, 変動補正数, 観測高低差結果, 備考, CRLF

P05	観測比高を示すデータ区分。	省略不可
水準点1	桁数の制限は行なわず、各社システムに取り込む際、有効桁数に調整する。	省略不可
水準点2	桁数の制限は行なわず、各社システムに取り込む際、有効桁数に調整する。	省略不可
距離	小数点形式、km単位とし、km以下3桁までとする。	省略不可
往復観測数	整数値とする。	省略不可
水準差1	小数点形式、m単位とし、m以下4桁までとする。	省略不可
水準差2	小数点形式、m単位とし、m以下4桁までとする。	省略不可
温度	単位は摂氏とし、整数値とする。	省略不可
標尺補正数	小数点形式、mm単位とし、mm以下1桁までとする。	省略不可
観測高低差	小数点形式、m単位とし、m以下4桁までとする。	省略不可
観測月日	月と日を/で区切ることとする。(例 1/31)	省略不可
変動補正数	小数点形式、mm単位とし、mm以下1桁までとする。地盤沈下調査は省略不可。	省略可
観測高低差結果	小数点形式、m単位とし、m以下4桁までとする。地盤沈下調査は省略不可。	省略可
備考	桁数の制限はしない。	省略可

10) 観測点データ

P06, 水準点番号, 観測標高, 楕円補正, 重力補正, 結果, 与点・求点の別, 備考, CRLF

P06	共通情報を示すデータ区分。	省略不可
水準点番号	P05で使用されている名称を使用する。	省略不可
観測標高	小数点形式、m単位とし、m以下4桁までとする。	省略不可
楕円補正	小数点形式、mm単位とし、mm以下1桁までとする。	省略可
重力補正	小数点形式、mm単位とし、mm以下1桁までとする。	省略可
結果	小数点形式、m単位とし、m以下4桁までとする。	省略不可
与点・求点の別	0: 求点、1: 与点	省略不可
備考	桁数の制限はしない。	省略可

11) 距離合計データ (距離合計を示すデータ)

P07 , 距離合計, CRLF

P07	路線距離合計を示すデータ区分。	省略不可
距離合計	小数点形式、km単位とし、km以下3桁までとする。	省略不可

12) 距離累計データ (距離累計を示すデータ)

P08 , 距離累計, CRLF

P08	路線距離合計を示すデータ区分。	省略不可
距離累計	小数点形式、km単位とし、km以下3桁までとする。	省略不可

13) 出力終了データ (終了を示すデータ)

P99 , CRLF

P99	観測成果表データの出力終了を示すデータ区分。	省略不可
-----	------------------------	------

データ構造について

P01 ~ P07 のデータは下の構造体を一組とし、必要な路線数分だけ出力される。

Z00

Z01

Z03

P00

P01

P02

P03

P05 (測線数分)

P06 (測点数分)

P07

P04

P01

P02

P03

P05 (測線数分)

P06 (測点数分)

P07

P04

P01

P02

P03

P05 (測線数分)

P06 (測点数分)

P07

P04

P08

P99

出力例

Z00,SEIKAVer.1,
 Z01,平成13年度1級水準測量,
 Z03,2001年度観測成果,
 P00,
 P01,1,
 P02,BM.1,BM.2, 県 郡 町, 県 郡 町,
 P03,観測者,測器, NO.12345,標尺, NO.1234A・B,0.89,1.7,
 P05,BM.1,41,1.300,34,4.5476,-4.5464,8,0.0,4.5470,1/28,,,,,
 P05,41,BM.2,1.206,32,-8.5199,8.5189,6,0.0,-8.5194,1/28,,,,,
 P06,BM.1,5.1245,,,5.1245,0,199 年平均成果,
 P06,41,9.6715,0.0,,,9.6715,1,,
 P06,BM.2,1.1521,0.0,,1.1521,0,,
 P07,2.506,
 P04,
 P01,2,
 P02,BM.2,42, 県 郡 町, 県 郡 町,
 P03,観測者,測器, NO.12345,標尺, NO.1234A・B,0.89,1.7,
 P05,BM.2,43,1.365,34,3.1216,-3.1206,9,0.0,3.1211,1/29,,,,,
 P05,43,42,1.005,28,-2.2469,2.2453,11,0.0,-2.2461,1/28,,,,,
 P06,BM.2,1.1515,,,1.1515,0,199 年平均成果,
 P06,43,4.2726,0.0,,,4.2726,1,,
 P06,42,2.0265,0.0,,,2.0265,1,,
 P07,2.370,
 P04,
 P01,3,
 P02,42,BM.1, 県 郡 町, 県 郡 町,
 P03,観測者,測器, NO.12345,標尺, NO.1234A・B,0.89,1.7,
 P05,42,BM.1,1.405,36,3.0973,-3.0967,8,0.0,3.0970,1/30,,,,,
 P06,42,2.0265,,,2.0265,1,,
 P06,BM.1,5.1235,0.0,,,5.1235,0,0,,
 P07,1.405,
 P04,
 P01,4,
 P02,BM.2, BM.3, 県 郡 町, 県 郡 町,
 P03,観測者,測器, NO.12345,標尺, NO.1234A・B,0.89,1.7,
 P05,BM.2,44,1.023,28,6.4706,-6.4716,8,0.0,6.4711,1/30,,,,,
 P05,44,45,1.102,26,-3.0899,3.0891,7,0.0,-3.0895,1/31,,,,,
 P05,45,BM.3,1.082,26,-2.5430,2.5434,5,0.0,-2.5432,1/31,,,,,
 P06,BM.2,1.1515,,,1.1515,0,199 年平均成果,
 P06,44,7.6226,0.0,,7.6226,1,,
 P06,45,4.5331,0.0,,4.5331,1,,
 P06,BM.3,1.9899,0.0,,1.9899,0,,
 P07,3.207,
 P04,
 P01,5,
 P02,BM.3, 42, 県 郡 町, 県 郡 町,
 P03,観測者,測器, NO.12345,標尺, NO.1234A・B,0.89,1.7,
 P05,BM.3,42,1.395,40,0.0375,-0.0387,4,0.0,0.0381,1/31,,,,,
 P06,BM.3,1.9890,,,1.9890,0,199 年平均成果,
 P065,42,2.0271,0.0,,2.0271,1,,
 P07,1.395,
 P04,
 P08,10.883,
 P99,

事前協議チェックシート(測量の例)

協議事項	協議の実施	協議内容と結果	備考
成果品の管理項目			
業務管理項目			要領(案)3-1参照。
場所情報	確認	「測点」、「距離標」、「境界座標」のうち、「境界座標」とする。	要領(案)3-1参照。「測点」、「距離標」、「境界座標」のいずれかとする
測量情報管理項目			要領(案)3-2参照。
区域情報	確認	「境界座標」、「平面直角座標」のうち、「平面直角座標」とする。	要領(案)3-2参照。「境界座標」、「平面直角座標」のいずれかとする
測量成果管理項目			要領(案)3-3参照。
測量成果ファイル名副題	確認	副題はつけない。	要領(案)3-3参照。
ファイル形式			
報告書ファイルの容量			
報告書ファイルの容量	協議	作成者の任意とする。	土木設計業務等の電子納品要領(案)4.参照。
報告書オリジナルファイルを作成するソフト及びファイル形式			
ワープロ	協議	ワープロ Ver6を使用し、ファイル形式も同ソフトの形式とする。	土木設計業務等の電子納品要領(案)4.参照。作成ソフトとファイル形式を規定する。
表計算	協議	表計算 Ver5を使用し、ファイル形式も同ソフトの形式とする。	同上
図形(ドローイングソフト)	協議	Ver4を使用し、ファイル形式は形式とする。	同上
CADソフト	協議	****Ver3を使用する。	同上
イメージファイルの形式	協議	Ver2を使用し、ファイル形式は形式とする。	同上
図面ファイルのファイル形式			
CADデータ交換フォーマット	協議	SXF(P21)とする。	CAD製図基準(案)2-8参照。
各ライフサイクル内だけで授受されるCADデータの交換フォーマット	協議	使用するCADソフトのフォーマットとする。	同上
基準点測量			
対象外の成果品	協議	従来どおりの納品を行う。	要領(案)4-1参照。
基準点・平均点・観測図	協議	PDF形式で納品する。	同上
観測手簿	協議	PDF形式で納品する。	同上

協議事項		協議の実施	協議内容と結果	備考
	観測記簿	協議	PDF形式で納品する。	同上
	計算簿	協議	1ファイルで作成する。	同上
	点の記	協議	PDF形式で納品する。	同上
	点検測量簿、埋標手簿及び 基準点現況調査報告書	協議	1ファイルで作成する。	同上
	測量標の地上写真	協議	1ファイルで作成する。	同上
	その他の資料のファイル形式	協議	対象となるものはない	同上
水準点測量				
	水準路線図、観測網図	協議	PDF形式で納品する。	要領(案)4-1参照。
	観測手簿	協議	PDF形式で納品する。	同上
	計算簿	協議	1ファイルで作成する。	同上
	点の記	協議	PDF形式で納品する。	同上
	点検測量簿、基準点現況調査報告書	協議	1ファイルで作成する。	同上
	その他の資料のファイル形式	協議	対象となるものはない	同上
地形測量				
	対象外の成果品	協議	従来どおりの納品を行う。	要領(案)4-2参照。
TS地形測量	DMデータファイル	協議	DM形式で納品する。	同上
	DMデータファイル拡張子	協議	「DM」とする。	同上
	インデックスファイル拡張子	協議	「DMI」とする。	同上
	現地調査空中写真	協議	対象外である。	同上
	空中三角測量	協議	PDF形式で納品する。	同上
デジタルマッピング	DMデータファイル	協議	DM形式で納品する。	同上
	DMデータファイル拡張子	協議	「DM」とする。	同上
	インデックスファイル拡張子	協議	「DMI」とする。	同上
	その他の資料のファイル形式	協議	対象となるものはない	同上
路線測量				
中心線測量	線形地形図、引照点図	協議	使用するCADソフトのフォーマットとする。	要領(案)4-3参照。
	計算簿	協議	PDF形式で納品する。	同上
	点の記(主要点のみ)		PDF形式で納品する。	同上
	精度管理表		PDF形式で納品する。	同上
	成果表		PDF形式で納品する。	同上

協議事項		協議の実施	協議内容と結果	備考	
	縦断 測量	成果表（数値データ）		TXT形式で納品する。	同上
		縦断面図	協議	使用するCADソフトのフォーマットとする。	同上
		観測手簿	協議	PDF形式で納品する。	同上
		精度管理表		PDF形式で納品する。	同上
	河川測量				
	法線 測量	線形図	協議	使用するCADソフトのフォーマットとする。	要領（案）4-3参照。
		観測手簿	協議	PDF形式で納品する。	同上
		計算簿	協議	PDF形式で納品する。	同上
		精度管理表		PDF形式で納品する。	同上
	用地測量				
	境界 測量	成果表		PDF形式で納品する。	要領（案）4-3参照。
		成果表（数値データ）		TXT形式で納品する。	同上
観測手簿		協議	PDF形式で納品する。	同上	
測量計算簿		協議	PDF形式で納品する。	同上	
ファイルの命名規則					
図面ファイルの命名	整理番号の付番	協議	予備設計で1としたため2とする。	CAD製図基準（案）2-9参照。	
	ファイル名一覧に該当しないファイル名をつける場合	協議	作成者が任意に命名する。ただし、ファイル名の付け方の概要を図面管理項目の受注者説明文に記述する。	同上。	
測量データファイルの命名					
	測量データファイルの命名		測量成果等のファイル名規則に従う。	要領（案）5-1参照。	
検符及び押印					
	押印した書類の納品	協議	紙で納品する。	要領（案）6-1参照。	
第三者機関検定					
	検符した出力紙の保存期間	協議	受注者が20XX年まで保管する。	要領（案）6-2参照。	
電子媒体					
電子媒体					
	納品に使用する媒体	協議	CD-Rとする。	要領（案）7-1参照。	
	写真ファイル名にロングネームを使用する場合のCD-Rのフォーマット形式	協議	ロングネームは使用しないため、ISO9660フォーマットとする。	同上	

協議事項	協議の実施	協議内容と結果	備考
その他			
使用文字			
地名や人名で特殊文字の使用がやむを得ない場合	協議	イメージデータで対応する。	要領(案)8-2参照。
電子化が困難な資料			
地形図原図	協議	従来どおりの納品を行う。	要領(案)8-3参照。
複製用ポジ原図(第二原)	協議	同上	同上
空中写真、密着空中写真	協議	同上	同上
A3よりも大きな図面等(藍焼図面等)	協議	同上	同上
ネガフィルム、ポジフィルム	協議	同上	同上
密着印画	協議	同上	同上
編集原図、編集素図	協議	同上	同上
図面大きさ、様式、レイアウト			
図面の大きさ			
A列サイズによらない場合	協議	A列サイズ以外は使用しない。	CAD製図基準(案)2-2-1参照
尺度			
実寸で定義した図形を複数の異なる尺度で表示したり、一つの図形に対して縦横の尺度を変えて表示できるCADの機能を使用して作画する場合	協議	作成者の任意とする。	CAD製図基準(案)2-3参照。
図面の線種と線の太さ			
出力する線の太さ	確認	0.13、0.18、0.25、0.35、0.5、0.7、1.0、1.4、2.0から、1:2:4の太さで図面毎に適宜選定する。	CAD製図基準(案)2-4参照。
線の色	協議	レイヤ毎の線色は、作成者が作業効率を考え任意に選択する。	CAD製図基準(案)付属資料2参照。
図面のレイヤ名			
作業レイヤ(- ~ -WORK)の取り扱い	協議	補助線等に使用する。	CAD製図基準(案)2-10参照。
同一図面オブジェクトが複数存在し、区別が必要な場合のレイヤ名	協議	- ~ - ~ - と枝番を付番。作成したレイヤ名および作画内容の概要を図面管理項目の受注者説明文に記述する。	同上
位置図			
地形図が電子化されていない場合の市販地図のラスターデータへの変換	確認	受注者の任意とする。	CAD製図基準(案)3-2-1参照。
業務完了検査の範囲			

協議事項	協議の実施	協議内容と結果	備考
業務成果品			
報告書	協議	電子データで検査する。	運用ガイドライン3-5参照。
図面	協議	紙で検査する。	同上
写真帳	協議	業務範囲外であり、対象外。	同上
測量	協議	紙で検査する。	測量編事前協議ガイドライン(案)8参照。
地質・土質調査	協議	業務範囲外であり、対象外。	運用ガイドライン3-5参照。
電子化が困難な成果品の取り扱い	協議	現物で検査する。	同上
電子メール			
電子メールでの情報交換	確認	実施する。	
電子メールの形式	確認	テキスト形式とする。	リッチテキスト形式、HTML形式は受信者の環境によっては問題がある場合がある。
電子メールの添付ファイル形式	確認	報告書オリジナルファイル形式とする。	
電子メールの添付ファイルの命名	確認	半角英数字を使用し、ファイル名は8文字以内、拡張子3文字とする。	長いファイル名(ファイル名は半角英数字8文字以上・拡張子3文字以上)は使用しない。
添付ファイル容量の制限	確認	双方で送受信可能な1MB以下とする。	容量を越える場合はFD、MO、CD-Rで対応。
添付ファイルの圧縮形式	確認	形式とする。	受発注者間でバージョンを合わせる。
提出方法の確認	確認	発信側は送信データを保存し、受信者は受信したファイルをそのまま転送(返信)し確認。	現場における事前協議ガイドライン(案) [土木設計業務編] 4 を参考。
その他 記入欄			